総合計画の体系	章(施策の柱)	1 教育文化・コミュニティ	担当部 市民活力推進部
一応ロ引曲の体系	節	1 生涯にわたり楽しく学べる環境づくり	1부 = 1 마

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 市では)

生涯にわたり楽しく学べる環境が整い、次代を担う子ども一人ひと りが自ら学び、考え、行動する力を身に付け、それぞれの個性や可 能性を伸ばしています。市民は気軽に学習活動や文化活動を行うこ (10年後の八潮 とができ、生きがいをもって暮らしています。

多くの市民が町会や自治会等のコミュニティ活動にも積極的に参加 しています。また、誰もが互いを思いやる心をもち、人と人、人と 地域とのつながりやふれあいを大切にするまちとなっています。

基本目標

市民一人ひとりが楽しく学び、その成果が活用されること により、更に学習意欲が高まり、生涯にわたり学習してい ます。

	人心中不	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	成果指標			計画・目標				計画・目標		計画・目標	計画・目標	計画・目標
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	生涯学習人財バンク登録者数	43人		-		_	55人	_	_		_	65人
1)	工任于自八州/10/夏城石数	_	50人	54人	60人							
(A)	市民活動支援コーナー利用者数	7,444人	-	_	_	_	8,000人	_	_	_	_	8,500人
		_	9,326人	9,345人	9,406人							
3			ı		1	_		_		1	_	
(3)												
4					l	_		_		1	_	
4)												
(5)			_		_	_		_		_	_	
(3)		_										

	施策の内容	H30年度	事務事業数		総合評価		担当課
		事業費 (千円)	争份争未致	順調	概ね順調	遅れ	
1	生涯学習機会の充実	43, 518	1	0	1	0	市民協働推進課
2							
3	学習成果の活用	177	1	0	1	0	市民協働推進課
4							
5							
6							
7							
8							
9						·	
	計	43, 695	2	0	2	0	

総合計画	章(施策の柱)	1	教育文化・コミュニティ	評価主体(部名)	市民活力推進部
の体系	節	1	生涯にわたり楽しく学べる環境づくり	評価者名	鈴木 圭介
評価土体が 推進する 施策の概要	(2)情報提供·相談体 (3)学習成果の活用	×制 <i>0</i> :生	:多様化する市民の学習ニーズに対応し、市民一人ひと の充実:市民の主体的な学習活動を支援するため、生涯 涯学習に取り組む事によって得た知識や技術を活かすだ の発表の機会を拡充する。	学習に関する情報提	供や相談機能を充実する。

3. 別の別例	(部が展開する即の方を	017	
施策の 実施状況	の市民に利用されていてきるよう修繕を実施(2)情報提供や相談体動支援コーナーの利用(3)「生涯学習人財バまた、その成果発表の	お生涯楽習館の利用者数いる。また、安全で安心しる。また、安全で安心しる。制の充実を図ることで、目者数は9,406人であったンク」を活用して、様々り場として、やしおコラスがで準備を進めたが、荒る	して学習機会を提供 平成30年度の市民活 。 な講座を実施した。 ボフェスタを計画
課題	顕著となっているため	● ある程度課題がある は、開館から23年が経過し、計画的な改修等が必要なり、参加団体が固定化果題となっている。	要である。
4. 節の評価	(部が展開する節の総合	今証価)	

4.節の評価(部か展開する節の総合評価)

総合評価	評価理由
☆☆	人財バンクの登録者や市民活動支援コーナーの利用者数も目標値を達成している。
概ね順調	開館から23年が経過しているため、定期的な施設改修も実施しているが、施設の老朽化により不具合箇所が増えてきている。

5 今後の方針(部が展開する節の方針)

	_;	5 .	ラ伎	(0)	7 並十	(部か展開する即	ひカ	並 フ						
1						■現状のまま推進		見直し	て推進		大幅に	こ見直して	て推進	
			方向	性										-
							▶		重点化(拡充	(권		縮小		その他
			施策	5針	や民ト安め	説明) ・しお生涯楽習館: :ニーズを的でいる。 ・全に安心して利。 ・る。	足え	、人	財バンク	を利	用し	た各種	[講座	やイベン
	-	- -				. O 争 未 & C /								
			他 東	節	施策	施策の	内容					事務事	業	
		1	01	01	01	生涯学習機会の	充実		やし	お生	:涯缐	経習館道	[営事	業
1		2												
1		2												

※施策(節)を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆:順調(最終目標達成に向け、順調に成果があがっている)☆:遅れ(このままでは、最終目標の達成が難しい)

	いい小か		1 G J4	1次9 0 争切争未切計画和末				₹ /	よ計画土体と衣り						INO. I
主体	施領	きコ- 節	- ド 施策	事務事業名	主	戦略	公約	担当部	担当課	H30年度事業費 (決算額:千円)	課題	総合評価	方向性	投入 事業費	
	<u>무</u>	01	心1	やしお生涯楽習館運営事業		μЦ	ניוי	市民活力推進部	市民協働推進課	43,518	•	☆☆	現状のまま継続	サ 木 貝 田州維持	力 現 出 出 出 生 は は
	01	01		生涯学習活動推進事業					市民協働推進課	177	0	☆☆	現状のまま継続		
Ħ		V 1	-					The Alley of Each life	11. 24 000 193 1 E.C. 1910	211		~ ~ ~		200000	2001/100
\vdash															
\vdash															
-															
H															
-															
-															
-															
Ħ															
Н															
H															
\vdash															
\vdash															
\vdash															
							<u> </u>			43, 695	部の重	業費計			
	F-mora -mora								10,000	ロトウノ子	· 不只们				

【課題】―:課題はほとんどない,○:ある程度課題がある,●:大きな課題がある /【総合評価】☆☆☆:順調,☆☆:概ね順調,☆:遅れ

●企画財政部 教育総務部 章(施策の柱) 教育文化・コミュニティ 担当部 総合計画の体系 2 次代を担う人づくり 学校教育部 餰

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 市では)

生涯にわたり楽しく学べる環境が整い、次代を担う子ども一人ひと りが自ら学び、考え、行動する力を身に付け、それぞれの個性や可 能性を伸ばしています。市民は気軽に学習活動や文化活動を行うこ (10年後の八潮 とができ、生きがいをもって暮らしています。

多くの市民が町会や自治会等のコミュニティ活動にも積極的に参加 しています。また、誰もが互いを思いやる心をもち、人と人、人と 地域とのつながりやふれあいを大切にするまちとなっています。

基本目標

幼稚園・保育所・認定こども園と小学校の連携が強化され るとともに、小中一貫教育が一層推進される中で、きめ細 やかな教育が行われ、家庭・学校・地域が一体となって、 子どもたちが健全に成長できる環境を整えています。ま た、子どもたちは等しく教育を受ける機会を得ており、安 全で安心な教育環境のもと豊かな学校生活の中で「確かな 学力」「生きる力」を身に付けています。

		現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	成果指標	計画・目標 実績		計画・目標				計画・目標			計画・目標	
			実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
1	全国学力学習状況調査の平均正答率の全国	小学校 △4.6P 中学校 △7.0P	_	_	_	_	小学校 ±0P 中学校 ±0P	_	_	_	_	小学校 +5 P 中学校 +2 P
	との差	-	小△4.6中△6.6	小△1.4中△6.1	小△3.1中△5.1							
2	不登校児童生徒発生率	小学校 0.31% 中学校 2.70%	1		1	1	小学校0.2%以 下 中学校2.1%以	1	_	1		小学校0.1%以下 中学校2.0%以下
(2)	个	ı	小0.37 中2.55	小0.58 中3.93	小0.49中3.97							
3	学校給食における残食率	小学校3.8% 中学校13.4%	1	_	ı	1	小学校2.0% 中学校8.0%		_	1	_	小学校1.5% 中学校7.0%
	子权和及にわける残良学		3. 8%	2.0%	9. 7							
4	特別支援教育介助員	市内小学校に9人 配置	ı	_		1	市内全小中学 校に15人配置		_	1	_	市内全小中学校 に20人配置
4	付別又後祭月月 叨貝	1		15人	13人							
5			_	_	_	_		_	_	_	_	
		_										

	施策の内容	H30年度	事務事業数		総合評価		担当課
		事業費 (千円)	(千円) 事物事未致		概ね順調	遅れ	担国味
1	教育内容の充実	23, 377	3	2	1	0	指導課、小中一貫教育推進室
2	教育環境の充実	908, 606	13	3	10	0	教育総務課
3	指導体制の充実	72, 629	7	7	0	0	教育総務課、学務課、指導課
4	食育、健康・安全教育の充実	717, 201	6	6	0	0	学務課、指導課
5	特別支援教育の充実	13, 580	1	0	1	0	指導課
6	教育相談の充実	28, 338	2	0	2	0	指導課
7	家庭や地域と一体となった教育体制の充実	6, 354	2	2	0	0	学務課、指導課
8	幼児教育の推進	157, 543	3	3	0	0	教育総務課、指導課
9	高等教育機関との連携・誘致	0	1	0	0	1	企画経営課
	計	1, 927, 628	38	23	14	1	

総合計画	章(施策の柱)	1	教育文化・コミュニティ	評価主体(部名)	企画財政部
の体系	節	2	次代を担う人づくり	評価者名	前田 秀明
	高等教育機関との通 ・生涯学習の推進や		・誘致 コーバルな人材の育成、教育環境の充実のため、大学等	の高等教育機関の誘	致活動を推進する。

方向性

3. 節の分析(部が展開する節の分析)

3. 即07万和	(即が接用する即の力制)
施策の 実施状況	(説明) 平成26年7月4日に、聖徳大学・聖徳大学短期大学部と包括的連携に関する協定を締結した。 平成29年3月28日に、国士舘大学と包括的連携に関する協定を締結した。 平成29年6月21日に、淑徳大学と包括的連携に関する協定を締結した。
課題	課題はほとんどない ある程度課題がある ● 大きな課題がある 高等教育機関の誘致については、誘致場所や設置するために必要な面積など、誘致するための条件に加え、市や市民にとってのメリット、デメリットの分析が必要である。
4 節の評価	(部が展開する節の総合評価)

総合評価	評価理由
☆ 遅れ	具体的に誘致するための場所、面積などの条件が精査できておらず、高等教育機関へのアプローチに至ってない。 まずは、市民ニーズを把握するとともに、メリット、デメリット を分析する必要がある。

5. 今後の方針(部が展開する節の方針)

現状のまま推進

				•	エ灬		WIE . 1		(0)					
			(‡	说明)	Ξ.Μ.	Вали	1711 · J		C 47/15					
	施策 展開力				学等の誘致に向けて、サテライトキャンパスなどの実施を含 、様々な誘致・連携手法について検討を行う。									
■重				55事業まで)										
		€ ⊐ -		施策の内容			事務事	業						
	章	節	施策	202144111			1. 121 -							
1														
2														
3														
4														
5														
× 協	华 .	(66)	たが	推する上で 次年度	重占的に	取り組ま	* 車業を5車	業士	で地出					

※施策(節)を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

★☆☆:順調(最終目標達成に向け、順調に成果があがっている) ★:遅れ(このままでは、最終目標の達成が難しい)

【別紙】節を構成する事務事業の評価結果(対象年度H30年度)

※■は評価主体を表す

主施	策コ-	ード	事務事業名	主	戦	公	担当部	担当課	H30年度事業費	課題	総合評価	方向性	投入	
体 章	節			要	略	約			(決算額:千円)	环咫			事業費	労働量
01	02	01	教育指導推進事業				学校教育部	指導課	14, 898	0	$^{\updownarrow}$ $^{\updownarrow}$	現状のまま継続	現状維持	現状維持
01	02	01	体験学習推進事業				学校教育部	指導課	5, 821	\circ	***	見直して継続	現状維持	現状維持
01	02	01	小中一貫教育推進事業				学校教育部	小中一貫教育推進室	2, 658	0	2	見直して継続	増加	増加
01	02	02	入学準備金・教育資金貸付事業				教育総務部	教育総務課	4, 978	\circ	$^{\uparrow}$	現状のまま継続	現状維持	増加
01	02	02	小学校管理事業				教育総務部	教育総務課	137, 941	\circ	$^{\uparrow}$	現状のまま継続	現状維持	現状維持
01	02		中学校管理事業				教育総務部	教育総務課	88, 430	0	$^{\updownarrow}$ $^{\updownarrow}$	現状のまま継続		
01	02		小学校施設整備事業				教育総務部	教育総務課	49, 252	0	☆☆	現状のまま継続	現状維持	
01	02	02	中学校施設整備事業				教育総務部	教育総務課	460, 365	0	$^{\updownarrow}$ $^{\updownarrow}$	現状のまま継続		
01	01 02 02		小学校教育振興事業				教育総務部	教育総務課	82, 067	0	$^{\updownarrow}$ $^{\updownarrow}$	現状のまま継続	現状維持	現状維持
01	02		中学校教育振興事業				教育総務部	教育総務課	52, 075	0	$^{\updownarrow}$ $^{\updownarrow}$	現状のまま継続		
01 02 02			小学校就学援助事業				教育総務部	教育総務課	11, 892	0	***	見直して継続	増加	増加
01 02 02		02	中学校就学援助事業				教育総務部	教育総務課	21, 132	0	***	見直して継続	増加	増加
01 02 02		02	高等教育振興事業				教育総務部	教育総務課	16	_	***	現状のまま継続	現状維持	現状維持
01	02	02	学校建設基金事業				教育総務部	教育総務課	458	\circ	$^{\uparrow}$	現状のまま継続	現状維持	現状維持
01	02	02	小学校大規模改修事業				教育総務部	教育総務課	0	\circ	$^{\uparrow}$	現状のまま継続	現状維持	現状維持
01	02	02	02 中学校大規模改修事業				教育総務部	教育総務課	0	0	\overrightarrow{x}	現状のまま継続	現状維持	現状維持
01	02	03	小学校活動助成事業				教育総務部	教育総務課	1, 406	_	2	現状のまま継続	現状維持	現状維持
01	02	03	中学校活動助成事業				教育総務部	教育総務課	3, 096	_	2	現状のまま継続	現状維持	現状維持
01	02	03	教職員人事管理事業				学校教育部	学務課	2, 566	0	2	現状のまま継続	現状維持	現状維持
01	02	03	教職員資質向上事業				学校教育部	指導課	3, 993	0	2	現状のまま継続	現状維持	現状維持
01	02	03	少人数指導充実事業				学校教育部	指導課	32, 156	0	2	現状のまま継続	現状維持	現状維持
01	02	03	地域人材活用推進事業				学校教育部	指導課	3, 216	0	2	見直して継続	増加	増加
01	02	03	語学指導充実事業				学校教育部	指導課	26, 196	0	***	見直して継続	増加	増加
01	02	04	学校保健事業				学校教育部	学務課	34, 268	0	***	見直して継続	現状維持	現状維持
01	02	04	学校給食費援助事業				学校教育部	学務課	32, 679	0	***	現状のまま継続	現状維持	現状維持
01	02	04	医療費援助事業				学校教育部	学務課	51	0	***	現状のまま継続	増加	増加
01	02	04	学校給食・食育推進事業				学校教育部	学務課	650, 113	0	***	現状のまま継続	現状維持	現状維持
01	02	04	学校安全教育推進事業				学校教育部	指導課	8	0	***	現状のまま継続	現状維持	現状維持
01	02	04	健康教育推進事業				学校教育部	指導課	83	0	***	現状のまま継続	現状維持	現状維持
01	02	05	特別支援教育推進事業				学校教育部	指導課	13, 580	0	$^{}$	見直して継続	増加	増加
01	02	06	教育相談体制整備事業				学校教育部	指導課	15, 663	0	$^{}$	現状のまま継続	現状維持	現状維持
01	02	06	教育相談所運営事業				学校教育部	指導課	12, 676	0	$^{}$	見直して継続	現状維持	現状維持
•									0	部の事	業費計			

【課題】―:課題はほとんどない,〇:ある程度課題がある,●:大きな課題がある /【総合評価】☆☆☆:順調,☆☆:概ね順調,☆:遅れ

				解以9る事務事業の評価結果(対:				٤)							NU. Z
主体	施領章	_{复コ} ー 節	- ド 施策	事務事業名	主要	戦略	公約	担当部	担当課	H30年度事業費 (決算額:千円)	課題	総合評価	方向性	投入 事業費	資源 労働量
	01	02		学校運営改善事業		РЦ	ניוי	学校教育部	学務課	6, 209	0	☆☆☆	現状のまま継続	増加	増加
H	01	02		学校・家庭・地域相互連携体制促進事業				学校教育部	指導課	145	0	☆☆☆		現状維持	
H	01	02		幼稚園就園補助事業	-			教育総務部	教育総務課	156, 290	0	₩ W W W	現状のまま継続		
\vdash	01	02		幼稚園祝園補助事業 幼稚園振興事業				教育総務部	教育総務課	1, 222	0	~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~	現状のまま継続		
H	01	02		幼保小連携事業			_	学校教育部	教育総務課 指導課	31		~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~	現状のまま継続		
Н							_	全 企画財政部		31	0		見直して継続		
	01	02	09	高等教育機関誘致促進事業				在	企画経営課		•	☆	見担しく継続	現扒維持	現仏維持
Н															
\vdash															
-															
-															
	 														
Ш															
П															
П															
П															
H															
H															
H															
H															
					1 1 2		_	上 7 和 去 田 田 / 8 上	7 ★ 土また無照だ				ET A A 481T A	wr am	مل _ا کار

【課題】―:課題はほとんどない、○:ある程度課題がある、●:大きな課題がある /【総合評価】☆☆☆:順調、☆☆:概ね順調、☆:遅れ

総合計画の体系 章 (施策の柱)	1 教育文化・コミュニティ	担当部 ● 教育総務部	企画財政部
「	2 次代を担う人づくり	学校教育部	

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 市では)

生涯にわたり楽しく学べる環境が整い、次代を担う子ども一人ひと りが自ら学び、考え、行動する力を身に付け、それぞれの個性や可 能性を伸ばしています。市民は気軽に学習活動や文化活動を行うこ (10年後の八潮 とができ、生きがいをもって暮らしています。

多くの市民が町会や自治会等のコミュニティ活動にも積極的に参加 しています。また、誰もが互いを思いやる心をもち、人と人、人と 地域とのつながりやふれあいを大切にするまちとなっています。

基本目標

幼稚園・保育所・認定こども園と小学校の連携が強化され るとともに、小中一貫教育が一層推進される中で、きめ細 やかな教育が行われ、家庭・学校・地域が一体となって、 子どもたちが健全に成長できる環境を整えています。ま た、子どもたちは等しく教育を受ける機会を得ており、安 全で安心な教育環境のもと豊かな学校生活の中で「確かな 学力」「生きる力」を身に付けています。

		現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	成果指標			計画・目標			計画・目標			計画・目標		
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
1	全国学力学習状況調査の平均正答率の全国	小学校 △4.6P 中学校 △7.0P	-	_	_	_	小学校 ±0P 中学校 ±0P	_	-			小学校 +5 P 中学校 +2 P
(I)	との差		小△4.6中△6.6	小△1.4中△6.1	小△3.1中△5.1							
2	不登校児童生徒発生率	小学校 0.31% 中学校 2.70%		_	_	_	小学校0.2%以 下 中学校2.1%以					小学校0.1%以下 中学校2.0%以下
2	个 立 仪允重生使先生华		小0.37 中2.55	小0.58 中3.93	小0.49中3.97							
(3)	学校給食における残食率	小学校3.8% 中学校13.4%	ı	_	_	_	小学校2.0% 中学校8.0%	_	1	1		小学校1.5% 中学校7.0%
	子权和及にわける交及学		3. 8%	2.0%	9. 7							
(4)	特別支援教育介助員	市内小学校に9人 配置	_	_	_	_	市内全小中学 校に15人配置	_	_	_	_	市内全小中学校 に20人配置
4)	付別又後欲月月 切貝			15人	13人							
(5)			_	_	_	_		_	_	_	_	
(3)		_										

	施策の内容	H30年度	事務事業数		総合評価		担当課
	一	事業費 (千円)	争伤争未致	順調	概ね順調	遅れ	担国味
1	教育内容の充実	23, 377	3	2	1	0	指導課、小中一貫教育推進室
2	教育環境の充実	908, 606	13	3	10	0	教育総務課
3	指導体制の充実	72, 629	7	7	0	0	教育総務課、学務課、指導課
4	食育、健康・安全教育の充実	717, 201	6	6	0	0	学務課、指導課
5	特別支援教育の充実	13, 580	1	0	1	0	指導課
6	教育相談の充実	28, 338	2	0	2	0	指導課
7	家庭や地域と一体となった教育体制の充実	6, 354	2	2	0	0	学務課、指導課
8	幼児教育の推進	157, 543	3	3	0	0	教育総務課、指導課
9	高等教育機関との連携・誘致	0	1	0	0	1	企画経営課
	計	1, 927, 628	38	23	14	1	

総合計画	章(施策の柱)	1	教育文化・コミュニティ	評価主体(部名)	教育総務部
の体系	節	2	次代を担う人づくり	評価者名	荒浪淳
評価主体が 推進する 施策の概要	また、経済的な理 な遂行を図る。	曲に	児童生徒が一日の大半を過ごす学校施設の安全確保と こより就学が困難な児童生徒の保護者及び特別支援教育 いては、幼稚園児を持つ保護者の経済的な負担を軽減す	を受けている児童生	徒の保護者に学用品費等を援助し、義務教育の円滑

	(説明)
施策の 実施状況	教育環境の充実では、小中学校15校の校舎空調設備導入調査を実施し、小中学校空調設備基本方針を策定した。また、老朽化した小・中学校校舎等の修繕を実施するとともに、駅周辺の生徒数の増加に対応するため、潮止中学校の普通教室増築工事を実施した。 経済的な理由により就学が困難な児童生徒の保護者に対し、就学費用の一部を援助している。 幼児教育の推進においては、幼稚園を通して保護者に保育料等の一部を、幼稚園には幼児教育の充実を図るための経費の一部を助成している。
	課題はほとんどない ■ ある程度課題がある 大きな課題がある
課題	教育環境の充実では、小・中学校校舎等の学校施設の改善に膨大な費用がかかるため、その財源の確保が課題である。 また、就学援助費における新小学1年生の保護者を対象とする 新入学用品費の支給時期の課題について調査、研究している。 幼児教育の推進においては、障がいのある幼児に対する特別支援の充実が求められている。

4. 節の評価 (部が展開する節の総合評価)

総合評価	評価理由
☆☆☆順調	教育環境の充実では、小・中学校校舎等の学校施設の改善について、老朽化している施設の把握を実施した。 幼児教育の推進では、幼稚園児を持つ保護者の経済的な負担の 軽減及び幼稚園教職員の資質向上等に係る経費の一部助成を継続 的に実施している。

5. 今後の方針(部が展開する節の方針)

				● 現状のまま推進 見直して推	進 大幅に見直して推進
	方向	性			
				▶ 重点	化(拡充) 縮小 その他
	施策展開フ	-	しと就	、早期に稼働する。また、老 もに、駅周辺の児童生徒数の 経済的な理由で就学が困難な 学費用の一部を援助し、義務	校15校に速やかに空調設備を設置 朽化した学校施設の整備を図ると 増加に伴う対応を行っていく。 児童生徒には、その保護者に対し 教育の円滑な遂行に努める。 今後も幼稚園児を持つ保護者の経
■重				ご5事業まで)	
	70,	をコー	•	施策の内容	事務事業
-	章 節 施策				그 ^^ 나~ 나~ =n =p /# == ^#
1	01	02	02	教育環境の充実	中学校施設整備事業
2	01	02	02	教育環境の充実	小学校施設整備事業
3	01	02	02	教育環境の充実	中学校就学援助事業
4	01	02	02	教育環境の充実	小学校就学援助事業
5	01	02	08	幼児教育の推進	幼稚園就園補助事業

※施策(節)を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆:順調(最終目標達成に向け、順調に成果があがっている) ☆:遅れ(このままでは、最終目標の達成が難しい)

【別紙】節を構成する事務事業の評価結果(対象年度H30年度)

※■は評価主体を表す

		コード	市致市 类力	主	戦	公	+ロ *4 * *7	+□ 小 ===	H30年度事業費	÷⊞ 8名	<u></u> 	十台州	投入	資源
体章	Ĺĺ	節 施策	事務事業名	要	略	約	担当部	担当課	(決算額:千円)	課題	総合評価	方向性	事業費	労働量
01	1 (02 01	教育指導推進事業				学校教育部	指導課	14, 898	0	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
01	[(02 01	体験学習推進事業				学校教育部	指導課	5, 821	0	2	見直して継続	現状維持	現状維持
01	1 (02 01	小中一貫教育推進事業				学校教育部	小中一貫教育推進室	2, 658	\bigcirc	2	見直して継続	増加	増加
■ 01	1 (02 02	入学準備金・教育資金貸付事業				教育総務部	教育総務課	4, 978	0	☆☆	現状のまま継続	現状維持	増加
■ 01	1 (02 02	小学校管理事業				教育総務部	教育総務課	137, 941	0	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■ 01	[(02 02	中学校管理事業				教育総務部	教育総務課	88, 430	0	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■ 01	1 (02 02	小学校施設整備事業				教育総務部	教育総務課	49, 252	\circ	2	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■ 01	1 (02 02	中学校施設整備事業				教育総務部	教育総務課	460, 365	\circ	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■ 01	[(02 02	小学校教育振興事業				教育総務部	教育総務課	82, 067	\circ	2	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■ 01	[(02 02	中学校教育振興事業				教育総務部	教育総務課	52, 075	\circ	2	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■ 01	[(02 02	小学校就学援助事業				教育総務部	教育総務課	11, 892	\circ	***	見直して継続	増加	増加
■ 01	l (02 02	中学校就学援助事業				教育総務部	教育総務課	21, 132	\circ	***	見直して継続	増加	増加
■ 01	1 (02 02	高等教育振興事業				教育総務部	教育総務課	16	_	2	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■ 01	1 (02 02	学校建設基金事業				教育総務部	教育総務課	458	0	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■ 01	■ 01 02 02		小学校大規模改修事業				教育総務部	教育総務課	0	0	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■ 01	1 (02 02	中学校大規模改修事業				教育総務部	教育総務課	0	\bigcirc	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■ 01	1 (02 03	小学校活動助成事業				教育総務部	教育総務課	1, 406		***	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■ 01	1 (02 03	中学校活動助成事業				教育総務部	教育総務課	3, 096		2	現状のまま継続	現状維持	現状維持
01	[(02 03	教職員人事管理事業				学校教育部	学務課	2, 566	0	***	現状のまま継続	現状維持	現状維持
01	1 (02 03	教職員資質向上事業				学校教育部	指導課	3, 993	0	***	現状のまま継続	現状維持	現状維持
01	1 (02 03	少人数指導充実事業				学校教育部	指導課	32, 156	0	***	現状のまま継続	現状維持	現状維持
01	1 (02 03	地域人材活用推進事業				学校教育部	指導課	3, 216	0	***	見直して継続	増加	増加
01	[(02 03	語学指導充実事業				学校教育部	指導課	26, 196	0	***	見直して継続	増加	増加
01	1 (02 04	学校保健事業				学校教育部	学務課	34, 268	0	***	見直して継続	現状維持	現状維持
01	1 (02 04	学校給食費援助事業				学校教育部	学務課	32, 679	0	***	現状のまま継続	現状維持	現状維持
01	1 (02 04	医療費援助事業				学校教育部	学務課	51	0	***	現状のまま継続	増加	増加
01	1 (02 04	学校給食・食育推進事業				学校教育部	学務課	650, 113	\circ	***	現状のまま継続	現状維持	現状維持
01	1 (02 04	学校安全教育推進事業				学校教育部	指導課	8	0	***	現状のまま継続	現状維持	現状維持
01	1 (02 04	健康教育推進事業				学校教育部	指導課	83	0	***	現状のまま継続	現状維持	現状維持
01	1 (02 05	特別支援教育推進事業				学校教育部	指導課	13, 580	0	$^{\diamond}$	見直して継続	増加	増加
01	1 (02 06	教育相談体制整備事業				学校教育部	指導課	15, 663	0	$^{}$	現状のまま継続	現状維持	現状維持
01	[02 06	教育相談所運営事業				学校教育部	指導課	12, 676	0	$^{\diamond}$	見直して継続	現状維持	現状維持
									1, 070, 620	部の事	業費計			

【課題】―:課題はほとんどない,○:ある程度課題がある,●:大きな課題がある /【総合評価】☆☆☆:順調,☆☆:概ね順調,☆:遅れ

主施策コート			八9〜 次9〜				ر کر ا		1100左点击光曲				±π. ¬	NU. Z		
主 体	他 章	を	施策	事務事業名	主要	戦略	公約	担当部	担当課	H30年度事業費 (決算額:千円)	課題	総合評価	方向性	投入 事業費		
	01	02		学校運営改善事業		-		学校教育部	学務課	6, 209	0	☆☆☆	現状のまま継続	増加	増加	
	01	02	07	学校・家庭・地域相互連携体制促進事業				学校教育部	指導課	145	0	2	現状のまま継続	現状維持	増加	
	01	02	08	幼稚園就園補助事業				教育総務部	教育総務課	156, 290	0	2	現状のまま継続	現状維持	現状維持	
	01	02	08	幼稚園振興事業				教育総務部	教育総務課	1, 222	O \$\$\$		現状のまま継続	現状維持	現状維持	
	01	02	08	幼保小連携事業				学校教育部	指導課	31	0	$^{\uparrow}$	現状のまま継続	現状維持	増加	
	01	02	09	高等教育機関誘致促進事業				企画財政部	企画経営課			☆	見直して継続	現状維持	現状維持	
Ш																
Ш																
Ш																
Н																
Ш																
H																
H																
H																
\mathbb{H}																
\mathbb{H}																
\mathbb{H}																
\mathbb{H}																
\mathbb{H}																
										1 070 000	如本	* # # =				
				F== 0.1 = == 0.1 (== 1)				+ 7 10 + == == 1		1,070,620 部の事業費計						

【課題】―:課題はほとんどない、○:ある程度課題がある、●:大きな課題がある /【総合評価】☆☆☆:順調、☆☆:概ね順調、☆:遅れ

総合計画の体系	章(施策の柱)	1 教育文化・コミュニティ	担当部 ● 学校教育部	企画財政部
一心口可回の作が	節	2 次代を担う人づくり	教育総務部	

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 市では)

生涯にわたり楽しく学べる環境が整い、次代を担う子ども一人ひと りが自ら学び、考え、行動する力を身に付け、それぞれの個性や可 能性を伸ばしています。市民は気軽に学習活動や文化活動を行うこ (10年後の八潮 とができ、生きがいをもって暮らしています。

多くの市民が町会や自治会等のコミュニティ活動にも積極的に参加 しています。また、誰もが互いを思いやる心をもち、人と人、人と 地域とのつながりやふれあいを大切にするまちとなっています。

基本目標

幼稚園・保育所・認定こども園と小学校の連携が強化され るとともに、小中一貫教育が一層推進される中で、きめ細 やかな教育が行われ、家庭・学校・地域が一体となって、 子どもたちが健全に成長できる環境を整えています。ま た、子どもたちは等しく教育を受ける機会を得ており、安 全で安心な教育環境のもと豊かな学校生活の中で「確かな 学力」「生きる力」を身に付けています。

		現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	成果指標			計画・目標								
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
1	全国学力学習状況調査の平均正答率の全国	小学校 △4.6P 中学校 △7.0P	_	_	_	_	小学校 ±0P 中学校 ±0P	_	_	_	_	小学校 +5 P 中学校 +2 P
	との差	_	小△4.6中△6.6	小△1.4中△6.1	小△3.1中△5.1							
2	不登校児童生徒発生率	小学校 0.31% 中学校 2.70%	_	_	_	_	小学校0.2%以 下 中学校2.1%以	_	_	_	_	小学校0.1%以下 中学校2.0%以下
2	(T.豆仅儿里工使光工中	_	小0.37 中2.55	小0.58 中3.93	小0.49中3.97							
3	学校給食における残食率	小学校3.8% 中学校13.4%	_	_	_		小学校2.0% 中学校8.0%	-	-	_	_	小学校1.5% 中学校7.0%
0	子仅相及における及及子	_	3. 8%	2. 0%	9. 7							
4	特別支援教育介助員	市内小学校に9人 配置	_	_	_		市内全小中学 校に15人配置	-	-	_	_	市内全小中学校 に20人配置
4)	·	_		15人	13人							
(5)			_	_	_	_		1	1	_		
		_										

	施策の内容	H30年度	事務事業数		総合評価		担当課
	一	事業費 (千円)	争伤争未致	順調	概ね順調	遅れ	担国味
1	教育内容の充実	23, 377	3	2	1	0	指導課、小中一貫教育推進室
2	教育環境の充実	908, 606	13	3	10	0	教育総務課
3	指導体制の充実	72, 629	7	7	0	0	教育総務課、学務課、指導課
4	食育、健康・安全教育の充実	717, 201	6	6	0	0	学務課、指導課
5	特別支援教育の充実	13, 580	1	0	1	0	指導課
6	教育相談の充実	28, 338	2	0	2	0	指導課
7	家庭や地域と一体となった教育体制の充実	6, 354	2	2	0	0	学務課、指導課
8	幼児教育の推進	157, 543	3	3	0	0	教育総務課、指導課
9	高等教育機関との連携・誘致	0	1	0	0	1	企画経営課
	計	1, 927, 628	38	23	14	1	

総合計画	章(施策の柱)	1	教育文化・コミュニティ	評価主体 (部名)	学校教育部
の体系	節	2	次代を担う人づくり	評価者名	井上正人
	学校教育においては	t、幺	力稚園から中学校に至るまでの各時期に子どもたちの状	況に対応しつつ、一	貫した施策の展開を目指している。そのため、幼稚
			5園、小学校等の連携強化に努めるとともに、各学校に		
推進する	充実に取り組み、均	也域に	こ開かれた、特色と魅力のある学校づくりに努めている	。さらに、きめ細か	な学習指導や生徒指導の充実に努めている。このほ
			尾を目指し、発達障がいを含めた多様な教育的ニーズに		
	ために、家庭・学村	交・均	也域が相互に連携を図り、保健指導や安全教育、学校給	食を核とした食育等	の健康教育の充実に努めている。

3. 即07万机	(叩が)皮囲り る即の力で	<i>n</i> /	
施策 <i>の</i> 実施状況	教育内容の充実習教育内容のに学費教育のことのでは、ので学費教育のでは、小力を受けませる。 では、一人のでは、「人」のいい、「、」」のい、「、」」のでは、「人」のでは、「人」のでは、「人」のい、「、」」のい、「、」、「、」」のい、「、」のい、「、」のい、「、」」のい、「、」のい、「、」、「、」、「、」、「、」、「、」、「、」、「、」、「、」、」、「、」、「、」、「、」、「、」、「、」、」、「、」、「、」、「、」、「、」、「、」、「、」、」、「、」、「、」、「、」」、「、」、「、」、「、」、「、」、「、」、「、」、」、「、」、「、」、」、「、」、「、」、「、」、」、「、」、「、」、「、」、」、「、」、「、」、」、「、」、」、「、」、」、「、」、」、「、」、」、「、」、「、」、」、「、」、」、「、」、」、「、」、」、「、」、」、「、」、」、「、」、」、「、」、」、「、」、」、「、」、」、「、」、」、「、」、」、」、「、」、」、「、」、」、」、「、」、」、」、「、」、」、「、」、」、」、「、」、	は、幼保認定こども園小は 土曜日実施の人神こどで 連携事業をスタートとで 連携事でうるでは、発達では、発達では、発達で行った。 就学相談を行のの健康教育 なとした資神助を配置して 、教指導補助では、教育相談の充実生生ない指導 記重・生徒を生まない指述	も夢大学、ジョイス た。また、全小中学 公開を実施した。③ た多様なニーズに対 建康・安全教育の充 育を行った。⑤指導 し、きめ細かな指導 目談所での適応指導
課題	成を図ることが求め 発して家庭学習の気 ②教育相談の充実では もに、不登校児童・ 対策学校訪問と不登 ある。		護者への協力を啓 図る必要がある。 減少を目指すとと 総合的な自立支援 実を目指す必要が

4. 節の評価 (部が展開する節の総合評価)

総合評価	評価理由
☆☆☆順調	成果目標に向けて様々な取組を始めており、順調に成果が上がっている。

5. 今後の方針(部が展開する節の方針)

	■ 現状のまま推進 見直して推進 大幅に見直して推進
方向性	
施策 <i>の</i> 展開方針	(説明) ①幼児教育の推進では、幼・保・小連携連絡協議会の開催等により連携を図っていく。 ②教育内容の充実では、小中一貫教育において中学校ブロック毎の研究を充実させるとともに、保護者への周知を図る。 ③特別支援教育の充実では、学習障がい児等に対応するため、教職員の育成や介助員の活用と図っていく。 ④健康・安全教育の充実では、学校給食の充実を図るとともに、保護者や地域との連携のもと、児童・生徒の食に関する指導を一層推進していく。 ⑤指導体制の充実では、少人数指導補助教員を計画に基づき配置するなど、学力向上への指導体制の充実ときめ細やかな指導を一層進めていく。 ⑥教育相談の充実では、教育相談所と小中学校との連携を一層密にした相談体制を築いていくとともに、適応指導教室(フレンドスクール)の充実を図っていく。 ⑦教職員負担軽減検討会議の提言の実施

■重点事業(部で5事業まで)

- 1		· /// +	· 本	(Db (- 0 手木 6 C /					
		施領	きコ-	ード	施策の内容	事務事業				
		章	節	施策	ル東の内谷	尹 孙尹未				
Ī	1	01	02	01	教育内容の充実	体験学習推進事業				
	2	01	02	01	教育内容の充実	小中一貫教育推進事業				
Ī	3	01	02	04	食育、健康・安全教育の充実	学校給食・食育推進事業				
	4	01	02	05	特別支援教育の充実	特別支援教育推進事業				
	5	01	02	06	教育相談の充実	教育相談体制整備事業				

※施策(節)を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆:順調(最終目標達成に向け、順調に成果があがっている) ☆:遅れ(このままでは、最終目標の達成が難しい)

【別紙】節を構成する事務事業の評価結果(対象年度H30年度)

※■は評価主体を表す

		コード	市致市 类力	主	戦	公	+ロ *4 * *17	+□ 小 ===	H30年度事業費	÷⊞ 8名	<u></u> 	十台州	投入	資源
体章	〔	施策	事務事業名	要	略	約	担当部	担当課	(決算額:千円)	課題	総合評価	方向性	事業費	労働量
■ 01	0	2 01	教育指導推進事業				学校教育部	指導課	14, 898	0	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■ 01	0	2 01	体験学習推進事業				学校教育部	指導課	5, 821	0	2	見直して継続	現状維持	現状維持
■ 01	0	2 01	小中一貫教育推進事業				学校教育部	小中一貫教育推進室	2, 658	\bigcirc	***	見直して継続	増加	増加
01	0	2 02	入学準備金・教育資金貸付事業				教育総務部	教育総務課	4, 978	0	☆☆	現状のまま継続	現状維持	増加
01	0	2 02	小学校管理事業				教育総務部	教育総務課	137, 941	0	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
01	0	2 02	中学校管理事業				教育総務部	教育総務課	88, 430	\circ	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
01	0	2 02	小学校施設整備事業				教育総務部	教育総務課	49, 252	\circ	2	現状のまま継続	現状維持	現状維持
01	0	2 02	中学校施設整備事業				教育総務部	教育総務課	460, 365	\circ	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
01	0	2 02	小学校教育振興事業				教育総務部	教育総務課	82, 067	\circ	2	現状のまま継続	現状維持	現状維持
01	0	2 02	中学校教育振興事業				教育総務部	教育総務課	52, 075	\circ	2	現状のまま継続	現状維持	現状維持
01	0	2 02	小学校就学援助事業				教育総務部	教育総務課	11, 892	\circ	***	見直して継続	増加	増加
01	0	2 02	中学校就学援助事業				教育総務部	教育総務課	21, 132	\circ	***	見直して継続	増加	増加
01	0	2 02	高等教育振興事業				教育総務部	教育総務課	16	_	2	現状のまま継続	現状維持	現状維持
01	0	2 02	学校建設基金事業				教育総務部	教育総務課	458	0	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
01	0	2 02	小学校大規模改修事業				教育総務部	教育総務課	0	0	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
01	0	2 02	中学校大規模改修事業				教育総務部	教育総務課	0	0	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
01	0	2 03	小学校活動助成事業				教育総務部	教育総務課	1, 406		2	現状のまま継続	現状維持	現状維持
01	0	2 03	中学校活動助成事業				教育総務部	教育総務課	3, 096	_	2	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■ 01	0	2 03	教職員人事管理事業				学校教育部	学務課	2, 566	0	2	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■ 01	0	2 03	教職員資質向上事業				学校教育部	指導課	3, 993	0	2	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■ 01	0	2 03	少人数指導充実事業				学校教育部	指導課	32, 156	0	2	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■ 01	0	2 03	地域人材活用推進事業				学校教育部	指導課	3, 216	0	2	見直して継続	増加	増加
■ 01	0	2 03	語学指導充実事業				学校教育部	指導課	26, 196	\bigcirc	2	見直して継続	増加	増加
■ 01	0	2 04	学校保健事業				学校教育部	学務課	34, 268	0	2	見直して継続	現状維持	現状維持
■ 01	0	2 04	学校給食費援助事業				学校教育部	学務課	32, 679	0	2	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■ 01	0	2 04	医療費援助事業				学校教育部	学務課	51	\bigcirc	2	現状のまま継続	増加	増加
1 01	0	2 04	学校給食・食育推進事業				学校教育部	学務課	650, 113	0	***	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■ 01	0	2 04	学校安全教育推進事業				学校教育部	指導課	8	0	***	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■ 01	. 0	2 04	健康教育推進事業				学校教育部	指導課	83	0	***	現状のまま継続	現状維持	現状維持
1 01	0	2 05	特別支援教育推進事業				学校教育部	指導課	13, 580	0	☆☆	見直して継続	増加	増加
1 01	0	2 06	教育相談体制整備事業				学校教育部	指導課	15, 663	0	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■ 01	0	2 06	教育相談所運営事業				学校教育部	指導課	12,676	0	☆☆	見直して継続	現状維持	現状維持
					857, 009	部の事	業費計							

【課題】―:課題はほとんどない,○:ある程度課題がある,●:大きな課題がある /【総合評価】☆☆☆:順調,☆☆:概ね順調,☆:遅れ

主施策コー				八9の事務事業の計画和末(別:				٤/ ا		1100				投入資源		
主 所体 章	1 策	コー	- ド 施策	事務事業名	主要	戦略	公約	担当部	担当課	H30年度事業費 (決算額:千円)	課題	総合評価	方向性	我人 事業費	資源 労働量	
■ 0				学校運営改善事業		Рμ	41.7	学校教育部	学務課	6, 209	0	☆☆☆	現状のまま継続	増加	増加	
1 0				学校・家庭・地域相互連携体制促進事業				学校教育部	指導課	145	0	☆☆☆	現状のまま継続		増加	
0	_		08	幼稚園就園補助事業				教育総務部	教育総務課	156, 290	0	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持		
0	1 (02	08	幼稚園振興事業				教育総務部	教育総務課	1, 222	0	2	現状のまま継続	現状維持	現状維持	
• 0	1 (02	08	幼保小連携事業				学校教育部	指導課	31	0	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	増加	
0	1 (02	09	高等教育機関誘致促進事業				企画財政部	企画経営課			☆	見直して継続	現状維持	現状維持	
	_															
+	+															
	+															
	+	-														
	+															
					<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>					- Alle				
				Famory amortiles to	857,009 部の事業費計											

【課題】―:課題はほとんどない、○:ある程度課題がある、●:大きな課題がある /【総合評価】☆☆☆:順調、☆☆:概ね順調、☆:遅れ

総合計画の体系	章(施策の柱)	1	教育文化・コミュニティ	担当部	教育総務部	
応口引回の体系	節	3	心豊かな青少年を育む環境づくり	1보크리)		

1. 節の概要 ※●は評価主体

分野別将来目標 市では)

生涯にわたり楽しく学べる環境が整い、次代を担う子ども一人ひと りが自ら学び、考え、行動する力を身に付け、それぞれの個性や可 能性を伸ばしています。市民は気軽に学習活動や文化活動を行うこ (10年後の八潮 とができ、生きがいをもって暮らしています。

多くの市民が町会や自治会等のコミュニティ活動にも積極的に参加 しています。また、誰もが互いを思いやる心をもち、人と人、人と 地域とのつながりやふれあいを大切にするまちとなっています。

基本目標

家庭・学校・地域や青少年関係団体等が連携して、地域全 体で心豊かな青少年を育てる環境をつくっています。

	7000 TEXAS	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	成果指標			計画・目標							計画・目標	
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	やしお子ども週末活動実施回数と参加者数	41回 5,424人	_	_	_	_	50回 6,500人	_	_	-	_	60回 7,800人
1)	(しつ) こり週本伯勤天旭自数と参加名数	_	36回 5,015人	38回 5,076人	33回 3,903人							
2	ジュニアリーダー養成研修会修了者数(申 込定数30名(毎日))	30人	_	_	_	_	30人	_	_	_	_	30人
	込定数30名(毎日))		16人	22人	37人							
3			_	_	-			_		1	_	
0												
4			_	_	-			_		1	_	
4		-										
5				_	_	1		_	1	_	_	
		_										

	施策の内容	H30年度	事務事業数	順調	総合評価		担当課
		事業費(千円)	事業費(千円) ^{事物事未数}		概ね順調	遅れ	担国誌
1	青少年育成体制の充実	2,872	2	2	0	0	社会教育課
2	青少年の社会参加の促進	947	1	1	0	0	社会教育課
3	青少年活動の推進	581	1	1	0	0	社会教育課
4							
5							
6							
7							
8							
9							
	計	4, 400	4	4	0	0	

総合計画	章(施策の柱)	1 教育文化・コミュニティ	評価主体(部名)	教育総務部
の体系	節	3 心豊かな青少年を育む環境づくり	評価者名	荒浪淳
評価主体が 推進する 施策の概要		の充実を図るため、研修会等を通して、青少年活動の指導者 Eの健全な育成体制を整備する。	·及びリーダーを養成	するとともに、関係団体の支援活動、団体間の連携

О. ы	107 27 471	(引が展開する別の方代	// /	
	策の 拖状況	携し、ジュニアリータ 実施した。 また、地域の教育力	泉に八潮市子ども会育成え 一養成研修会やレクリン 日を活用した子どもたちに 下活動推進事業「やしお	エーション講習会を の週末体験活動とし
III A	果題	課題はほとんどない 青少年が気軽に集いな居場所のさらなる確	● ある程度課題がある 、そして世代間の交流が な保が課題である。	大きな課題があるができる安全で安心
4. 貿	の評価	(部が展開する節の総合	 今評価)	

т. мусуппш	(1)2 及例 / 0 以 5 心口 1 區 /
総合評価	評価理由
☆☆☆順調	青少年育成八潮市民会議をはじめとする青少年育成関係団体等の各事業に多くの市民の参加があり、市民ぐるみで青少年の健全育成を推進することができた。

5 今後の方針(部が展開する節の方針)

		ວ.	ラ伎	といた	丁士	(部か展開する即	U) /J	並 <i>)</i>						
						■現状のまま推進		見直し	て推進		大幅に	こ見直して	て推進	
			方向	性			!							-
							>		重点化(拡充	전)		縮小		その他
		居	施策	5 針	年民	本市の青少年教育成関係者や団の参画により青なの参画により青まる。	体と	の協	働により	進め	てお	り、今		
		- 4				.0事未よし/								
_		施策コー 章 節 施			施策	施策の	内容					事務事	業	
		1	01	03	01	青少年育成体制	の充	実	青少	午育	成体	制づく	り事	業
		2	01	03	03	青少年活動の推	進		青少	年の	居場	所づく	り事	業
I	ſ	7												

※施策(節)を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆:順調(最終目標達成に向け、順調に成果があがっている) ☆:遅れ(このままでは、最終目標の達成が難しい)

	73 3 112	- M	, C 17	7次,包里仍里来の計画相來(2)				×-	る計画工作と表す						110. 1
主体	施第	ラコー 節	- ド 施策	事務事業名	主要	戦略	公約	担当部	担当課	H30年度事業費 (決算額:千円)	課題	総合評価	方向性	投入 事業費	
	01	03		青少年指導者養成事業				教育総務部	社会教育課	363	0	$^{\diamond}$	現状のまま継続		
		03		青少年育成体制づくり事業				教育総務部	社会教育課	2, 509	0	2	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	01	03	02	社会参加促進事業				教育総務部	社会教育課	947	0	$^{\uparrow}$	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	01	03	03	青少年の居場所づくり事業				教育総務部	社会教育課	581	0	$^{\uparrow}$	現状のまま継続	現状維持	現状維持
\sqcup															
Ш															
\mathbb{H}															
\vdash															
H															
\vdash															
\vdash															
\vdash															
H															
\forall															
H															
\forall															
H															
H															
							<u> </u>			4, 399	部の事	· 某費計			
				[== ==] == == (+ () /				上 7 和 中 田 1 2 上		1,000			E Λ Λ Δοπ (- UT -M	^ \P I-

【課題】―:課題はほとんどない、○:ある程度課題がある、●:大きな課題がある /【総合評価】☆☆☆:順調、☆☆:概ね順調、☆:遅れ

● 教育総務部 章(施策の柱) 教育文化・コミュニティ 総合計画の体系 担当部 社会の要請に応えた教育の環境づくり

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 市では)

生涯にわたり楽しく学べる環境が整い、次代を担う子ども一人ひと りが自ら学び、考え、行動する力を身に付け、それぞれの個性や可 能性を伸ばしています。市民は気軽に学習活動や文化活動を行うこ (10年後の八潮 とができ、生きがいをもって暮らしています。

多くの市民が町会や自治会等のコミュニティ活動にも積極的に参加 しています。また、誰もが互いを思いやる心をもち、人と人、人と 地域とのつながりやふれあいを大切にするまちとなっています。

基本目標

社会の要請に応えた教育の環境づくりが進み、市民の様々 な社会教育に対するニーズが満たされています。 家庭教育に関する学習機会が充実し、家庭の教育力が向上

しています。

		現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	成果指標			計画・目標				計画・目標			計画・目標	
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	社会教育に関する講座数と参加人数	61講座 3,221人	-	_	_		65講座 3,250人			-	_	70講座 3,500人
1)	[红云秋月10 因	_	69講座 3,483人	65講座 3,613人	68講座 3,268人							
(2)	家庭教育に関する講座数と参加者数	111講座 3,205人	l	_	-		120講座 3,250人			I	_	125講座 3,300人
		-	111講座 3,222人	111講座 3,193人	108講座 3,234人							
(2)	市民大学・市民大学院延べ卒業者数	326人	-	_	_		480人			1	_	600人
	而以八子· 而以八子阮延· 平耒 1 数	_	372人	394人	417人							
	図書館利用者数と貸出数	207, 302人 427, 317点	1	_	_		229, 000人 454, 000点			1	_	241,000人 477,000点
4)	囚責跖利用有效と負山数		217, 624人 423, 733点	216, 459人 413, 551点	204, 678人 394, 120冊							
5				_	-	1		1			_	
		_										

	施策の内容	H30年度	事務事業数		総合評価		担当課
		事業費(千円) ^{争伤争未}		順調	概ね順調	遅れ	担国味
1	社会教育活動の充実	46, 917	2	2	0	0	社会教育課、社会教育課 公民館・図書館
	社会教育活動の推進	11, 195	3	2	1	0	社会教育課、社会教育課 公民館・図書館
3	家庭における教育の充実	1, 513	1	1	0	0	社会教育課
4	社会教育環境の整備	90, 715	3	0	3	0	社会教育課 公民館・図書館
5							
6							
7							
8							
9							
	計	150, 340	9	5	4	0	

総合計画	章(施策の柱)	1	教育文化・コミュニティ	評価主体 (部名)	教育総務部
の体系	節	4	社会の要請に応えた教育の環境づくり	評価者名	荒浪淳
評価主体が 推進する 施策の概要	上を図る。また、ケ	、民飢	め、学習活動を促進するために魅力ある市民大学・大学 官の各種講座の充実を図り、社会教育活動の充実に努め 双集、整理及び保存により、市民への情報提供等に供し	る。	

3. 別の別別	(即が成用する即の力を	<i>n</i> /	
施策 <i>の</i> 実施状況	習学校開放講座を開講 では、多にと行政との が進み、審議会等に参 は、資料を収集、整理 とともに、生涯にわた	足進する上で、身近な学標した。また、公民館で展出した。また、公民館で展別による。の協働によるまを当る。のは、保存してよる。とのは、保存して環境では、指定管理者制度による。	開催する講座につい 市民大学、大学院 こ取り組む人づくり 増えた。 図書館で な学習要求に応える 取り組んでいる。八
課題	求められており、施記なっている。 指定管理者制度を導は、管理業務の実施り 必要がある。 市民大学・大学院に	● ある程度課題がある は、多くの市民から利用 設設備の老朽化に対応する 算入している八條公民館 状況や利用状況などについ こついては、さらに市民 やす方法を検討する必要を	る改修等が必要と ・図書館において ハて、随時確認する への理解と周知を図

4. 節の評価 (部が展開する節の総合評価)

総合評価	評価理由
☆☆☆順調	市民大学・大学院事業をNPO法人と協働で実施するとともに、生涯学習学校開放講座及び公民館の各種講座等を開講して、社会教育活動の充実に努めた。 八條公民館・図書館においては、新規事業が増えるとともに、 民間事業者ならではの特色ある取り組みを図ることができた。

5. 今後の方針(部が展開する節の方針)

5 01 04 03 家庭における教育の充実

	112	() / /	7 2-1	(HP/3 /IE//II / O AP 07/1 ET/	
	+	ı.h4L		● 現状のまま推進 見直して推	進 大幅に見直して推進
	方向	11生		▶ 重点	(比(拡充) 縮小 その他
Я	施策	方針	習活資務い	ヨニーズの把握に努めながら柔図書館においては、情報等の 動推進法に基づく学校への出 科等の提供を行っていく。 指定管理者制度を導入した人 の実施状況などについて確認 市民大学・大学院においては 、市と協働したまちづくりに	提供だけではなく、子どもの読書 前講座や障がいのある人への録音 條図書館・公民館においては、業
				で5事業まで) T	
	施策コー 章 節 施			施策の内容	事務事業
1			01	社会教育活動の充実	地域学習活動推進事業
2	01 04 0		02	社会教育活動の推進	市民大学・大学院運営事業
3			01	社会教育活動の充実	図書館情報提供事業

※施策(節)を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

家庭教育推進事業

☆☆☆:順調(最終目標達成に向け、順調に成果があがっている) ☆:遅れ(このままでは、最終目標の達成が難しい)

				1人 グラグラグ サイン 計画 作木()	か 丁	I文 I I U	V + 13	2/ %■1	よ計画土体と衣 9						NO. I
主 体	施領章	ラコー 節	- ド 施策	事務事業名	主要	戦略	公約	担当部	担当課	H30年度事業費 (決算額:千円)	課題	総合評価	方向性	投入 事業費	資源 労働量
	01	04		地域学習活動推進事業				教育総務部	社会教育課	1, 972	_	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	
	01	04	01	図書館情報提供事業				教育総務部	社会教育課 公民館・図書館	44, 945	0	***	現状のまま継続	増加	増加
	01	04	02	社会教育推進事業				教育総務部	社会教育課	5, 391	_	$^{\uparrow}$	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	01	04	02	市民大学・大学院運営事業				教育総務部	社会教育課	3,000	0	$^{\uparrow}$	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	01	04	02	公民館運営事業				教育総務部	社会教育課 公民館・図書館	2, 804	0	☆☆	現状のまま継続	現状維持	増加
	01	04		家庭教育推進事業				教育総務部	社会教育課	1, 513	_	2	現状のまま継続	現状維持	
	01	04		公民館施設管理事業				教育総務部	社会教育課 公民館・図書館	4, 722	0	\overleftrightarrow{x}			
	01	04		視聴覚ライブラリー事業				教育総務部	社会教育課 公民館・図書館	194	0	\overleftrightarrow{x}	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	01	04	04	図書館施設管理事業				教育総務部	社会教育課 公民館・図書館	85, 799		☆☆	現状のまま継続	増加	増加
					-			<u> </u>		150, 340	部の事	業費計			
										,					

【課題】―:課題はほとんどない,○:ある程度課題がある,●:大きな課題がある /【総合評価】☆☆☆:順調,☆☆:概ね順調,☆:遅れ

総合計画の体系	章(施策の柱)	1	教育文化・コミュニティ	担当部	企画財政部	教育総務部
応口引回の作示	節	5	人権を尊重する社会づくり	1년 크 마		

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 市では)

生涯にわたり楽しく学べる環境が整い、次代を担う子ども一人ひと りが自ら学び、考え、行動する力を身に付け、それぞれの個性や可 能性を伸ばしています。市民は気軽に学習活動や文化活動を行うこ (10年後の八潮 とができ、生きがいをもって暮らしています。

多くの市民が町会や自治会等のコミュニティ活動にも積極的に参加 しています。また、誰もが互いを思いやる心をもち、人と人、人と 地域とのつながりやふれあいを大切にするまちとなっています。

基本目標

家庭・学校・地域や職場等のあらゆる場において、人権教 育についての学習機会や啓発活動が充実しており、市民一 人ひとりの人権に対する意識の高揚が進み、差別や偏見の ない明るいまちとなっています。

	NAD THE PROPERTY OF THE PROPER	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	成果指標			計画・目標			計画・目標				計画・目標	計画・目標
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
1	人権に関する研修、催事回数と参加者数	28回 3,051人	_	_	-	_	35回 3,500人	_		_	_	40回 4,000人
1)	八催に戻りる明修、惟尹四奴と参加召奴	_	29回 3, 249人	30回 1,268人	32回 3,304人							
2			_	_	1			_		_	_	
		_										
3			_	_	ı			_		_	_	
(3)		_										
4			_	_	1	1		_		-	_	
4		_										
(5)			_	_	_			_		_	_	
		_										

	施策の内容	H30年度	事務事業数		総合評価		担当課
		事業費(千円)	争份争未致	順調	概ね順調	遅れ	
1	人権教育の推進	1, 420	1	1	0		社会教育課
2	人権啓発の推進	3,005	2	2	0	0	人権・男女共同参画課、社会教育課
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
	計	4, 425	3	3	0	0	

総合計画	章(施策の柱)	1	教育文化・コミュニティ	評価主体 (部名)	企画財政部
の体系	節	5	人権を尊重する社会づくり	評価者名	前田秀明
評価主体が 推進する 施策の概要	人権は全ての人間の 現に努める。	尊於	後に基づく固有の権利であることに鑑み、様々な人権問	題に対し、啓発活動	を通じて基本的人権の尊重、擁護と平等な社会の実

3. 即の方例	(部が展開する即の方例)	
施策の 実施状況	(説明) 「八潮市人権施策実施計画」に基づき、対象にした様々な研修を実施するととページ等のほか、人権に関するイベン 揚を図るための啓発活動を実施してい	もに、広報紙、市ホーム トを実施して人権意識の高
	課題はほとんどない ■ ある程度課題があ	ある 大きな課題がある
課題	インターネットの普及により、誤った 通じた誹謗中傷などの人権侵害が行な このため、正しい知識の普及がより重要	われるようになった。
4 笛の転舗	(郊が展問する筋の総合証価)	

4 節の評価(部が展開する節の総合評価)

サ・ 別 07 日T IIII	
総合評価	評価理由
☆☆☆順調	人権を尊重する社会を実現するため、啓発活動や学校教育、社会 教育、研修事業等を実施し、多くの市民が受講し、順調に成果が あがっている。

5. 今後の方針(部が展開する節の方針)

<u>5.</u>	フ 1を	(0) /	J亚T	(部が展開9 る即						
		.heL		● 現状のまま推進 -	見直	して推進 ·	大	幅に見直し	て推進 	
	方向	忹		_	>	重点化(拡充	元)	縮小	-	その他
臣	施策	5 針	活まり	説明) 「部落差別解消法 法」などの新たな 基づき、様々な啓)、差別のない社 で5事業まで)	:法律を踏 発活動や	話えた「 <i>)</i> が修を実	八潮市ノ	人権施策	実施計	十画」に
= =										
	章	節		┪ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	内容			事務事	業	
1										
2										
3										
4										
5										

※施策(節)を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆:順調(最終目標達成に向け、順調に成果があがっている)☆:遅れ(このままでは、最終目標の達成が難しい)

				別の一般の一般の一般である。				2/	よ計価主体を衣り						NO. I
主_	施策	受コー 節	一ド施策	事務事業名	主要	戦略	公約	担当部	担当課	H30年度事業費 (決算額:千円)	課題	総合評価	方向性	投入 事業費	
	후 01	05	∩1	人権教育推進事業			4.2	教育総務部	社会教育課	1,420	_	☆☆☆	現状のまま継続		
		05		人権推進事業	-			企画財政部	人権・男女共同参画課	2, 547	0	☆☆☆	現状のまま継続		
		05		人権啓発事業					社会教育課	457	_		現状のまま継続		
H	01	00	02	NET DEF A	_			4× F1 (1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1	LAWIN	101		~ ~ ~	Jany Company	20000	20 V (//E11
H															
Ħ															
Ħ															
Ħ															
Ш															
Ш															
\sqcup															
\coprod					<u> </u>										
\coprod															
					<u> </u>						<u> </u>	- 1111			
				F-moral	2,547 部の事業費計										

【課題】―:課題はほとんどない,○:ある程度課題がある,●:大きな課題がある /【総合評価】☆☆☆:順調,☆☆:概ね順調,☆:遅れ

総合計画の体系	章(施策の柱)	1	教育文化・コミュニティ	担当部	•	教育総務部	企画財政部
応口引回の作示	節	5	人権を尊重する社会づくり	1년 크 마			

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 市では)

生涯にわたり楽しく学べる環境が整い、次代を担う子ども一人ひと りが自ら学び、考え、行動する力を身に付け、それぞれの個性や可 能性を伸ばしています。市民は気軽に学習活動や文化活動を行うこ (10年後の八潮 とができ、生きがいをもって暮らしています。

多くの市民が町会や自治会等のコミュニティ活動にも積極的に参加 しています。また、誰もが互いを思いやる心をもち、人と人、人と 地域とのつながりやふれあいを大切にするまちとなっています。

基本目標

家庭・学校・地域や職場等のあらゆる場において、人権教 育についての学習機会や啓発活動が充実しており、市民一 人ひとりの人権に対する意識の高揚が進み、差別や偏見の ない明るいまちとなっています。

	Non-HAN.	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	成果指標			計画・目標				計画・目標			計画・目標	計画・目標
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
1	人権に関する研修、催事回数と参加者数	28回 3,051人	_	_	_	_	35回 3,500人	_	_	-	_	40回 4,000人
1)	八催气因,心则巨、惟事四数乙参加有数	_	29回 3, 249人	30回 1,268人	32回 3,304人							
2			_	_	_	_		_	_	_	_	
2		_										
3			_	_	-				_	1	_	
3)		_										
4			_	_	-				_	1	_	
4)		_										
(5)			_	_	_			_	_	_	_	
		_										

	施策の内容	H30年度	事務事業数	総合評価			担当課		
		事業費(千円)	尹 勿尹未致	順調	概ね順調	遅れ			
1	人権教育の推進	1, 420	1	1	0		社会教育課		
2	人権啓発の推進	3,005	2	2	0	0	人権・男女共同参画課、社会教育課		
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
	計	4, 425	3	3	0	0			

総合計画	章(施策の柱)	1	教育文化・コミュニティ	評価主体(部名)	教育総務部
の体系	節	5	人権を尊重する社会づくり	評価者名	荒浪淳
評価主体: 推進する 施策の概:	子仪、企業及び		幾関と連携を図り、様々な機会を捉えて人権教育を積極 し、認識を深めるよう講演会等を開催したり、広報活動		

O . M. 07 / 1 / 1	(部が展開する即の分析)
施策の 実施状況	(説明) 障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律や部落差別の解消の推進に関する法律など、人権に関わる法整備が進む中、八潮市人権教育推進協議会と連携して人権教育に取り組むとともに、人権教育や同和教育指導者養成の講座を実施した。また、人権標語や作文を児童生徒から募集し、公共機関や金融機関に掲示して広く人権啓発に努めた。
課題	● 課題はほどんどない ある程度課題がある 大きな課題がある 一人ひとりが個人として尊重される社会を継続的に実現するため、あらゆる機会を捉え、人権教育及び人権啓発を実施する必要がある。
4. 節の評価	(部が展開する節の総合評価)

· · » • • • µ µµ	
総合評価	評価理由
☆☆☆順調	人権教育及び人権啓発を継続して実施することができ、市民の 意識の高揚が図れた。

5. 今後の方針(部が展開する節の方針)

_	ວ.	ラ阪	シリノ	丁町	(部か展開する即	の力針)						
					●現状のまま推進	見直	して推進		大幅に	見直して	て推進	
		方向	性									-
						▶	重点化(拡充	乏)	ź	縮小		その他
	Ā	施策関プ	5 針	解 庭 習 重	説明) 障害を理由とすす。 習消の推進に関域、 関機会の拡大を図 かの充実に努める。	る法律な 職場など るととも	どの人権、あらゆ	に関る場	する を通	法律を して、	踏ま 人権	え、家 教育の学
					1,260, 67							
_	施策コート 章 節 施第			施策	施策の「	内容 				事務事	業 	
	1	01	05	01	人権教育の推進		人権	教育	推進	事業		
	2	01	05	02	人権啓発の推進		人権	啓発	事業			
	3											
	4											

※施策(節)を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆:順調(最終目標達成に向け、順調に成果があがっている) ☆:遅れ(このままでは、最終目標の達成が難しい)

<u></u>	川 സ	』	」 で は	解以9 る事務事業の評価結果(※		浸りい	<u>リサ</u> ほ	<u> </u>	よ評価王体を表す <u></u>						NU. I
主体	施策	<u>ー</u>	ード	事務事業名	主要	戦略	公約	担当部	担当課	H30年度事業費	課題	総合評価	方向性	投入	
			施策	r Ha lat -la III att -la alle		阳	平り	tot -tt	LL & fet deserve	(決算額:千円)					労働量
				人権教育推進事業					社会教育課	1, 420	_	☆☆☆	現状のまま継続		
				人権推進事業					人権・男女共同参画課	2, 547	0	☆☆☆	現状のまま継続		
	01	05	02	人権啓発事業				教育総務部	社会教育課	457	_	2	現状のまま継続	現状維持	現状維持
H															
H															
H															
H															
Ш															
\vdash															
H					-										
\vdash															
H	1														
H															
\vdash															
++					-	-									
						L				1 070	±7.0.±	** #=1			
	1,878 部の事業費計														

【課題】―:課題はほとんどない、○:ある程度課題がある、●:大きな課題がある /【総合評価】☆☆☆:順調、☆☆:概ね順調、☆:遅れ

総合計画の体系	章(施策の柱)	1	教育文化・コミュニティ	担当部	● 企画財政部	
応口引回の作示	節	6	平和な社会づくり	1년 크 미		

1. 節の概要 ※●は評価主体

分野別将来目標 市では)

生涯にわたり楽しく学べる環境が整い、次代を担う子ども一人ひと りが自ら学び、考え、行動する力を身に付け、それぞれの個性や可 能性を伸ばしています。市民は気軽に学習活動や文化活動を行うこ (10年後の八潮 とができ、生きがいをもって暮らしています。

多くの市民が町会や自治会等のコミュニティ活動にも積極的に参加 しています。また、誰もが互いを思いやる心をもち、人と人、人と 地域とのつながりやふれあいを大切にするまちとなっています。

基本目標

市民が平和で穏やかな生活を営み、子どもたちが夢や希望 を抱き、次の世代に平和の尊さが語り継がれているやすら ぎに満ちたまちになっています。

	Non-HAN.	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	成果指標			計画・目標	計画・目標		計画・目標	計画・目標		計画・目標	計画・目標	計画・目標
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	平和施設見学会実施回数 (毎年)	1回	_	_	_	_	1回	_	_		_	1回
1)	一种地放光子云天旭凸数 (两千)	_	1回	1回	1回							
2			_	_	_	_		_	_	_	_	
		_										
3			_	_						1	_	
(3)		_										
4			_	_						1	_	
4)		_										
(5)			_	_	_			_		_	_	
		_										

	施策の内容	H30年度	事務事業数		総合評価		担当課
		事業費(千円)	争份争未致	順調	概ね順調	遅れ	
1	平和教育の推進	32	1	0	1	0	人権・男女共同参画課
2	平和意識の高揚	0	1	1	0	0	人権・男女共同参画課
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
	計	32	2	1	1	0	

総合計画	章(施策の柱)	1	教育文化・コミュニティ	評価主体 (部名)	企画財政部
の体系	節	6	平和な社会づくり	評価者名	前田秀明
評価主体が 推進する 施策の概要	平和の尊さを未来を	·担·	う次の世代に引き継いでいくため、平和推進に関する啓	発活動を行う。	

施策 <i>の</i> 実施状況	・小学生を対象に平和施設見 和への意識向上を図る。 ・平和パネル展、原爆パネル 継承を図る。		
	課題はほとんどない ● ある	程度課題がある	大きな課題がある
課題	平和施設見学会は参加者の満 が減少傾向にある。参加者を が必要となってきている。 平和事業は平和施設見学会及 な事業について検討が必要な	増加するための手法 びパネル展を実施し	生についての検討

4. 節の評価(部が展開する節の総合評価)

総合評価	評価理由
	平成30年度は台風により、平和施設見学会は実施できなかった。

5. 今後の方針(部が展開する節の方針)

●現状のまま推進

•	力问	1生			>	重点化	公(拡充)	縮小		その他
田	施策	5針	施し	説見学会やパネ ながら、事業を			、より啓	・発効果の高	高い事	事業を検討
= =		<u>** (ロ</u> きコー		5事業まで)						
-	章		策	施策の	内容			事務事	業	
1										
2										
3										
4										
5				+>+++						

見直して推進

※施策(節)を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆:順調(最終目標達成に向け、順調に成果があがっている) ☆:遅れ(このままでは、最終目標の達成が難しい)

	MU.1 以で構成する事務事業の計画和末(対象年度1130年度) ※■は計画主体を表す														
主体	施第章	きコ- 節	- ド 施策	事務事業名	主要	戦略	公約	担当部	担当課	H30年度事業費 (決算額:千円)	課題	総合評価	方向性	投入 事業費	資源 労働量
	01	06	01	平和推進事業				企画財政部	人権・男女共同参画課	32	_	☆☆	現状のまま継続	現状維持	
	01	06	02	平和啓発事業				企画財政部	人権・男女共同参画課		0	☆☆☆	見直して継続		現状維持
\sqcup															
\vdash															
H															
H															
\vdash															
H															
\vdash															
H															
H															
H															
Ш															
Ш															
\sqcup															
\square															
\vdash															
H															
										20	並の車	業費計			
				「細胞」・細胞はよる	, I × 4		_	上 7 和 本 冊 旺 / 3 上	7 ▲ + キャ 細 晒 よ				EI A A 1011 I	- UT -M	A 10 L

【課題】―:課題はほとんどない、○:ある程度課題がある、●:大きな課題がある /【総合評価】☆☆☆:順調、☆☆:概ね順調、☆:遅れ

● 市民活力推進部 教育総務部 章(施策の柱) 教育文化・コミュニティ 担当部 総合計画の体系 個性あふれる豊かな市民文化づくり 餰

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 市では)

生涯にわたり楽しく学べる環境が整い、次代を担う子ども一人ひと りが自ら学び、考え、行動する力を身に付け、それぞれの個性や可 能性を伸ばしています。市民は気軽に学習活動や文化活動を行うこ (10年後の八潮 とができ、生きがいをもって暮らしています。

多くの市民が町会や自治会等のコミュニティ活動にも積極的に参加 しています。また、誰もが互いを思いやる心をもち、人と人、人と 地域とのつながりやふれあいを大切にするまちとなっています。

基本目標

個性あふれる豊かな市民文化と豊かな人間性が育まれ、新 しい文化活動が創造されています。

また、市民が地域やまちの歴史に愛着をもち、次の世代に 地域の伝統文化を伝えているまちになっています。

	大池和木	TD 115 /+	1100	1100	1100	N	D0 4 4	D0 4 4	D1 4 -	DE 4-	D0	D7 4 4
		現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	成果指標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	市民文化推進に関する講座数と参加者数	14講座 1,806人	_	_	_	_	20講座 2,000人	_	1	1	_	25講座 2,500人
1)		_	12講座 849人	11講座 873人	13講座 1,017人							
2	郷土の歴史・文化に関する講座数と参加者数	51講座 8,340人	_	_	_	_	55講座 9,000人		1	1	_	60講座 10,000人
2	数	_	61講座 7,029人	72講座 7,346人	68講座 5,397人							
3			_	_	_	_		_	1	-	_	
3)		_										
4			_	_	_	_		_	1	-	_	
4)		_										
(5)			_	_	-	_		_	I	I	_	
(3)		_										

	施策の内容	H30年度	事務事業数		総合評価		担当課
	ル泉の内谷	事業費(千円)	争伤争未效	順調	概ね順調	遅れ	担当味
1	文化活動の推進	4, 306	3	0	3	0	市民協働推進課、社会教育課 公民館・図書館、文化財保護課
2	文化施設の充実	119, 364	3	0	3	0	市民協働推進課、文化財保護課
3	文化財保護事業の推進	3, 727	2	2	0	0	文化財保護課
4	郷土の歴史・文化普及事業の推進	13, 668	2	1	1	0	文化財保護課
5							
6							
7							
8							
9							
	計	141, 065	10	3	7	0	

総合計画	章(施策の柱)	1	教育文化・コミュニティ	評価主体 (部名)	市民活力推進部
の体系	節	7	個性あふれる豊かな市民文化づくり	評価者名	鈴木 圭介
評価主体が 推進する 施策の概要	れる機会を充実する	5.	: 文化イベントや文化施設での講座を充実するとともに : 施設の充実や有効利用、相互の連携を強化する。	、アウトリーチ活動	による施設外でのイベントを開催し、文化芸術にふ

3. 別の 別机	(中の)及所 9 の間の7月 何 /
施策の 実施状況	(説明) (1) 文化芸術にふれる機会として、講座やコンサート等の自主 事業を実施し、メセナ本館では100,331人、アネックスでは33,482 人の施設利用があった。 (2) メセナ本館施設の充実のため、3箇所の工事を行い、12箇所 の改修を行った。
	課題はほとんどない ある程度課題がある ● 大きな課題がある
課題	・八潮市民文化会館については、開館以来29年が経過し、建物・設備の老朽化が顕著である。保全計画に基づき計画的な修繕が必要である。 八潮市民文化会館駅前分館については、再任用短時間職員及び臨時職員により対応しており、正規職員の配置がない状態が続いている。 ・八潮市民文化会館駅前分館の利用者数は前年より275人減少したものの、例年並みの利用者数であった。今後は、自主事業の開催や展示等の施設使用の用途を検討する必要がある。

4. 節の評価(部が展開する節の総合評価)

	The second of th
総合評価	評価理由
☆☆ 概ね順調	八潮市民文化会館、八潮市民文化会館駅前分館は、安全で安心して利用できるよう保全計画に基づく改修がなされている。 また、文化芸術に触れる機会の充実を図るため、今後もアウトリーチの開催地を増やすとともに、安定的に事業を実施していく。

5. 今後の方針(部が展開する節の方針)

	■ 現状のまま推進 見直して推進 大幅に見直して推進
方向性	重点化(拡充) 縮小 その他
施策の展開方針	・八潮市民文化会館では地域に根ざした文化活動の一環として、カジュアルなクラシックコンサートを実施している。市民が音楽を身近に感じられるよう、市内の様々な場所で演奏を楽しめる機会を提供していく。・八潮市民文化会館は、引き続き安全で安心な施設運営を目指し、保全計画に基づいた改修工事を実施する。また、八潮市民文化会館駅前分館については、施設の有効活用を引き続き検討する。
■重点事業(部	- Bで5事業まで)

里	二二十	**	עם /	() 学末より/	
	施領	長□-	ا ٦	施策の内容	事務事業
	章	節	施策	ル東の内谷	学 协学未
1	01	07	02	文化施設の充実	八潮市民文化会館施設管理事業
2					
3					
4					
5					

※施策(節)を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆:順調(最終目標達成に向け、順調に成果があがっている) ☆:遅れ(このままでは、最終目標の達成が難しい)

	主 施策コード 東京東番名 主 戦 公 日本が 日本が H30年度事業費										投入資源			
主 施 革		施策	事務事業名	主要	戦略	公約	担当部	担当課	H30年度事業費 (決算額:千円)	課題	総合評価	方向性		資源 労働量
1 01		01	市民文化推進事業				市民活力推進部	市民協働推進課	1, 589	0	☆☆	現状のまま継続	増加	現状維持
01	07	01	文化活動推進事業				教育総務部	社会教育課 公民館·図書館	2, 552	0	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
01	07	01	地域文化活性化事業				教育総務部	文化財保護課	165	0	☆☆	見直して継続	現状維持	現状維持
1 01	07	02	八潮市民文化会館施設管理事業				市民活力推進部	市民協働推進課	88, 750	0	☆☆	現状のまま継続	増加	増加
1 01	07	02	八潮市民文化会館駅前分館施設管理事業				市民活力推進部	市民協働推進課	10, 471	0	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
01	07	02	資料館運営事業				教育総務部	文化財保護課	20, 142	•	☆☆	見直して継続	増加	現状維持
01	07	03	文化財保護充実事業				教育総務部	文化財保護課	2, 686	•	2	見直して継続	増加	増加
01	07	03	文化財周辺環境整備事業				教育総務部	文化財保護課	1, 041	0	$^{\uparrow}$	見直して継続	増加	増加
01	07	04	収集資料保存・活用事業				教育総務部	文化財保護課	12, 203	0	***	現状のまま継続	現状維持	現状維持
01	07	04	郷土の歴史・文化普及事業				教育総務部	文化財保護課	1, 464	•	☆☆	見直して継続	現状維持	現状維持
	1													
	1													
H														
	-	-												
	-	-												
				<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>			100, 811	単のす	[業費計			
			「押頭」・押期けはより	124	1 \	$\overline{}$	ナフ印本部町だち	ス ▲・士キた押頭が				FI A A 48T J	山西 =田	مل تظر الا

【課題】―:課題はほとんどない,○:ある程度課題がある,●:大きな課題がある /【総合評価】☆☆☆:順調,☆☆:概ね順調,☆:遅れ

● 教育総務部 市民活力推進部 章(施策の柱) 教育文化・コミュニティ 担当部 総合計画の体系 個性あふれる豊かな市民文化づくり

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 市では)

生涯にわたり楽しく学べる環境が整い、次代を担う子ども一人ひと りが自ら学び、考え、行動する力を身に付け、それぞれの個性や可 能性を伸ばしています。市民は気軽に学習活動や文化活動を行うこ (10年後の八潮 とができ、生きがいをもって暮らしています。

多くの市民が町会や自治会等のコミュニティ活動にも積極的に参加 しています。また、誰もが互いを思いやる心をもち、人と人、人と 地域とのつながりやふれあいを大切にするまちとなっています。

基本目標

個性あふれる豊かな市民文化と豊かな人間性が育まれ、新 しい文化活動が創造されています。

また、市民が地域やまちの歴史に愛着をもち、次の世代に 地域の伝統文化を伝えているまちになっています。

	大池和木	TD 115 /+	1100	1100	1100	N	D0 4 4	D0 4 4	D1 4 -	DE 4-	D0	D7 4 4
		現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	成果指標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	市民文化推進に関する講座数と参加者数	14講座 1,806人	_	_	_	_	20講座 2,000人	_	1	1	_	25講座 2,500人
1)		_	12講座 849人	11講座 873人	13講座 1,017人							
2	郷土の歴史・文化に関する講座数と参加者数	51講座 8,340人	_	_	_	_	55講座 9,000人		1	1	_	60講座 10,000人
2	数	_	61講座 7,029人	72講座 7,346人	68講座 5,397人							
3			_	_	_	_		_	1	-	_	
3)		_										
4			_	_	_	_		_	1	-	_	
4)		_										
(5)			_	_	-	_		_	I	I	_	
(3)		_										

	施策の内容	H30年度	事務事業数		総合評価		担当課
	一	事業費 (千円)	争伤争未致	順調	概ね順調	遅れ	担国味
1	文化活動の推進	4, 306	3	0	3	0	市民協働推進課、社会教育課 公民館・図書館、文化財保護課
2	2 1 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 -	119, 364	3	0	3	0	市民協働推進課、文化財保護課
3	文化財保護事業の推進	3, 727	2	2	0	0	文化財保護課
4	郷土の歴史・文化普及事業の推進	13, 668	2	1	1	0	文化財保護課
5							
6							
7							
8							
9							
	計	141, 065	10	3	7	0	

総合計画	章(施策の柱)	1	教育文化・コミュニティ	評価主体(部名)	教育総務部
の体系	節	7	個性あふれる豊かな市民文化づくり	評価者名	荒浪淳
評価主体が 推進する 施策の概要	文化財調査を進め	り、第	トや講座を充実させるとともに、地域や市民生活に根ざ 所たな文化財の指定・登録に努めるとともに、既存文化 を開催し、市民の地域の歴史や文化遺産への関心を高め	財の普及啓発事業及	

O . E1077111	
施策の 実施状況	(説明) 八潮市文化協会との連携により、書道展、美術展、音楽祭、文化祭等、各種文化活動を行った。 文化財保護関係では、市内に伝わる歴史資料や文化遺産を後世に継承するため、調査及び保存に努めるとともに、市内の文化財に対する理解を深めてもらうために『八潮市の文化財ガイド』の刊行や文化財解説板の更新などを行った。また、企画展及び季節展示を計4回行い、延べ3,985人の参観者を得られた。
課題	課題はほとんどない ● ある程度課題がある 大きな課題がある 人潮市文化協会が中心となった文化活動において、市民意識の 醸成が必要となっている。 文化財保護関係では、文化財所有者・保持団体等で、文化財保存のために抱える課題は様々であるため、実情に合わせたきめ細やかな対応を行い、支援制度の活用に繋げてもらう必要がある。また、歴史や文化遺産への理解を深めてもらうため、文化財愛護団体等と連携し、文化財の普及啓発と活用事業に努めていく必要がある。
4 KK O == I	- (如杉展則ナス笠の巛人証法)

4. 節の評価(部が展開する節の総合評価)

	The second of th
総合評価	評価理由
☆☆ 概ね順調	八潮市文化協会の加入団体の連携により、各種文化活動が実施できた。 文化財保護関係では、『八潮市の文化財ガイド』の刊行や文化 財解説板の更新などを行ない、市内の文化財に対する理解を深めてもらうことができた。また、企画展及び季節展示、資料活用事業 歴史講座などもほぼ順調な観覧者・参加者を得られた
概ね順調	財解説板の更新などを行ない、市内の文化財に対する理解を深め

5. 今後の方針(部が展開する節の方針)

3 01 07 03 文化財保護事業の推進

	, 方	ص م	活る俗	● 現状のまま推進 見直して推進 	更なる連携を図り、市民の文化 化財の調査を進め、保護に努め 市民への周知を図る。また、民 つなげるため、伝統芸能等への					
■重点事業(部で5事業まで)										
	施策コード 章 節 施策			施策の内容	事務事業					
4				サル歩乳の大字 次	시이 상수가다 가는 국무 계수					
2	01	07	02	2.100000	料館運営事業 土の歴史・文化普及事業					

※施策(節)を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

文化財保護充実事業 収集資料保存・活用事業

☆☆☆:順調(最終目標達成に向け、順調に成果があがっている) ☆:遅れ(このままでは、最終目標の達成が難しい)

													NO. I			
主体	施第章	ラコ- 節		事務事業名	主要	戦略	公約	担当部	担当課	H30年度事業費 (決算額:千円)	課題	総合評価	方向性	投入 事業費	資源 労働量	
117	보 01	07		市民文化推進事業	女	ΨД	ጥህ	市民活力推進部	市民協働推進課		$\overline{}$	☆☆	現状のまま継続		現状維持	
_	01		01	文化活動推進事業				教育総務部		1, 589 2, 552	0	~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~	現状のまま継続	現状維持		
		07			-		_			·				現状維持		
-	01	07	01	地域文化活性化事業					文化財保護課	165	0	☆☆	見直して継続			
	01	07	02	八潮市民文化会館施設管理事業					市民協働推進課	88, 750	0	☆☆	現状のまま継続	増加	増加	
	01	07		八潮市民文化会館駅前分館施設管理事業					市民協働推進課	10, 471	<u> </u>	☆☆				
	01	07		資料館運営事業	<u> </u>			教育総務部	文化財保護課	20, 142	•	☆☆	見直して継続	増加	現状維持	
	01	07		文化財保護充実事業				教育総務部	文化財保護課	2, 686	•	***	見直して継続	増加	増加	
	01	07		文化財周辺環境整備事業				教育総務部	文化財保護課	1, 041	0	2	見直して継続	増加	増加	
	01	07		収集資料保存・活用事業				教育総務部	文化財保護課	12, 203	0	2	現状のまま継続			
	01	07	04	郷土の歴史・文化普及事業				教育総務部	文化財保護課	1, 464		☆☆	見直して継続	現状維持	現状維持	
-																
-																
-																
<u> </u>																
													_			
				 						40,253 部の事業費計						
										AV) BVV HEVY T /N XCH1						

【課題】―:課題はほとんどない,○:ある程度課題がある,●:大きな課題がある /【総合評価】☆☆☆:順調,☆☆:概ね順調,☆:遅れ

● 市民活力推進部 章(施策の柱) 教育文化・コミュニティ 総合計画の体系 担当部 ふれあいと連帯感にみちた地域社会づくり

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 市では)

生涯にわたり楽しく学べる環境が整い、次代を担う子ども一人ひと りが自ら学び、考え、行動する力を身に付け、それぞれの個性や可 能性を伸ばしています。市民は気軽に学習活動や文化活動を行うこ (10年後の八潮 とができ、生きがいをもって暮らしています。

多くの市民が町会や自治会等のコミュニティ活動にも積極的に参加 しています。また、誰もが互いを思いやる心をもち、人と人、人と 地域とのつながりやふれあいを大切にするまちとなっています。

基本目標

町会・自治会をはじめ、ボランティア団体やNPO※等 が、地域コミュニティ活動を主体的に展開しながら、まち づくりに取り組んでいます。

	NO THE NO.	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	成果指標			計画・目標							計画・目標	
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
1	町会・自治会等の地域活動への参加率	32. 60%	-		_	_	41%	-	-	-	_	48%
1)	则云·日伯云寺(7)地域伯勤、(7)参加平	_	20.4%	1	-							
(2)	ボランティア・市民活動団体登録数	201団体		1		1	260団体	1	1	1		310団体
(2)		_	222団体	235団体	229団体							
3	NPO法人登録数	16団体					20団体			1	_	25団体
3	N F O 伝入豆啉数	_	22件	22件	22件							
4	日本語ボランティアの登録者数	26人					45人			1	_	56人
4	日本品がフンテイナの登録日数	_	36人	34人	34人							
5				_	_			_		_	_	
		_										

	施策の内容	H30年度	事務事業数		総合評価		担当課
		事業費(千円) ^{事務事業数}		順調	概ね順調	遅れ	担国味
1	コミュニティ活動の推進	25, 438	3	1	2	0	市民協働推進課
2	コミュニティ環境の整備	13, 248	2	0	2	0	市民協働推進課
3	外国籍住民との交流の推進	171	1	0	1	0	市民協働推進課
4							
5							
6							
7							
8							
9							
	計	38, 857	6	1	5	0	

総合計画	章(施策の柱)	1	教育文化・コミュニティ	評価主体 (部名)	市民活力推進部
の体系	節	8	ふれあいと連帯感にみちた地域社会づくり	評価者名	鈴木 圭介
評価主体が 推進する 施策の概要	の参加を促すことで (2)コミュニティ環	が各 境の	推進:町会自治会、ボランティア団体、NPO等の地域 地域コミュニティの活性化を促進する。 整備:コミュニティ施設の整備及び修繕等への支援をするの促進:ボランティア団体等と連携し、研修会やイベン	する。	

- · × - · · · / · /	(時の股別) (ののの) (の)
施策 <i>の</i> 実施状況	(説明) 町会自治会連合会や各町会自治会、コミュニティ協議会に各種補助金を交付し、コミュニティ活動への参加と活性化を促進する事業を実施した。また、3月から4月の加入促進月間や市民まつりで町会活動のPRや、大型集合住宅に対して自治会設立、加入の案内チラシを作成・配布し、さらに外国人住民に対し地域活動への理解を促すため、中国語版加入チラシを作成した。市民活動支援コーナーでは、市民活動支援のため講習会やイベントを実施した。 多文化交流活動推進のため、日本語ボランティア養成講座や市民団体と協働で国際交流フェスティバルを開催した。
課題	課題はほとんどない ● ある程度課題がある 大きな課題がある ・町会自治会と連携して加入率の向上に努める必要がある。 ・市民活動支援コーナーの運営にあたっては、様々な相談等に適切に対応する、コーディネーターの養成に向けた取組みを行う必要がある。 ・外国人住民の増加に伴い、生活習慣の違いにより地域におけるトラブルもあることから、相談窓口等の対策が必要である。また、日本語が全く分からない住民も居住しているため、行政が作成する文書の多言語化についても検討する必要がある。・コミュニティセンターについては、計画的な改修が必要である。

4. 節の評価 (部が展開する節の総合評価)

総合評価	評価理由
なな	町会自治会等の地域活動への参加率については、市民意識調査結果では20.4%と低い数値だが、ボランティア等の活動団体数やNPO法人登録数は一定の数値を保っており、国際交流フェスティバルの開催や多言語版の加入チラシの作成やPR、市民活動支援コーナーにおける事業も充実してきている。

5. 今後の方針(部が展開する節の方針)

方向性 現状のまま推進	3. 7後の714		(110777 平17		
施策の 展開方針 「一→ ■重点化(拡充) ■ 縮小 ■ その他 (説明) 「一→ ■重点化(拡充) ■ 縮小 ■ その他 「説明) 「可会自治会の加入率向上を図るため、引き続き町会自治会への支援を行うとともに、集合住宅等へ町会自治会設立や加入を働きかけていく。 市民活動支援コーナー機能の充実を図る。 多文化共生を推進するため、講座や外国人住民との交流事業を開催していく。		現状のまま推進	●見直して推進	大幅に見直して	て推進
施策の 展開方針 下会自治会の加入率向上を図るため、引き続き町会自治会への支援を行うとともに、集合住宅等へ町会自治会設立や加入を働きかけていく。 市民活動支援コーナー機能の充実を図る。 多文化共生を推進するため、講座や外国人住民との交流事業を開催していく。	方向性	-	- ¬	÷	
	展開方針	町会自治会の加入 援を行うとともに けていく。 市民活動支援コー 多文化共生を推進 催していく。	、率向上を図るたる こ、集合住宅等へ ・ナー機能の充実を	か、引き続き町会 叮会自治会設立や を図る。	₹自治会への支 P加入を働きか
 					

	施領	色コー	ا بر	施策の内容	事務事業									
	章	節	施策	心束の内谷	学 协学术									
1	01	08	01	コミュニティ活動の推進	コミュニティ意識の高揚事業									
2	01 08 01			コミュニティ活動の推進	市民活動支援事業									
3	01	08	03	外国籍住民との交流の推進	多文化交流活動支援事業									
4														
5														

※施策(節)を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆:順調(最終目標達成に向け、順調に成果があがっている) ☆:遅れ(このままでは、最終目標の達成が難しい)

		₹ □ -		中央・6年初年末の日間間末(四)			_		は肝臓工件と扱う	H30年度事業費				投入	咨酒
	章		施策	事務事業名	要	戦略	約	担当部	担当課	(決算額:千円)	課題	総合評価	方向性	事業費	
		08	01	コミュニティ意識の高揚事業				市民活力推進部	市民協働推進課	20, 775	0	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	01	08	01	市民活動支援事業				市民活力推進部	市民協働推進課	4, 330	0	$^{}$	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	01	08	01	コミュニティ関係団体育成・活動支援事業				市民活力推進部	市民協働推進課	333	0	2	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	01	08	02	コミュニティ施設整備事業				市民活力推進部	市民協働推進課	2, 402	0	☆☆	現状のまま継続	増加	増加
		08	02	コミュニティセンター施設管理事業				市民活力推進部	市民協働推進課	10, 847	0	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	01	08	03	多文化交流活動支援事業				市民活力推進部	市民協働推進課	171		☆☆	見直して継続	増加	増加
\vdash						1									
\perp															
					<u> </u>	L					<u> </u>	- 1111			
										38, 857	部の事	業費計			

【課題】―:課題はほとんどない,〇:ある程度課題がある,●:大きな課題がある /【総合評価】☆☆☆:順調,☆☆:概ね順調,☆:遅れ

総合計画の体系	章(施策の柱)	1	教育文化・コミュニティ	担当部	企画財政部	
応口可回の体系	節	9	男女がともに育む社会づくり	파크라		

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 市では)

生涯にわたり楽しく学べる環境が整い、次代を担う子ども一人ひと りが自ら学び、考え、行動する力を身に付け、それぞれの個性や可 能性を伸ばしています。市民は気軽に学習活動や文化活動を行うこ (10年後の八潮 とができ、生きがいをもって暮らしています。

多くの市民が町会や自治会等のコミュニティ活動にも積極的に参加 しています。また、誰もが互いを思いやる心をもち、人と人、人と 地域とのつながりやふれあいを大切にするまちとなっています。

基本目標

男女が互いに尊重し合い、性別に捉われることなくあらゆ る分野で活躍できるまちとなっています。

	大心和木											
		現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	成果指標	計画・目標	計画・目標		計画・目標							
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
1	審議会への女性の登用率	31. 20%	_	_	_	_	35%	_		_	_	40%
1)	雷威云、沙 女压》显用于	_	30. 5%	31. 3	33.8							
2	相談体制の充実	週3日	_	_	_	_	週4日	_	_	_	_	週5日
2	和政体制的人工关	_	週4日	週5日	週5日							
3			_	_	_	_		_	_	_	_	
0		_										
4			_	_	_	_		_	_	_	_	
4)		_										
5			_	_	_	_		_	_	_	_	
		_										

	施策の内容	H30年度	事務事業数		総合評価		担当課
		事業費 (千円)	事 协事未致	順調	概ね順調	遅れ	ᄪᆿᄍ
	男女共同参画の促進	302	1	0	1	0	人権・男女共同参画課
2	相談体制等の充実	3, 839	1	1	0	0	人権・男女共同参画課
	男女平等意識の高揚	141	1	0	1	0	人権・男女共同参画課
4	仕事と家庭・地域生活の両立	0	1	1	0	0	人権・男女共同参画課
5							
6							
7							
8							
9							
	計	4, 282	4	2	2	0	

総合計画	章(施策の柱)	1	教育文化・コミュニティ	評価主体(部名)	企画財政部
の体系	節	9	男女がともに育む社会づくり	評価者名	前田秀明
評価主体が 推進する 施策の概要	・政策、方針などの・女性に対する暴力) フの 🏻	参画プランの基本理念である「誰もが自分らしく、輝い 定の場への女性の登用率の向上を図る。 防止を啓発し、被害者支援体制の充実を図る。 舌の両立を目指すため、ワーク・ライフ・バランスの推		注目指す。

3. 即0万仞	(部が展開する節の分析)
施策の 実施状況	(説明) ・第4次八潮市男女共同参画プランに基づき、男女共同参画社会の実現に向け、各種啓発事業を実施した。 ・DV被害者の早期発見、支援のため、「女性相談」や「DV相談」を実施し、さまざまな悩みを持つ女性の支援に努めた。
課題	・審議会等委員における女性の登用については、増加しつつあるが、目標値には達していない。女性委員ゼロの審議会等もあり、各選出団体等に対し、女性委員の推薦についての理解を得る必要がある。 ・DV相談の充実のため、相談員の確保や男性相談の必要性についての検討が必要となってきている。
4 節の評価	(部が展開する節の総合評価)

4.節の評価(部か展開する節の総合評価)

1. M1.02 [1]	
総合評価	評価理由
☆☆ 概ね順調	課題はあるものの、第4次八潮市男女共同参画プランで掲げた数値目標について一定の成果は出ているため概ね順調とする。

5. 今後の方針(部が展開する節の方針)

				●現状のまま推進		見直して	推進	大幅に見直し	て推進	
	方向	性		-			点化(拡充)	 縮小		- その他
	施策		穿流	説明) 第4次八潮市男女: 重するとともに、 食討する。						
■ 里				で5事業まで)						
	施章	をコ- 筋	一ド施策	→ 施黄(/)	内容			事務事	業	
1		201-								
2										
3										
4										
5										

※施策(節)を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆:順調(最終目標達成に向け、順調に成果があがっている) ☆:遅れ(このままでは、最終目標の達成が難しい)

		別													
主体	施領	をコー	- F	事務事業名	主要	戦略	公約	担当部	担当課	H30年度事業費	課題	総合評価	方向性	投入	
			施策			哈	北小		=	(決算額:千円)				事業費	
	01	09		男女共同参画促進事業				企画財政部	人権・男女共同参画課	302	0	☆☆	現状のまま継続		
	01	09		相談体制等充実事業				企画財政部	人権・男女共同参画課	3, 839	0	2	現状のまま継続		
	01	09	03	男女共同参画啓発事業				企画財政部	人権・男女共同参画課	141	\circ	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	01	09	04	男女共同参画環境づくり事業				企画財政部	人権・男女共同参画課		_	$\Rightarrow \Rightarrow \Rightarrow$	現状のまま継続	現状維持	現状維持
-															
-															
-															
					-										
					-										
-					-										
					-										
_					-										
					_										
				[-						4, 282		業費計			A 18 L
								上 フィロ st === 1ミ 上				A A 1017 =		- 비포 루찌	

【課題】―:課題はほとんどない、○:ある程度課題がある、●:大きな課題がある /【総合評価】☆☆☆:順調、☆☆:概ね順調、☆:遅れ

総合計画の体系	章(施策の柱)	2	健康福祉・子育て	担当部	健康福祉部	
応口引回の作示	節	1	ともに支えあう、心豊かな健康づくり	ᄪᆿᇚ		

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 (10年後の八潮 市では) 市民が日頃から健康づくりやスポーツに取り組み、健やかに暮らしています。病気やけがの際に安心して治療を受けられ、介護が必要になっても適切に介護サービスを受けることができます。

また、年齢や所得、障がいの有無にかかわらず、誰もが地域の支え合いの中でいきいきと暮らしています。 ライフスタイルに応じて子どもを安心して産み育てられる仕組み

ライフスタイルに応じて子どもを安心して産み育てられる仕組み や、地域で子どもを見守る環境が整い、若い世代が八潮市に魅力を 感じて暮らせるまちとなっています。 基本目標

市民は、自分自身の健康について関心をもち、自らの健康づくりに主体的に取り組むとともに、地域の中でともに支え合いながら、心豊かに健康でいきいきと暮らしています。また、それぞれの年代に応じた健康に関する情報等をいつでも手軽に入手しながら、身近なところで健康づくりを実践しています。

2.	美											
		現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	成果指標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
(1)	健康づくり懇話会の設置数	14か所	_	_			19か所	_		_	_	22か所
1)	展 ストリ 恋 田 云 ツ 以 直 数	_	16か所	16か所	17か所							
2	ヘルシーチェック受診者数(20歳~39歳の 市民を対象に市で行っている健康診査)	241人	_	_	_	_	350人	_	_	_	_	400人
٧	市民を対象に市で行っている健康診査)	_	317人	290人	343人							
3	大腸がん検診受診率(40歳以上の市民を対	35. 60%	_	_	_	_	40%	_	_	_	_	50%
0	象に市で行っている検診)	_	33.4%	31.1%	30.4%							
4			_	_	_	_		_	_	_	_	
4		_										
5			_	_	_	_		_	_	_	_	
0		_										1

	施策の内容	H30年度	事務事業数		総合評価		担当課
		事業費 (千円)	争伤争未致	順調	概ね順調	遅れ	担国味
1	心豊かな健康づくりの推進	34, 983	2	0	2	0	健康増進課
2	保健サービスの充実	413, 524	3	0	3	0	健康増進課
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
	計	448, 507	5	0	5	0	

総合計画	章(施策の柱)	2	健康福祉・子育て	評価主体 (部名)	健康福祉部
の体系	節	1	ともに支えあう、心豊かな健康づくり	評価者名	香山 庸子
	【心豊かな健康づく	<i>b</i> 0) 推進】市民自らが主体的に健康づくりに取り組むこと	ができるよう、健康	意識の啓発や地域の実情に合った情報等を提供する
評価主体が			J会・自治会、ボランティア等と協働し、健康づくり事		
推進する			子どもから高齢者までそれぞれのライフステージに応		
		つると	とともに、健康増進事業、予防接種事業を充実させる。	また、医療や福祉の	関係機関と連携し、市民の健康づくりを支援する体
	制を強化する。				

(説明) 心豊かな健康づくりの推進では、第2次八潮市健康づくり行動 計画に基づき、「健康づくり懇話会」、「健康スポーツまつ り」、「ラジオ体操普及事業」、「健康長寿サポーター養成講習 会」等を実施するとともに、新規に「健康マイレージ事業」及び 施策の 「体力づくり講座」を実施した。また、「八潮市いのち支える自 実施状況 殺対策計画」を策定した。 保健サービスの充実では、妊婦健診、乳幼児健診などの母子保 健事業を実施するとともに、子育て世代包括支援センター(利用 者支援事業母子保健型)を開設した。また、ヘルシーチェック、 がん検診、こころの健康相談などの健康増進事業、各種定期予防 接種を行う予防接種事業を実施した。 課題はほとんどない ●ある程度課題がある 大きな課題がある 心豊かな健康づくりの推進では、様々な世代に健康づくりに対 する意識啓発を図るため、様々な手段による健康情報の発信や、 身近なところで気軽に健康づくりに取り組める環境整備が必要で ある。また、「健康マイレージ事業」においては、参加者の拡充 課題 を図りながら、市民が主体となった健康づくりを推進していく必 要がある。 保健サービスの充実では、母子保健事業においては、妊娠期か ら子育て期まで切れ目のない支援体制の充実を図り、健康増進事 業においては、ヘルシーチェックやがん検診の受診率向上に向け た積極的な取組が必要である。

4. 節の評価(部が展開する節の総合評価)

総合評価	評価理由
	健康づくり推進事業においては、新規事業の「健康マイレージ事業」に687人と多くの市民が参加した。母子保健事業においては、子育て世代包括支援センターを設置し、妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援体制の整備を図った。健康増進事業においては、受診率向上を図るため積極的に受診勧奨を行った。以上のことから概ね順調とした。

5. 今後の方針(部が展開する節の方針)

方向性	現状のまま推進 ● 見直して推	進 大幅に見直して推進
	▶ 重点	比(拡充) 縮小 その他
施策 <i>の</i> 展開方針	画に基づき、市民が主体的に使りを存在をを表情とををはまった。 市民が重体的に使りをできる。 また、一方のでは、一方ので	、第2次八潮市健康づくり行動計 康づくりに取り組めるよう、積極 事業を随時見直しながら着実に 一を検動する。 一を検付を 一を検けまる。 一を保健が事業においては、市関係経 のでは、 一ので、 一ので、 一ので、 一ので、 一ので、 一ので、 一ので、 一ので
	『で5事業まで) 	
施策コー 章 節 施	∸	事務事業

※施策(節)を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

健康づくり推進事業

母子保健事業

健康増進事業

予防接種事業

保健センター管理運営事業

01 01 心豊かな健康づくりの推進

01 01 心豊かな健康づくりの推進

| 01 | 02 | 保健サービスの充実

| 01 | 02 |保健サービスの充実

02 01 02 保健サービスの充実

☆☆☆:順調(最終目標達成に向け、順調に成果があがっている) ☆:遅れ(このままでは、最終目標の達成が難しい)

☆☆:概ね順調(最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調)

02

3 02

	施策コード 東政東衆タ 主 戦 公 中央知 中央部 H30年度事業費 田野 松合証体 大点性														110. 1
主体	施第章	ラコ- 節	- ド 施策	事務事業名	主要	戦略	公約	担当部	担当課	H30年度事業費 (決算額:千円)	課題	総合評価	方向性	投入 事業費	
	02	01		健康づくり推進事業				健康福祉部	健康増進課	13, 938	0	☆☆	見直して継続		増加
	02	01	01	保健センター管理運営事業				健康福祉部	健康増進課	21, 045	0	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	02	01	02	母子保健事業				健康福祉部	健康増進課	99, 161	0	☆☆	現状のまま継続	増加	増加
	02	01		健康増進事業					健康増進課	59, 231	0	☆☆	見直して継続	増加	増加
	02	01	02	予防接種事業				健康福祉部	健康増進課	255, 132	0	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
					-										
\vdash															
\vdash															
					-										
\vdash															
\vdash															
H					-										
\vdash					-										
\vdash					1										
\vdash					-										
\vdash															
	1 1 448, 508 部の事業費計														
				7-m n= 1 -m n= 1 + 1 - 1	. 18			七、九十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二		440, 000				- WE - EX	A 10 L

【課題】―:課題はほとんどない、○:ある程度課題がある、●:大きな課題がある /【総合評価】☆☆☆:順調、☆☆:概ね順調、☆:遅れ

総合計画の体系	章	(施策の柱)	2	健康福祉・子育て	担当部	健康福祉部	
「花口引回の体系		節	2	いのちを守る医療体制づくり	ᄪᆿᇚ		

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 (10年後の八潮 市では) 市民が日頃から健康づくりやスポーツに取り組み、健やかに暮らしています。病気やけがの際に安心して治療を受けられ、介護が必要になっても適切に介護サービスを受けることができます。

また、年齢や所得、障がいの有無にかかわらず、誰もが地域の支え合いの中でいきいきと暮らしています。 ライフスタイルに応じて子どもを安心して産み育てられる仕組み

や、地域で子どもを見守る環境が整い、若い世代が八潮市に魅力を 感じて暮らせるまちとなっています。 基本目標

市民は、かかりつけ医を持ち、日頃から健康について医療機関に相談し、自分自身の健康管理に努めています。また、救急医療体制が整備され、市民は救急時に適切に医療機関を受診でき、安心して暮らしています。

	天旭和米											
		現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	成果指標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
1	かかりつけ医(歯科医を含む)を持つ市民	_	_	_	_	_	50%	_	_	_	_	60%
1)	の割合	_	_	_	44. 3%							
2			_	_	_	_		_	_	_	_	
2		_										
3			_	_	_	_		_	_	_	_	
0		_										
4			_	_	_	_		_	_	_	_	
4		_										
5			_	_	_	_		_	_	_	_	
		_										

	施策の内容	H30年度	事務事業数		総合評価		担当課		
		事業費 (千円)	争伤争未效	順調	概ね順調	遅れ			
	地域医療提供体制の充実	11, 216	1	0	1		健康増進課		
2	地域救急医療体制の整備	19, 120	2	0	2	0	健康増進課		
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
	計	30, 336	3	0	3	0			

総合計画	章(施策の柱)	2	健康福祉・子育て	評価主体(部名)	健康福祉部
の体系	節	2	いのちを守る医療体制づくり	評価者名	香山 庸子
推進する	着を推進する。また 【地域救急医療体制	:、 専 引の事	で実】市民が自ら健康管理を行うため、地域の医療機関 専門的な医療機関(産科等)の誘致活動を推進する。 整備】初期救急医療体制を確立するため、休日診療所の 運営や設備整備のための支援を行うとともに、相談窓口	円滑な運営に努める	。また、埼玉県東部南地区の第二次救急医療に協力

4.節の評価(部が展開する節の総合評価)

総合評価	評価理由
	いのちを守る医療体制づくりでは、地元医師会・歯科医師会など との連携・協力により、地域医療並びに救急医療に係る事業等が 概ね順調に展開された。

5.	今後	きのた	7針	(部が展開する質	節の方針)			
				●現状のまま推進	見直し	て推進	大幅に見直して	て推進
	方向性			-				
					▶	重点化(拡充)	縮小	その他
Ā	施策	方針	をえ療充体をしる定	説明) 地域の活動を表生で、大学のでは、一大学には、一大学には、いいは、一大学には	かする、これでけた金のでは、いかする補「科の通、ビをした。 一名 はいれい かける がい のと 助産 開整 じ 救 ス 担 りる は で と いっと いっと いっと いっと いっと いっと いっと いっと いっと い	医らど秀にで 医かのに付致にる 後妻にで 地どに相 境に 物療に かんこう できない かんしょう できない かんしょう できない しょう	Eに医なりに でででいて、 でででは、 でででは、 でででは、 でででは、 でででは、 でででは、 でででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。	様に 様に 様に でを がに でを がに でを がに でを がに でを でを でを でを でを でを でを でを でを でを
		<u>デコ</u> ー					± 25 ±	٠ عللد
	章	節	施策	- 施策 <i>σ</i> .	川谷		事務事	·耒
1	02	02	01	地域医療提供体	は制の充実	地域图	医療促進事業	-
2	02	02	02	地域救急医療体	は制の整備	休日診	诊療所運営事業	É
3	02	02	02	地域救急医療体	制の整備	救急图	医療対策事業	

※施策(節)を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆:順調(最終目標達成に向け、順調に成果があがっている) ☆:遅れ(このままでは、最終目標の達成が難しい)

	【別似】即で構成する事務事未の計画相未(対象中度1100年度) ※■は計画主体で表す NO.1														
主体	施第音	きコ- 節	- ド 施策	事務事業名	主要	戦略	公約	担当部	担当課	H30年度事業費 (決算額:千円)	課題	総合評価	方向性	投入 事業費	
	02	02	01	地域医療促進事業		гн		健康福祉部	健康増進課	11, 216	0	☆☆	現状のまま継続		
	02	02		休日診療所運営事業					健康増進課	14, 161	0	☆☆	現状のまま継続		
	02	02		救急医療対策事業					健康増進課	4, 959	0	☆☆	現状のまま継続		
\vdash															
\vdash															
\vdash															
\vdash															
H															
H															
H															
H					1										
П															
П															
П															
П															
										30, 336	部の事	業費計			
				F-m 1											

【課題】―:課題はほとんどない,○:ある程度課題がある,●:大きな課題がある /【総合評価】☆☆☆:順調,☆☆:概ね順調,☆:遅れ

総合計画の体系	章(施策の柱)	2	健康福祉・子育て	担当部	健康福祉部	
応口引回の作示	節	3	誰もが安心して生活できる社会づくり	1년 크 미)		

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 (10年後の八潮 市では) 市民が日頃から健康づくりやスポーツに取り組み、健やかに暮らしています。病気やけがの際に安心して治療を受けられ、介護が必要になっても適切に介護サービスを受けることができます。 また、年齢や所得、障がいの有無にかかわらず、誰もが地域の支え

合いの中でいきいきと暮らしています。 ライフスタイルに応じて子どもを安心して産み育てられる仕組み や、地域で子どもを見守る環境が整い、若い世代が八潮市に魅力を 感じて暮らせるまちとなっています。 基本目標

国民健康保険制度や後期高齢者医療制度が安定的に運用され、市民は必要な医療保険サービスを受けることができています。また、国民年金制度に対する理解が進み、市民が制度に基づき年金を受給することができています。

<u> </u>	大心们不											
		現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	成果指標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
1	特定健康診査受診率 (国の現行基準における市町村国民健康保	0. 372	_	_	_	_	60%	_	_	_	_	60%
1	険の目標値60%)	_	37	38. 3								
2	特定保健指導実施率 (国の現行基準における市町村国民健康保	8. 60%	_	_	_	_	60%	_	_	_	_	60%
2	険の目標値60%)	_	7. 9	18. 1								
3			_	_	_	_		_	-	_	_	
0		_										
4			_	_	_	_		_	-	_	_	
4)		_										
(5)			1	_		_		_	_	_	_	
3)		_			·				· ·			

	施策の内容	H30年度	事務事業数		総合評価		担当課		
		事業費 (千円)	事 物事未致	順調	概ね順調	遅れ	担当体		
	国民健康保険制度の適切な運用	9, 500, 500	4	1	3	0	国保年金課		
2	後期高齢者医療制度の適切な運用	1, 692, 578	2	1	1	0	国保年金課		
3	国民年金制度の理解促進	9, 869	1	1	0	0	国保年金課		
4									
5									
6									
7									
8									
9									
	計	11, 202, 947	7	3	4	0			

総合計画	章(施策の柱)	2	健康福祉・子育て	評価主体 (部名)	健康福祉部
の体系	節	3	誰もが安心して生活できる社会づくり	評価者名	香山 庸子
評価主体が 推進する 施策の概要	費適正化に向けた耳 【後期高齢者医療制な運用に努める。	対組 ^の 制度の	適切な運用】国民健康保険制度の都道府県単位での運営 や保険給付の実施、必要な財源の確保等、国民健康保険 の適切な運用】埼玉県後期高齢者医療広域連合との連携 足進】日本年金機構との連携を図り、広報紙やホームペ	制度の適切な運用に を図り、保健事業の	努める。 実施や保険料の徴収等、後期高齢者医療制度の適切

(説明) 国民健康保険制度の適切な運用では、医療費の適正化に努める とともに税収を含めた自主財源の確保を図った。 施策の 後期高齢者医療制度の適切な運用では、埼玉県後期高齢者医療 実施状況 広域連合との連携を図り、保険料の確保等の適切な運用に努め 国民年金制度の理解促進では、年金制度の周知に努めるととも に、市民から提出された書類の進達などを行った。 課題はほとんどない ●ある程度課題がある 大きな課題がある 国民健康保険事業では、特定健診の受診率の向上や特定保健指 導の実施等による医療費の適正化を進めるほか、国保の都道府県 化に対応するための取組が求められている。 後期高齢者医療制度では、高齢化の進行等により、医療費が増 課題 加傾向にある中、その財源となる保険料の収納強化に努める必要 がある。 国民年金制度では、保険料免除制度の拡充など、様々な制度改 正に対し日本年金機構と連携しながら、適切に対応することが求 められている。

4. 節の評価(部が展開する節の総合評価)

総合評価	評価理由
☆☆	国民健康保険事業では、特定健診・特定保健指導の受診率・実施率において目標値との乖離があったものの、国保税の収納率の向上や保険給付費の減が見られた。
概ね順調	また、後期高齢者医療制度と国民年金制度では、関係機関との連携により、適切な運用が図られた。

5. 今後の方針(部が展開する節の方針)

5. 今後の方針	├(部が展開する質	100万計)			
	■現状のまま推進	見直して	隹進	大幅に見直して	て推進
方向性		7			
		▶ 重,	(拡充)	縮小	その他
施策の 展開方針	(説明) 国民健康保保 (説明) 国民 (健康 () () () () () () () () () (ルスストライン (本) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大	この	は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	医療費のる定 変勢、ないで講のでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、
	『で5事業まで)				
施策コー	—	内容		事務事	業

※施策(節)を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

|国民健康保険制度の適切な運用 |国民健康保険医療費給付事業

後期高齢者医療制度の適切な運用 後期高齢者医療費等法定負担事務

国民健康保険制度の適切な運用 国民健康保険支援事業

|国民健康保険制度の適切な運用 |国民健康保険保健事業

02 後期高齢者医療制度の適切な運用 後期高齢者医療保険事務

☆☆☆:順調(最終目標達成に向け、順調に成果があがっている) ☆:遅れ(このままでは、最終目標の達成が難しい)

☆☆:概ね順調(最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調)

童

02

02

3 02

節 施策

03 01

03 01

03 01

03 02

【が成】のと特殊する中切するとに関係するとは、100年度/ 第一時に関するとは、100年度/ 第一時に関するとは、100年度/ 第一時に関するとは、100年度/ 第一時に関するとは、100年度/ 100年度/ 1												110. 1		
主 体 章		一ド	事務事業名	主要	戦略	公約	担当部	担当課	H30年度事業費 (決算額:千円)	課題	総合評価	方向性	投入 事業費	
1 02			国民健康保険保健事業				健康福祉部	国保年金課	95, 340	0	☆☆	見直して継続	増加	増加
1 02			国民健康保険税賦課事務				健康福祉部	国保年金課	62, 691	0	2	見直して継続		現状維持
1 02	03	01	国民健康保険医療費給付事業				健康福祉部	国保年金課	8, 731, 813	0	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
1 02	03	01	国民健康保険支援事業				健康福祉部	国保年金課	610, 656	0	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
a 02	03	02	後期高齢者医療保険事務				健康福祉部	国保年金課	898, 208	_	☆☆	現状のまま継続	増加	増加
1 02								国保年金課	794, 371	_	$^{\uparrow}$	現状のまま継続	増加	現状維持
■ 02	03	03	国民年金事務				健康福祉部	国保年金課	9, 869	0	2	現状のまま継続	現状維持	現状維持
-														
<u> </u>	-	+												
														
\vdash														
\vdash		1												
									11 000 045	如の古	* # # =			
			F== 0=1 == 0= 1±1+ 1 = 1 /				上 7 和 京 冊 田 / 8 上	7 4 + + + == 1:	11, 202, 947				- WE -M	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,

【課題】―:課題はほとんどない、○:ある程度課題がある、●:大きな課題がある /【総合評価】☆☆☆:順調、☆☆:概ね順調、☆:遅れ

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 (10年後の八潮 市では) 市民が日頃から健康づくりやスポーツに取り組み、健やかに暮らしています。病気やけがの際に安心して治療を受けられ、介護が必要になっても適切に介護サービスを受けることができます。

また、年齢や所得、障がいの有無にかかわらず、誰もが地域の支え 合いの中でいきいきと暮らしています。

ライフスタイルに応じて子どもを安心して産み育てられる仕組み や、地域で子どもを見守る環境が整い、若い世代が八潮市に魅力を 感じて暮らせるまちとなっています。 基本目標

市民の誰もが、気軽にスポーツ・レクリエーションに親しみ、体を動かすことの楽しさを実感し、体力の維持向上、ストレスからの開放等、心身ともに健康で楽しく毎日を過ごしています。

	大心和木	TE 小上 /士	IIOO左호	IIOO左호	II20左호	D1 左皮	DO/노호	DO左安	DA左安	DE左安	DC左安	D7左安
		現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	成果指標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
(I)	スポーツ教室の開催数と参加者数	5教室 98人	_	_	_	_	7教室 140人	_	_	_	_	10教室 200人
1)	ハルーク教主が開催数と参加有数	_	6 教室 9 9 人	38教室 717人	41教室 843人							
2	スポーツ・レクリエーション指導者数	10人	_	_	_	_	15人	_	_	_	_	20人
2	八小 フェレノリー フョン旧等日数	_	11人	11人	2人							
3			_	_	_	_		_	-	_	_	
0		_										
4			_	_	_	_		_	-	_	_	
4		_										
5			_	_	_	_		_	_	_	_	
		_										

	施策の内容	H30年度	事務事業数		総合評価		担当課
		事業費 (千円)	争伤争未效	順調	概ね順調	遅れ	担当床
	スポーツ・レクリエーション活動の推進		2	1	1	0	スポーツ振興課
	スポーツ・レクリエーション活動体制の充実		1	0	1	0	スポーツ振興課
	スポーツ・レクリエーション団体の育成		1	0	1	0	スポーツ振興課
4	スポーツ・レクリエーション施設の充実	91, 016	1	0	1	0	スポーツ振興課
5							
6							
7							
8							
9							
	計	111, 654	5	1	4	0	

総合計画	章(施策の柱)	2	健康福祉・子育て	評価主体 (部名)	市民活力推進部
の体系	節	4	スポーツ・レクリエーションに親しめる環境づくり	評価者名	鈴木圭介
	【スポーツ・レクリ	エー	-ション活動の推進】市民の誰もが、気軽にスポーツ・	レクリエーションに	親しむことができるよう、年齢、体力、運動能力等
評価主体が			等を充実する。 【スポーツ・レクリエーション活動体制		
			ティア等の人材育成を進める。【スポーツレクリーショ		
			よるスポーツ・レクリエーション団体の活動を支援する		
	ポーツ施設を利用て	ききる	るよう、市民のニーズに合わせたスポーツ施設の適切な	維持管理と計画的な	施設の充実に努める。

(説明) ●誰もが気軽にスポーツレクリエーション活動に親しむことがで きるよう、企業等と連携を図りトップアスリートの発掘・育成に 向けた教室の実施を含めスポーツアカデミー設立に向けた事業を 実施した。●八潮市出身の大学教授による指導者講習会を実施し 施策の た。●体育協会との協働により、体育祭や駅伝大会を実施し、市 実施状況 民のスポーツによる参加と交流の機会の提供を図った。●体育協 会、スポーツ少年団本部、レクリエーション協会、スポーツ推進 協議会へ補助金交付など、各団体の活動を支援することで市民の スポーツ活動の推進を図った。●利用者の安全安心のため、設備 等の修繕を実施し維持管理に努めた。 課題はほとんどない ある程度課題がある ● 大きな課題がある ●トップアスリート育成・発掘に向けた、教室のプログラムや支 援体制等スポーツアカデミーとしての事業実施が必要である。 ●Is値不足の文化スポーツセンターの代替えである新スポーツ施 設整備がまったく進捗していない状況がある。 課題 ●市民体育祭については、体育の日の変更状況や参加状況から、 体育協会と開催日時や場所、内容等について見直しを図る必要が ある。 ●水銀灯の製造停止に伴い、夜間照明設備の計画的なLED化が必要 である。

4. 節の評価 (部が展開する節の総合評価)

総合評価	評価理由
	●スポーツ推進計画を策定した。●スポーツ教室では、企業と連携し、スポーツアカデミー設立向けた新たな教室を実施した。●市民体育祭では、来年度の体育の日が変更となることから、体育協会体育祭企画委員会に日程や内容の見直しを提案した。●スポーツ施設について必要な工事修繕を行い、利用者の安全性確保と利便性を向上することができた。

5. 今後の方針(部が展開する節の方針)

	現状のまま推進	●見直	ンて推進	大幅に見直して	て推進
方向性	-	; <u> </u>	 I		
			重点化(拡充)	縮小	その他
施策の 展開方針	(説明) ○八子ショーのは、一番親の、一番親の、一番親の、一番ののでは、一番ののでは、一番ののでは、一番ののでは、一番ののでは、一番ののでは、一番ののでは、一番ののでは、一番のののでは、一番のののでは、一番ののでは、一番ののでは、一番ののでは、一番ののでは、一番のでは	まむ実ポ ・を いの心たでこやー レ支 て市しス、とトツ ク援 は民てポ市がッア リす 、が利ー	民でプカ エる 体参用ツかきアデ 一と 育加で施おより一 ョも 会きるのがう一設 ンに とるよ必ら しょう	転金ををををををででででででででででででででででででででででででででででででででででででででででででででででででででででででででででででででででででででででででででででででででででででででででででででででででででででででででででででででででででででででででででででででででででででででででででで<l>でででででででででででででででででででででででででででででででででででででででででででででででででででででででででで</l>	は 連携を回りたまで ではたまで ではたまで ではたまで では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では

■重点事業(部で5事業まで)

ı		· //// -	· ~	י יון	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·					
		施領	長□-	ード	施策の内容	事務事業				
	章 節 施策				心束の内谷	学 切争未				
Ī	1	02	04	01	スポーツ・レクリエーション活動の推進	スポーツ振興事業				
ĺ	2	02	04	02	スポーツ・レクリエーション活動体制の充実	スポーツ指導者支援事業				
Ī	3	02	04	04	スポーツ・レクリエーション施設の充実	体育施設管理運営事業				
	4									
Ī	5									

※施策(節)を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆:順調(最終目標達成に向け、順調に成果があがっている) ☆:遅れ(このままでは、最終目標の達成が難しい)

	MM】即で構成する事効事未の計画相未(対象平反1100平反) ※■は計画主体で表す NO.1														
主体	施策 章 ႃ	第一	- ド 施策	事務事業名	主要	戦略	公約	担当部	担当課	H30年度事業費 (決算額:千円)	課題	総合評価	方向性	投入 事業費	資源 労働量
)2	04	01	スポーツ振興事業				市民活力推進部	スポーツ振興課	10, 472	•	☆☆☆	見直して継続		
		04		スポーツ大会事業				市民活力推進部	スポーツ振興課	3, 200	•	☆☆	見直して継続	増加	増加
)2	04	02	スポーツ指導者支援事業				市民活力推進部	スポーツ振興課	1,707 🔘		☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
)2	04	03	スポーツ・レクリエーション団体支援事業				市民活力推進部	スポーツ振興課	5, 259			見直して継続	現状維持	現状維持
)2	04	04	体育施設管理運営事業				市民活力推進部	スポーツ振興課	91, 016	•	☆☆	見直して継続	増加	増加
\vdash															
\vdash															
\vdash															
\vdash	-														
	-														
	-														
\vdash	_														
	_														
						<u> </u>					+1 ~ +	ᇓᆂ			
	111,655 <mark>部の事業費計</mark>														

【課題】―:課題はほとんどない,○:ある程度課題がある,●:大きな課題がある /【総合評価】☆☆☆:順調,☆☆:概ね順調,☆:遅れ

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 (10年後の八潮 市では) 市民が日頃から健康づくりやスポーツに取り組み、健やかに暮らしています。病気やけがの際に安心して治療を受けられ、介護が必要になっても適切に介護サービスを受けることができます。

また、年齢や所得、障がいの有無にかかわらず、誰もが地域の支え合いの中でいきいきと暮らしています。 ライフスタイルに応じて子どもを安心して産み育てられる仕組み や、地域で子どもを見守る環境が整い、若い世代が八潮市に魅力を

感じて暮らせるまちとなっています。

基本目標

地域の一人ひとりが、人と地域の絆を大切にし、互いに支え合うことにより、誰もが安心して笑顔でいきいきと生活を送っています。また、経済的に困窮し最低限度の生活を維持することができない市民やそのおそれのある市民が、包括的な相談や支援を受けながら、自立し安定した生活を送っています。

	7/15/FLX	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	成果指標		計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標		計画・目標	計画・目標	計画・目標
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
(I)	ボランティア活動団体登録数	89団体	_	_	_	_	108団体	_	_	_	_	118団体
1)	がフマテイテ10到回 P 豆腐数	_	96団体	108団体	111団体							
2	就労支援プログラムに基づく就労率	46. 60%	_	_	_	_	47. 60%	_	_	_	_	48. 60%
2		_	58. 9%	56. 2%	53. 2%							
3			_	_	_	_		_	1	1		
0		_										
4			_	_	_	_		_	1	1		
4)		_										
5			_	_	_	_		_	_	_	_	
(3)		_										

	施策の内容	H30年度	事務事業数		総合評価		担当課
		事業費 (千円)	争防争未致	順調	概ね順調	遅れ	担目誄
	相互扶助意識の高揚	15, 479	2	2	0	0	社会福祉課、長寿介護課
2	地域福祉環境の整備	0	1	1	0	0	社会福祉課
3	地域福祉活動の充実	76, 548	2	2	0	0	社会福祉課
4	生活の安定のための支援	2, 680, 691	3	3	0	0	社会福祉課
5							
6							
7							
8							
9							
	計	2, 772, 718	8	8	0	0	

総合計画	章(施策の柱)	2	健康福祉・子育て	評価主体 (部名)	健康福祉部
の体系	節	5	互いに支え合い誰もが安心して暮らせる社会づくり	評価者名	香山 庸子
評価主体が 推進する 施策の概要	動の増進及び相互技の絆の再生を図り、	失助意 互 レ	八潮市社会福祉協議会との共催による「高齢者と障がい意識の高揚を図る。②地域福祉環境の整備:八潮市地域やいに支え合う地域づくりを推進する。③地域福祉活動のを行い地域福祉活動の推進を図る。④生活の安定のため	福祉計画に基づき地域 充実:地域福祉の推議	或福祉の推進に関する各種事業を実施し、人と地域 生に欠かせない八潮市社会福祉協議会や民生委員・

3. 即07万旬	(引が成用する即の方句	17	
施策 <i>の</i> 実施状況	ンティア推進校の協力 催による「高齢者と障 地域福祉環境の整備で 域福祉の推進に向向社協 は、八潮市社会福動協 種ボランティア活動へ 員活動が円滑に行え窮者 支援では、生活困窮者	では、市内の福祉ボラスを得ながら、八潮市社会がら、八潮市社会がら、八潮市地域をいるのスポーツの祭りは、第2期八潮市地域福発等を行った。③地域、発験を行った。4年の支援を行った。4年の大きをできる。4年の大きの大きの大きの大きの大きの大きの大きの大きの大きの大きの大きの大きの大きの	会福祉協議会との共典」を実施した。②は計画に基づき、地福祉活動の充実で地域福祉に関する各民生委員・児童委生活の安定のための3件、そのうち9人に
課題	分担のもと、地域にお がら協働し、福祉の力 今後においても、八潮 保健福祉計画・介護保 い福祉計画」、「子ど	● ある程度課題がある では、自助・互助・共見 はなる様な主体がそれる を高める地域づくりがする でも地域福祉計画に位置代 では、自助・工作では、 では、自助・工作では、 では、自助・工作では、 では、自助・工作では、 では、自動・工作では、 では、自動・工作では、 では、自動・工作では、 では、自動・工作では、 では、自動・工作では、 では、自動・工作では、 では、自動・工作では、 では、自動・工作では、 では、自動・工作では、 では、自動・工作では、 では、自動・工作では、 では、自動・工作では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	ぞれの役割を担いな 求められている。 けけられた「高齢者 い者行動計画・障が 画」や、生活困窮者

4. 節の評価 (部が展開する節の総合評価)

総合評価	評価理由
<>> <>> <>>	八潮市社会福祉協議会や八潮市民生委員・児童委員協議会等への 支援を行うとともに、八潮市社会福祉協議会や八潮市民生委員・ 児童委員協議会との連携・協働のもと八潮市地域福祉計画に基づ く各種事業に取り組むことで地域福祉の推進が図られており、施 策内の各事業も順調に進んでいる。

5. 今後の方針(部が展開する節の方針)

ວ.	ラ 伎	シリノ	1 並	(部か展開する風	即の力針)				
				現状のまま推進	●見直	して推進	J	大幅に見直して	て推進
	方向	性			>	重点化(拡き	元)	縮小	
	施策		① の生支②れ行のひ③	説明) 相互扶助意識的 担い手の鬼童じ境のという。 を表すどる。 は地域「高いでする。 は地域「高いでする。 を、、計画・理に関する。 を、計画・理に関する。 を、、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	内 は は は は さ 整 に る 道 と り る 道 め さ り る ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら う し う し う り の う た り う た り う た り う た り う た り う た う た う	である祖祖祭前 は画」、本本を種に対して、本本の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の	市ボめ地険と関る。	会福祉協議 ンティア団 福祉計画」 事業計画」 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ を も も さ き き き き き き き き き も う さ き も も き き き き き き き き き き き き き き き き	後会、八潮市民 日体との連携・ に位置付けら 、「障がい者 で援事業計画」 受事業の充実及
■車				ご5事業まで)					
	"	をコー		施策 <i>σ</i>)内容			事務事	業
4	章		施策		11 0 + 15	2 Д. У-1	* /□ =#: -	다. 게수	
1	02	05		生活の安定のた			保護		s viic
2	02	05		生活の安定のた				者自立支援	
3	02	05	04	生活の安定のた	_めの支援	もっ	-フテ	イネットす	支援対策事業
4									

※施策(節)を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆:順調(最終目標達成に向け、順調に成果があがっている) ☆:遅れ(このままでは、最終目標の達成が難しい)

			男以りる事務争未の計画和木(別)				<u> </u>	※■は評価主体を表す					INU. I		
	策コ-		事務事業名	主	戦	公公	担当部	担当課	H30年度事業費	課題	総合評価	方向性	投入		
体 章		施策		要	略	約			(決算額:千円)				事業費	労働量	
1 02	05		葬祭助成事業				健康福祉部	長寿介護課	13, 033	0	***	見直して継続	増加	現状維持	
1 02	05		社会福祉事業				健康福祉部	社会福祉課	2, 446	\circ	2	現状のまま継続	増加	増加	
1 02	05	02	支援体制整備事業				健康福祉部	社会福祉課		0	***	現状のまま継続	現状維持	現状維持	
1 02	05	03	社会福祉協議会補助事業				健康福祉部	社会福祉課	64, 882	0	***	見直して継続	増加	現状維持	
1 02	05		民生委員・児童委員協議会補助事業				健康福祉部	社会福祉課	11, 666	0	***	現状のまま継続	現状維持	現状維持	
1 02	05	04	生活困窮者自立支援事業				健康福祉部	社会福祉課	38, 362	0	***	見直して継続	現状維持	増加	
1 02	05	04	セーフティネット支援対策事業				健康福祉部	社会福祉課	36, 566	0	2	現状のまま継続	現状維持	現状維持	
1 02	05	04	生活保護事業				健康福祉部	社会福祉課	2, 605, 764	•	***	現状のまま継続	現状維持	現状維持	
		-													
		<u> </u>		L	L				0.770.710	如本書	· ** # =		<u> </u>		
			「細野」・細野けばん					7 🔺 . + キャ 細 晒 よ	2, 772, 718				ho 川石 吉田 -	A . '屋 4o	

【課題】―:課題はほとんどない、○:ある程度課題がある、●:大きな課題がある /【総合評価】☆☆☆:順調、☆☆:概ね順調、☆:遅れ

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 (10年後の八潮 市では) 市民が日頃から健康づくりやスポーツに取り組み、健やかに暮らしています。病気やけがの際に安心して治療を受けられ、介護が必要になっても適切に介護サービスを受けることができます。 また、年齢や所得、障がいの有無にかかわらず、誰もが地域の支え

合いの中でいきいきと暮らしています。 ライフスタイルに応じて子どもを安心して産み育てられる仕組み や、地域で子どもを見守る環境が整い、若い世代が八潮市に魅力を

感じて暮らせるまちとなっています。

基本目標

高齢者が安心して暮らせ、健康で生きがいをもって、住み 慣れた地域で自立した生活を送っています。また、介護が 必要な高齢者を市民ぐるみで支え合えるまちとなっていま す。

	天旭和 木	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	成果指標			計画・目標							計画・目標	
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
1	 一次(一般介護)予防事業参加者率	40. 40%	_	_	_	_	41.00%	_	_	_	_	42. 00%
1)	以 (_	42.2%	43.3%	23.6%							
2	要介護等認定者出現率(後期高齢者)	24. 50%	_	_	_	_	24. 50%	_	_	_	_	24. 50%
2	安月晚年邮及有田先午(及朔间即日)	_	24.0%	23.8%	23.3%							
(3)	老人クラブ会員数	1,929人	-	_	_	_	2,040人	_	_	_	_	2,140人
0	七八ノノノ云貝奴	_	1,847人	1,795人	1,749人							
4			-	_	_	_		_	_	_	_	
4)		_										
5			_	_	_	_		_	_	_	_	
9		_	·									

	施策の内容	H30年度	事務事業数		総合評価		担当課
		事業費(千円)	尹孙尹未 奴	順調	概ね順調	遅れ	
1	社会参加の促進と生きがいづくり	56, 676	2	0	2	0	長寿介護課
2	高齢者が安心して暮らすことができる環境の整備	55, 651	4	1	3	0	長寿介護課
3	地域支援事業の推進	227, 318	1	0	1	0	長寿介護課
4	介護保険サービスの充実	5, 424, 723	4	1	3	0	長寿介護課
5							
6							
7							
8							
9							
	計	5, 764, 368	11	2	9	0	

総合計画	章(施策の柱)	2	健康福祉・子育て	評価主体 (部名)	健康福祉部
の体系	節		安心して暮らせ活躍できる長寿社会づくり	評価者名	香山 庸子
	①社会参加の促進と	生:生:	きがいづくり:高齢者が個々のニーズに即した活動を選	択できるよう情報提	供に努めるとともに、八潮市社会福祉協議会や八潮
評価主体が	市シルバー人材セン	/ター	- 、老人クラブ連合会等の団体との連携を推進します。	②高齢者が安心して	暮らすことができる環境の整備:高齢者が安心して
推進する	生活を送ることがて	きき	るよう在宅支援サービスや住まいの支援を充実します。	③地域支援事業の推	進:介護予防や日常生活支援サービスを充実すると
施策の概要	ともに、地域課題の	把抄	屋や解決に向けた支援を行う地域ケア体制を充実します	。また、地域での支	えあい体制づくりを推進するとともに、地域包括ケ
加束の恢安	アシステムの構築に	取!	の組みます。④介護保険サービスの充実:介護保険制度	に基づく居宅サービ	ス、地域密着型サービス及び施設サービスの充実を
	図るため、介護基盤	整	備を促進します。また、サービスの質の維持・向上、介	護保険制度の安定的	な運営に努めます。

3. 即切力机	(部が展開する即の方)	ווס	
施策の 実施状況	として地域と「交れ名で流れるでれる。 でれる でいる の でいる の でいる	Eきがいづくり:高齢者のや世代間交流を図ることで共食」を小中学校3校での。②高齢者が安心していると栄養バランスの取れたといる。312名、18,938の方やその家族、地域住りが場である「オレンジカーのの一般では、18,938の方をである「オレンジカーである。4分護保険サービス」を選定し令和元年度開展	を目的に、学校給食 実施し、高齢者25 暮らすことができる た食事を提供する)食実施。③地域支援 民、専門職、ボラン フェ」を計4か所で48 の充実:小規模多機
課題	中で、要介護状態になるの基盤整備や、住み 「地域包括ケアシスラ	● ある程度課題がある 小とり暮らし高齢者や高いなっても安心して生活では、 少慣れた地域で安心して生活で、 か慣れた地域で安心してない。 を構築することが、 回高齢者家族支援の充実が	きる介護保険サービ 生活が送れるよう 求められている。ま

4. 節の評価(部が展開する節の総合評価)

総合評価	評価理由
☆☆☆順調	第7期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に基づいて事業を実施するとともに、第7期事業計画で定めた新規事業や拡充事業を中心に取組を実施した。

5. 今後の方針(部が展開する節の方針)

3. 7後の万平	「「印が展開する即	の刀型)			
	現状のまま推進	見直して推	大	幅に見直して推進	
方向性		 ▶ 重点ſ	:(拡充)	縮小 ■	その他
施策の 展開方針	(説明) 超人さ30年介後と10月 会を年10月 会を年10月 会には10.50分子のとは10.50分子のとのとのとのとのとのとのとのではのでである。 は、第2年に域のでは、地区介を事業をできます。 でもある。	1日)でのは、これで、これで、これで、これで、これがはいで、これででいた。これで、これでいた。これで、これで、これで、これで、これで、これで、これで、これで、これで、これで、	化率は22. 75歳の地としたでは 他のがたが、 では で で で で で で で で で で で で で で で で で で	8%。 高齢者数は9 75歳になる2 れる。 踏まえ、①社 八湖市支援事 、平成30年度 市高齢者保健	,497人、 025年に 社会参加の ベー人材セ その推進で をからモデ 福祉計
施策コー					
一		内容		事務事業	

_ =	· /// 7	· *	יום)	. U 手木 か C /						
	施領	€コ-	ード	施策の内容	事務事業					
	章	節	施策	ル東の内谷	学切 争未					
1	02	06	03	地域支援事業の推進	地域支援事業					
2	02	06 04		介護保険サービスの充実	介護保険運営事業					
3	02	06	02	高齢者が安心して暮らすことができる環境の整備	高齢者在宅福祉サービス事業					
4	02	06	01	社会参加の促進と生きがいづくり	老人福祉センター運営事業					
5	02	06	02	高齢者が安心して暮らすことができる環境の整備	老人援護措置・権利擁護事業					

※施策(節)を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆:順調(最終目標達成に向け、順調に成果があがっている) ☆:遅れ(このままでは、最終目標の達成が難しい)

 主 施策コード						公		5.計画工作と及り	H30年度事業費				投入	資源
	節		事務事業名	要	略	約	担当部	担当課	(決算額:千円)	課題	総合評価	方向性	事業費	労働量
02			老人福祉センター運営事業				健康福祉部	長寿介護課	45, 676	0	☆☆	現状のまま継続	増加	現状維持
02	06	01	シルバー人材センター補助事業				健康福祉部	長寿介護課	11,000	0	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
02	06	02	高齢者在宅福祉サービス事業				健康福祉部	長寿介護課	27, 420	0	☆☆	見直して継続	現状維持	現状維持
02	06	02	老人援護措置・権利擁護事業				健康福祉部	長寿介護課	3, 324	0	***	現状のまま継続	現状維持	現状維持
02	06	02	長寿祝金支給事業				健康福祉部	長寿介護課	19, 154	_	$^{}$	見直して継続	削減	現状維持
02	06		高齢者支援事業				健康福祉部	長寿介護課	5, 753	0	☆☆	現状のまま継続	増加	現状維持
02	06		地域支援事業				健康福祉部	長寿介護課	227, 318	0	$^{\uparrow}$	現状のまま継続	増加	増加
02	06		介護保険運営事業				健康福祉部	長寿介護課	4, 700, 180	0	2	現状のまま継続	増加	増加
02	06		介護保険低所得者対策特別事業				健康福祉部	長寿介護課	7, 961	0	2	現状のまま継続	増加	増加
02	06		介護給付費等法定負担事務				健康福祉部	長寿介護課	714, 440	0	$^{\uparrow}$	現状のまま継続	増加	現状維持
02	06	04	公的介護施設等整備補助事業				健康福祉部	長寿介護課	2, 142	0	***	現状のまま継続	増加	増加
									5, 764, 368	部の事	業費計			

【課題】―:課題はほとんどない,〇:ある程度課題がある,●:大きな課題がある /【総合評価】☆☆☆:順調,☆☆:概ね順調,☆:遅れ

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 (10年後の八潮 市では) 市民が日頃から健康づくりやスポーツに取り組み、健やかに暮らしています。病気やけがの際に安心して治療を受けられ、介護が必要になっても適切に介護サービスを受けることができます。

また、年齢や所得、障がいの有無にかかわらず、誰もが地域の支え合いの中でいきいきと暮らしています。

ライフスタイルに応じて子どもを安心して産み育てられる仕組み や、地域で子どもを見守る環境が整い、若い世代が八潮市に魅力を 感じて暮らせるまちとなっています。 基本目標

障がいのある人が、自分に適したサービスを自ら選び、地域の中で自立して生活しています。また、障がいのある人が、障がいのない人とともに社会の様々な分野に積極的に参加し、かけがえのない個人として尊重される地域の中で生活しています。

	大心和木	中山上	山の左帝	ᄪᄼ	山の左南	D1 左击	DO左击	DO 左 広	DA左击	DF左击	DC左击	ᇚᄹᅉ
		現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	成果指標		計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
1	特定相談支援事業所及び障がい児相談支援	2か所	_	_	_	_	6 か所	_	_	_	_	10か所
1)	事業所数	_	3か所	3 か所	4 か所							
2	障がい者(児)に対する障がい福祉サービス及び障がい児通所給付の利用割合	8. 50%	_	_	_	_	9. 80%	_	_	_	_	10. 30%
٧	ス及び障がい児通所給付の利用割合	_	13. 5	15. 5	16. 9							
3	就労支援センター登録者の就労率	33. 70%	_	_	_	_	41%	_	_	_	_	46%
0		_	40.7%	43. 6	45. 6							
4			_	_	_	_		_	_	_	_	
4		_										
5			_	_	_	_		_	_	_	_	
0		_			·				·			

	施策の内容	H30年度	事務事業数		総合評価		担当課
	ル泉の内谷	事業費 (千円)	争伤争未致	順調	概ね順調	遅れ	担当床
1	在宅福祉サービスの充実	1, 298, 101	6	3	3	0	障がい福祉課
2	障がい者(児)施設・住環境の整備	80, 594	3	3	0	0	障がい福祉課
3	障がい児等の早期療育の充実	343, 343	2	0	2	0	保育課、障がい福祉課
4	社会参加の促進	137	2	0	2	0	障がい福祉課
5	安全、安心のまちづくりの推進	18, 635	2	0	2	0	障がい福祉課
6							
7							
8							
9						·	
	計	1, 740, 810	15	6	9	0	

総合計画	章(施策の柱)	2	健康福祉・子育て	評価主体 (部名)	子育て福祉部
の体系	遠藤 忠義				
評価主体が 推進する 施策の概要	②障がい者(児)が ③障がい児等の早期 ④社会参加の促進-	施設胡療育/ □	充実→障がい福祉サービスや在宅福祉サービスを充実す ・住環境の整備→障がいのある人の日中活動の場の確保 育の充実→乳幼児健診等により、障がいの早期発見に努 がい者の就労支援を行うとともに、障がいのある人が文 くりの推進→移動手段の確保、建築物や道路、公共交通	と充実に努め、生活 め、障がいの状況に 化やスポーツ活動を	しやすい住環境づくりを促進する。 応じた適切な指導、訓練の実施に努める。 通じて障がいのない人との交流を促進する。

O . E10771111	(印2. 展開する即の27年)
施策の 実施状況	(説明) ①基幹相談支援センターを中心に相談体制の強化を図った。②障がい者福祉施設や地域活動支援センターにおいて日中活動の場の提供を行った。③障がい児通所サービスを提供するとともに、発達支援の巡回事業を実施して、障がいの早期療育に努めた。④自立支援協議会の専門部会である「はたらく部会」において事業所の連携強化を図るとともに、就労支援の民間委託を検討した。また、スポーツ交流会を実施した。⑤障害者差別解消法、ヘルプカード・ヘルプマークの周知、普及に努めるとともに、手話言語条例を制定し、パンフレットの作成のほか、市職員及び市民向けの手話講習会を実施した。
課題	課題はほとんどない ● ある程度課題がある 大きな課題がある 身体障がい者が日常的に通所できる施設が市内にないことから、 今後の特別支援学校卒業生のための通所施設の確保が必要である。
4. 節の評価	(部が展開する節の総合評価)

総合評価	評価理由
☆☆ 概ね順調	第6次障がい者行動計画・第5期障がい福祉計画に基づき、福祉施策を実施した。自立支援協議会の専門部会である相談支援部会・はたらく部会等を開催し、市内事業所の情報共有・連携強化に努めるとともに、就労継続支援A型事業所や相談支援事業所をそれぞれ1か所新たに整備するなど生活の場の提供の確保に努めた。しかし、身体障がい者の通所施設などの課題も残されており、こうした状況を勘案し、概ね順調とした。

5. 今後の方針(部が展開する節の方針)

■現状のまま推進 見直して推進

		J. eL		5人のよる推進	二 元 元 元 元 元			八幡に光色し		
	方向	忹				重点化(拡	太充)	縮小	そ	の他
Ā	施策	与 針	第一以形	説明) (6 次八潮市障が (計画期間:平成)者支援施策を進 「先の確保や就労	30年月める。特別	度~平成 寺に課題	32年 となっ	度) に基っている身体	うき、名 S 障がり	5種障が
■里				55事業まで)						
	施領章	節	- ド 施策	施策の	内容			事務事	業	
1										
2										
3										
4										
5										
×施	策((節)	を推	推進する上で、ガ	マ年度重点	点的に取	り組む	3事業を5事	業まで	抽出

大幅に見直して推進

☆☆☆:順調(最終目標達成に向け、順調に成果があがっている)☆:遅れ(このままでは、最終目標の達成が難しい)

【別紙】節を構成する事務事業の評価結果(対象年度H30年度)

※■は評価主体を表す

	施第	€⊐-	ード	事務事業名	主要	戦	公	担当部	担当課	H30年度事業費	課題	総合評価	方向性	投入	資源
体	章	節	施策		要	略	約	변크하	担目誌	(決算額:千円)		移口計画	万间注	事業費	労働量
	02	07		障がい者総合支援事業					障がい福祉課	1, 052, 749	0	2	現状のまま継続	増加	増加
		07	01	障がい者在宅生活支援事業					障がい福祉課	8, 823	_	\overleftrightarrow{x}	現状のまま継続	現状維持	現状維持
		07		障がい者手当支給事業				子育て福祉部	障がい福祉課	65, 194	_	2	現状のまま継続	現状維持	現状維持
		07	01	重度心身障がい者医療費支給事業				子育て福祉部	障がい福祉課	169, 088	0	2	見直して継続	増加	増加
	02	07	01	障がい者援護措置事業				子育て福祉部	障がい福祉課	2, 106	0	☆☆	見直して継続	増加	増加
	02	07	01	障がい者行動計画・障がい福祉計画推進事業				子育て福祉部	障がい福祉課	141	_	$^{\uparrow}$	現状のまま継続	現状維持	
	02	07	02	地域活動支援センター事業				子育て福祉部	障がい福祉課	52, 980	0	***	見直して継続	増加	増加
		07	02	障がい者福祉施設運営事業				子育て福祉部	障がい福祉課	21, 891	_	***	見直して継続	増加	増加
		07	02	重症心身障がい児施設補助事業					障がい福祉課	5, 723	_	***	現状のまま継続	増加	現状維持
		07		障がい児発達支援事業					障がい福祉課	337, 912	0	☆☆	現状のまま継続	増加	増加
		07		心身障がい児訓練事業				子育て福祉部	保育課	5, 431	0	☆☆	現状のまま継続		
		07		障がい者修学資金助成事業				子育て福祉部	障がい福祉課	130	_	☆☆	現状のまま継続	現状維持	
	02	07		障がい者就労支援事業					障がい福祉課	7	0	☆☆	見直して継続	増加	削減
	02	07	05	障がい者移動等支援事業				子育て福祉部	障がい福祉課	18, 420	0	☆☆	見直して継続	増加	増加
	02	07	05	ノーマライゼーション等推進事業				子育て福祉部	障がい福祉課	215	0	☆☆	見直して継続	増加	増加
\Box															
Ш															
Ш															
Ш															
Ш															
Ш						<u> </u>									
										1, 740, 810	部の事	業費計			

【課題】―:課題はほとんどない,○:ある程度課題がある,●:大きな課題がある /【総合評価】☆☆☆:順調,☆☆:概ね順調,☆:遅れ

総合計画の体系	章(施策の柱)	2	健康福祉・子育て	担当部	子育て福祉部	
一花ロ町四の本木	節	8	全ての子どもの幸せづくり	1년 크 마		
1 佐の無雨			*	-	•	>>●は転圧主は

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 (10年後の八潮 市では) 市民が日頃から健康づくりやスポーツに取り組み、健やかに暮らしています。病気やけがの際に安心して治療を受けられ、介護が必要になっても適切に介護サービスを受けることができます。

また、年齢や所得、障がいの有無にかかわらず、誰もが地域の支え合いの中でいきいきと暮らしています。 ライフスタイルに応じて子どもを安心して産み育てられる仕組み

|フィンスタイルに応じて子どもを安心して産み育てられる仕組み |や、地域で子どもを見守る環境が整い、若い世代が八潮市に魅力を |感じて暮らせるまちとなっています。 基本目標

子育てを社会的に支援する体制づくりが進み、充実した保育サービスが受けられることで、安心して子育てができる 環境になっています。

児童手当やこども医療費の支給により、子育て世帯の生活 が安定するとともに、子どもの保健の向上と福祉の増進が 図られています。

児童虐待防止対策により、保護者の育児不安が軽減され、 子どもが安心して生活しています。

		現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	成果指標			計画・目標							計画・目標	
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
1	保育所等施設の確保提供量 (「八潮市子ども・子育て支援事業計画」	995人	_	_	_	_	1,183人	_	_	-	_	1,183人
1)	における保育の量の見込みに基づく)	_	1,057人	1,057人	1,331人							
2	地域于育く文振拠点の整備数 (「八潮市子ども・子育て支援事業計画」 における地域子育て支援拠点の量の見込み	6か所	_	_	_	_	7か所	_	_	_	_	7か所
2	における地域子育て支援拠点の量の見込みに基づく)	_	6か所	6か所	7か所							
3			_	_	_	_		_	_	-	_	
0		_										
4			_	_	_			_		1	_	
4)		_										
(5)			_	_	_	1		_			_	_
		_										

	施策の内容	H30年度	事務事業数		総合評価		担当課
	ル泉の内谷	事業費(千円) ^{争伤争未め}		順調	順調 概ね順調 遅れ		担当床
1	子育て支援の推進	1, 941, 364	9	9	0	0	子育て支援課
2	保育施設の整備	1, 721, 394	6	2	4	0	子育て支援課、保育課
	保育内容の充実	441, 937	2	0	2	0	保育課
4	要保護児童対策の推進	7, 621	2	2	0	0	子育て支援課
5	ひとり親家庭等の支援の推進	343, 509	1	1	0	0	子育て支援課
6							
7							
8							
9							
	計	4, 455, 825	20	14	6	0	

総合計画	章(施策の柱)	2	健康福祉・子育て	評価主体(部名)	子育て福祉部			
の体系 節 8 全ての子どもの幸せづくり 評価者名								
評価主体が 推進する	(2)保育施設の整備 (3)保育内容の充実 (4)要保護児童対策	:保 :障 の推	地域子ども・子育て支援事業を充実する。こども医療費育・学童保育の需要増に対応するため、認可保育所や質がい児保育、延長保育、学童保育所等の多種多様な保育進:相談・支援体制を強化し、市民、関係機関、行政を援の推進:ひとり親家庭等の自立に向け、総合的な支援	学童保育所の整備を榜 育内容を充実し、保護 相互の協力体制を整備	食討する。 隻者の子育てにおける負担を軽減する。			

- : = : : : : : : : : : : : : : : : : :	
施策の実施状況	(説明) (1)子育て支援の推進では、母乳育児支援給付金支給事業を開始したほか、誕生祝い金や児童手当等の経済的支援を実施した。 (2)保育施設の整備では、需要増加の対応のため、認可保育所3か所、小規模保育施設4か所、放課後児童クラブ1か所を整備した。 (3)保育内容の充実では、障がい児保育等の実施をするとともに、民間放課後児童クラブの開所時間延長について検討した。 (4)要保護児童対策の推進では、養育支援訪問事業を開始するとともに、要保護児童対策地域協議会を中心に、関係機関と連携し、児童虐待防止対策に取り組んだ。 (5)ひとり親家庭等の支援の推進では、児童扶養手当の支給、ひとり親家庭等への医療費を支給した。
課題	課題はほとんどない ■ ある程度課題がある 大きな課題がある (1)子育て支援の推進では、直営の子育てひろばの民間委託による 運営の充実や、子育て応援ナビによる子育て情報の提供の充実を 図る必要がある。 (2)保育施設の整備では、子育て世帯の流入や女性就業率の上昇、幼保無償化の影響などから保育所及び放課後児童クラブの需要の 増加が見込まれるため、更なる整備を検討する必要がある。 (3)保育内容の充実では、平成29年3月に改定された保育所保育指針に基づき、保育内容の充実を図るとともに、入所児童の安全・安心を確保するため、保育所の指導監査の強化及び民間放課後児童クラブの開所時間の延長について検討していく必要がある。 (4)要保護児童対策の推進では、児童相談所の08派遣制度を活用し、要支援家庭の支援の充実を図る必要がある。
4	

4. 節の評価(部が展開する節の総合評価)

総合評価	評価理由
☆☆☆順調	(1)ほっとステーションに子育てひろば、利用者支援、ホームスタート、ファミサポの4事業を集約し、利用者が増加している。(2)要保護児童対策地域協議会における情報共有や適切な支援の実施により、深刻な児童虐待の事案が発生していない。(3)こども医療費や児童手当等の支給を適切に行っている。(4)駅周辺の保育所及び放課後児童クラブのニーズの増加に対応した保育施設等の整備を行った。

5. 今後の方針(部が展開する節の方針)

- / //////	1 (10% /X())) / O A) 02/1 x[/			
	現状のまま推進 ● 見直し	て推進	大幅に見直して	て推進
方向性	▶ ■	重点化(拡充)	縮小	その他
施策の展開方針	・令和2年度から令和6年度 ・令和2年度から令和6年度 も・子育て支援事の子育で大きを ・子育でないば代がない。 ・子育でないば代がない。 ・子質性をできるが、一般ではないではないではないではないではないではないではないではないではないではない	ついて検討すざい では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	る。 2かを今めやる送 童 後 で対予保業さ保 談 童 り です かった かった かった です かった です かった でいま かった かった かった かった かった かった かった かった かった できる かった かった できる かった	わた子育てひる。 されている幼 で所等の整備を 導型保育の傾向 でリービスの での での での での での での での での での での での での での
■里只事業(肖	『で5事業まで)			
施策コー 章 節 施	∸── 施策の内容		事務事	業

※施策(節)を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆:概ね順調(最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調)

☆:遅れ(このままでは、最終目標の達成が難しい)

3

【別紙】節を構成する事務事業の評価結果(対象年度H30年度)

※■は評価主体を表す

主施	策コ·	ード	+ 3/2 + W 17	主	戦	公	也处如	日本語	H30年度事業費	-m ex	炒 □ □ □ □ □ □ □ □ □	 1.44	投入	資源
体 章	節	施策	事務事業名	要	略	約	担当部	担当課	(決算額:千円)	課題	総合評価	方向性	事業費	労働量
1 02	08		赤ちゃんの駅整備事業				子育て福祉部	子育て支援課	168	0	***	現状のまま継続	現状維持	現状維持
1 02	08	01	子育て支援事業				子育て福祉部	子育て支援課	142	0	2	現状のまま継続	増加	現状維持
1 02	08	01	地域子育て支援拠点事業				子育て福祉部	子育て支援課	37, 462	\circ	***	見直して継続	現状維持	現状維持
1 02	08	01	ファミリー・サポート・センター事業				子育て福祉部	子育て支援課	4, 199	0	***	現状のまま継続	現状維持	現状維持
1 02		01	こども医療費支給事業				子育て福祉部	子育て支援課	352, 923	0	2	現状のまま継続	現状維持	現状維持
1 02			児童手当支給事業				子育て福祉部	子育て支援課	1, 513, 733	_	2	現状のまま継続	現状維持	
1 02			ホームスタート事業				子育て福祉部	子育て支援課	2, 049	\circ	***	現状のまま継続	現状維持	
1 02			利用者支援事業				子育て福祉部	子育て支援課	7, 982	0	***	現状のまま継続	現状維持	現状維持
1 02	08		こども誕生応援事業				子育て福祉部	子育て支援課	22, 706	\circ	***	見直して継続	増加	増加
1 02			認定こども園事業				子育て福祉部	保育課	117, 742	\circ	2	現状のまま継続	増加	増加
■ 02			保育所整備事業				子育て福祉部	子育て支援課	352, 260	\circ	***	現状のまま継続	3 - 5 - 11 - 7 - 7	
■ 02	08	02	認可保育所委託事業				子育て福祉部	保育課	1, 013, 434	\circ	2	現状のまま継続	増加	増加
■ 02	08	02	放課後児童健全育成施設整備事業				子育て福祉部	子育て支援課	0	\circ	2	見直して継続	現状維持	現状維持
1 02	08		小規模保育事業				子育て福祉部	保育課	230, 208	0	☆☆	現状のまま継続	増加	増加
1 02	08	02	児童館運営事業				子育て福祉部	子育て支援課	7, 750	0	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
1 02	08		保育所管理運営事業				子育て福祉部	保育課	244, 716	\bigcirc	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
1 02	08	03	学童保育所管理運営事業				子育て福祉部	保育課	197, 221	•	☆☆	現状のまま継続	増加	増加
1 02	08	04	要保護児童対策事業				子育て福祉部	子育て支援課	5, 175	0	2	見直して継続	増加	増加
1 02	08	04	家庭児童相談室運営事業				子育て福祉部	子育て支援課	2, 446	0	2	現状のまま継続	現状維持	現状維持
1 02	08	05	ひとり親家庭等支援事業				子育て福祉部	子育て支援課	343, 509	0	***	見直して継続	増加	増加
									4, 455, 825	部の事	業費計			

【課題】―:課題はほとんどない,○:ある程度課題がある,●:大きな課題がある /【総合評価】☆☆☆:順調,☆☆:概ね順調,☆:遅れ

総合計画の体系	章(施策の柱)	3	防災・防犯・消防・救急	担当部	•	健康福祉部	生活安全部
応口引回の体系	節	1	災害に強いまちづくり	ᄪᆿᇚ			

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 (10年後の八潮 市では)

自助、共助、公助の考え方が広く市民に定着し、日頃から防災・減災に向けた市民、地域、行政の連携が図られ、地震や台風等の自然災害、感染症や大規模な事故等の危機に備えています。 また、市民、地域、行政が協働し、地域の安全な生活を守り、犯罪や交通事故の少ない、誰もが安心して暮らせるまちとなっています。

基本目標

災害発生時における被害を最小限に抑えるため、市民一人 ひとりが自ら命を守る行動をとり、地域の人々が助け合 い、市民の安全を確保する体制が整っています。

	大心心不											
		現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	成果指標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
1	自主防災組織結成率	97. 70%	_	_	_	_	100%	_	_	_	_	100%
1)	日主的次組織和及平	_	97. 7%	100%	100%							
2	災害時応援協定締結数	33件	_	_	_	_	37件	_	_	_	_	40件
2	人 口 + 17 / L 1	_	36件	37件	41件							
3			_	_	_	_		_	_	_	_	
0		_										
4			_	_	_	_		_	-	_	_	
4)		_										
(5)			_	_	-	_		_	l	ı		
		_										

	施策の内容	H30年度	事務事業数		総合評価		担当課			
	一	事業費 (千円)	争份争未致	順調	概ね順調	遅れ				
1	地域防災計画の推進	34, 404	4	2	2	0	社会福祉課、危機管理防災課			
	地域防災力の強化	77, 955	5	3	2	0	危機管理防災課			
3	避難行動要支援者対策の推進	0	1	0	1	0	社会福祉課			
4										
5										
6										
7										
8										
9										
	計	112, 359	10	5	5	0				

総合計画	章(施策の柱)	3	防災・防犯・消防・救急	評価主体 (部名)	健康福祉部
の体系	節	1	災害に強いまちづくり	評価者名	香山 庸子
評価主体が 推進する 施策の概要	避難行動要支援者をことができるような)推進:八潮市災害時要援護者避難計画に基づき、災害 引を整備する。	時に自ら避難するこ	とができない要援護者が、迅速かつ安全に避難する

施策の 実施状況 (説明) ①情報共有の取組:要援護者リストの更新を行うとともに、関係 機関に対し要援護者リスト及び個別計画書の情報提供を行った。 ②福祉避難所の取組:福祉避難所の規模や受け入れの対象者について、福祉事務所内において共通認識を図るための会議を開催した。	3. 即の方析	(部が展開する即の分析)
		①情報共有の取組:要援護者リストの更新を行うとともに、関係機関に対し要援護者リスト及び個別計画書の情報提供を行った。 ②福祉避難所の取組:福祉避難所の規模や受け入れの対象者について、福祉事務所内において共通認識を図るための会議を開催し
課題はほとんどない ● ある程度課題がある 大きな課題がある ① 情報共有の取組では、町会・自治会に対し要援護者名簿等を提供しているが、一部の町会・自治会からは「町会・自治会未加入者の取扱い」や「個人情報の管理方法」、「具体的な支援策」などに対する意見が出されている。今後も、避難行動要支援者対策の推進に向け、理解を得ながら取り組む必要がある。 ② 福祉避難所の取組では、要援護者の支援に携わる人材の確保を含め、具体的な運営方法等の詳細について検討する必要がある。	課題	① 情報共有の取組では、町会・自治会に対し要援護者名簿等を提供しているが、一部の町会・自治会からは「町会・自治会未加入者の取扱い」や「個人情報の管理方法」、「具体的な支援策」などに対する意見が出されている。今後も、避難行動要支援者対策の推進に向け、理解を得ながら取り組む必要がある。 ② 福祉避難所の取組では、要援護者の支援に携わる人材の確保を

4. 節の評価(部が展開する節の総合評価)

総合評価	評価理由
☆☆☆順調	要援護者リストの掲載内容を更新した。また、要援護者リスト及び個別計画書について、各関係機関と情報共有を図った。

5. 今後の方針(部が展開する節の方針)

	現状のまま推進 ● 見直して推進 大幅に見直して推進
方向性	
施策の 展開方針	(説明) 八潮市災害時要援護者避難計画に基づき、災害時に自ら非難することができない要援護者が、迅速かつ安全に避難できるよう、引続き個別計画書の提出に係る啓発を行う。また、各関係機関への情報共有などを図りながら、更なる避難行動要支援者対策の推進に努める。
	(a)

= =	一灬子	**	י יום י	・0 尹木よく/	
	施領	€コ-	ード	施策の内容	事務事業
	章	節	施策	ル東の内谷	学 协学未
1	03	01	03	避難行動要支援者対策の推進	避難行動要支援者対策推進事業
2					
3					
4					
5					

※施策(節)を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆:順調(最終目標達成に向け、順調に成果があがっている) ☆:遅れ(このままでは、最終目標の達成が難しい)

<u>k</u> .	【別紙】即を構成する事務事業の評価結果(対象年度130年度) ※■は評価主体を表す _主 施策コード _{東双東米} 名 主 戦 公														NU. I
	施 章		ード 施策	事務事業名	主要	戦略	公約	担当部	担当課	H30年度事業費 (決算額:千円)	課題	総合評価	方向性	投入 事業費	
	03	01		地域防災計画推進事業			4.2	生活安全部	危機管理防災課	34, 404	0	☆☆	見直して継続	増加	増加
	03	01		災害救助事業				生活安全部	危機管理防災課	1	0	☆ ☆		現状維持	
	03	01		災害援護資金貸付金				健康福祉部	社会福祉課	0	_	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	03	01		災害見舞金支給事業				健康福祉部	社会福祉課	0	_	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	03	01	02	自主防災組織育成事業				生活安全部	危機管理防災課	5, 287	0	☆☆☆	見直して継続	増加	増加
	03 01 02 総合防災訓網		02	総合防災訓練実施事業				生活安全部	危機管理防災課	1, 309	0	2	現状のまま継続	増加	現状維持
			02	応急物資確保事業				生活安全部	危機管理防災課	4, 938	0	☆☆	見直して継続	増加	増加
			02	防災行政無線管理事業				生活安全部	危機管理防災課	62, 658	0	$^{\wedge}$ $^{\wedge}$	見直して継続	増加	増加
	03	01	02	防災気象情報システム管理事業				生活安全部	危機管理防災課	3, 764	0	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	03	01	03	避難行動要支援者対策推進事業				健康福祉部	社会福祉課		0	☆☆	見直して継続	増加	増加
										0	部の事	業費計			
				「神野」、神野けはん	134	1 \	$\overline{}$	もて知由部形だち	ス ▲・士キた押頭が	ナフ / 『妙人記	/ III /			☆川五三田	۷ کار ۱

【課題】―:課題はほとんどない,○:ある程度課題がある,●:大きな課題がある /【総合評価】☆☆☆:順調,☆☆:概ね順調,☆:遅れ

総合計画の体系	章(施策の柱)	3	防災・防犯・消防・救急	担当部	生活安全部	健康福祉部
応口引回の作示	節	1	災害に強いまちづくり	ᄪᆿᇚ		

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 (10年後の八潮 市では)

自助、共助、公助の考え方が広く市民に定着し、日頃から防災・減災に向けた市民、地域、行政の連携が図られ、地震や台風等の自然災害、感染症や大規模な事故等の危機に備えています。また、市民、地域、行政が協働し、地域の安全な生活を守り、犯罪や交通事故の少ない、誰もが安心して暮らせるまちとなっています。

基本目標

災害発生時における被害を最小限に抑えるため、市民一人 ひとりが自ら命を守る行動をとり、地域の人々が助け合 い、市民の安全を確保する体制が整っています。

	7/15/11/X	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	成果指標		計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標		計画・目標	計画・目標	計画・目標
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
1	自主防災組織結成率	97. 70%	_	_	_	_	100%	_	-	_	_	100%
1)	日王例火旭城和风牛	_	97. 7%	100%	100%							
2	災害時応援協定締結数	33件	_	_	_	_	37件	_	_	_	_	40件
2	火音时心设 励足和和奴	_	36件	37件	41件							
3			_	_	_	_		_	1	1	_	
3		_										
			_	_	_	_		_	1	1	_	
4		_										
(5)			_	_	_	_		_	_	_	_	
(3)		_										

	施策の内容	H30年度	事務事業数		総合評価		担当課				
	一	事業費 (千円)	争份争未致	順調	概ね順調	遅れ	担国味				
1	地域防災計画の推進	34, 404	4	2	2		社会福祉課、危機管理防災課				
	地域防災力の強化	77, 955	5	3	2	0	危機管理防災課				
3	避難行動要支援者対策の推進	0	1	0	1	0	社会福祉課				
4											
5											
6											
7											
8											
9											
	計	112, 359	10	5	5	0					

総合計画	章(施策の柱)	3	防災・防犯・消防・救急	評価主体 (部名)	生活安全部
の体系	節	1	災害に強いまちづくり	評価者名	武内清和
評価主体が 推進する 施策の概要	ル等を作成します。 2. 地域防災力の弱	ま <i>†</i> 食化	単:平成29年度から3カ年をかけて地域防災計画、業務総た、あわせて計画的に物資の備蓄を進めます。:防災訓練や研修会等を通じて防災意識の向上を図ると 泉を計画的に更新(デジタル化)して情報伝達手段の充	ともに、自主防災組	

3. 即07万利	(叩が)皮囲り る即の力で	71 7	
施策 <i>の</i> 実施状況	城県水戸市と災害時の ・アルファ米、飲料が しました。 ・総合防災訓練を中川 関・団体合わせて621	南東武支部、富士測地㈱、)応援協定を締結しました 、等の他に、ガソリン缶。 川小学校で実施し地元町会 人が参加しました。 泉拡声子局8基を更新(デ	た。 や流動食などを備蓄 会自治会、関係機
課題	ようにするため意識を・災害対応時に不生す・ 次害対応自助・ 共助度に依存しない自立し・ 地域防災力の向上を必要がある。	● ある程度課題がある 多正とあわせて職員自られる を発が必要である。 するマンパワー確保の検討 かの重要性を認識してもられた体制の構築が必要でな と図るため、地区防災計画	討が必要である。 らい、行政に対し過 ある。 画の策定を促進する
	画的な備蓄に努める必	必要がある。	

4. 節の評価(部が展開する節の総合評価)

総合評価	評価理由
	地域防災計画の修正業務や備蓄の充実が計画どおりに進んでいる こと。また、固定系防災行政無線拡声子局の整備が同じく計画ど おりに進んでいること。さらに、災害時の応援協定が様々な分野 と締結できたことなどから、概ね順調に成果があがっていると評 価する。

5. 今後の方針(部が展開する節の方針)

5. 予仮の力並	†(部か展開する節の万針)	
	● 現状のまま推進 見直し	大幅に見直して推進
方向性		
	>	重点化(拡充) 縮小 その他
施策の 展開方針	・計画の実効性を高めるため図る。 ・市外に居住する職員が増え 員数を確保することが難しい 補完するため業務継続計画の や関連システムの導入などで ・備蓄計画の策定にあわせ	め、職員の意識改革とスキルアップを えていることから、災害時に十分な職 い状況にあり、不足するマンパワーを の見直しを通して部局を横断した連携
■重点事業(部	『で5事業まで)	
施策コー 章 節 施	一 施第の因突	事務事業

- 主 ボ チ 木 (中 こ 0 手 木 5 こ /												
	施領	きコ-	ード	施策の内容	事務事業							
章 節 施策		施策	ル東の内谷	尹∌ 兼未								
1	03	01	01	地域防災計画の推進	地域防災計画推進事業							
2	03	01	02	地域防災力の強化	自主防災組織育成事業							
3	03	01	02	地域防災力の強化	防災行政無線管理事業							
4	03	01	02	地域防災力の強化	応急物資確保事業							
5	03	01	02	地域防災力の強化	総合防災訓練実施事業							

※施策(節)を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆:順調(最終目標達成に向け、順調に成果があがっている) ☆:遅れ(このままでは、最終目標の達成が難しい)

【另	紙	】節	市を構	構成する事務事業の評価結果(対	象年.	度H30	0年度	ξ)	は評価主体を表す						NO. 1
主力	拖策		ード	事務事業名	主	戦	公約	担当部	担当課	H30年度事業費	課題	総合評価	方向性		.資源
体 :	章	節			要	略	約			(決算額:千円)	(決算額:千円)			事業費	労働量
		01		地域防災計画推進事業				生活安全部	危機管理防災課	34, 404	0	☆☆	見直して継続	増加	増加
)3	01		災害救助事業				生活安全部	危機管理防災課	1	0	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
		01		災害援護資金貸付金				健康福祉部	社会福祉課	0	_	***	現状のまま継続	現状維持	
		01		災害見舞金支給事業				健康福祉部	社会福祉課	0	_	***	現状のまま継続	現状維持	
		01	02	自主防災組織育成事業				生活安全部	危機管理防災課	5, 287	0	$^{\uparrow}$	見直して継続	増加	増加
		01		総合防災訓練実施事業				生活安全部	危機管理防災課	1, 309	0	$^{\uparrow}$	現状のまま継続	増加	現状維持
		01		応急物資確保事業				生活安全部	危機管理防災課	4, 938	0	2	見直して継続	増加	増加
		01	_	防災行政無線管理事業				生活安全部	危機管理防災課	62, 658	0	***	見直して継続	増加	増加
)3	01	02	防災気象情報システム管理事業				生活安全部	危機管理防災課	3, 764	0	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
()3	01	03	避難行動要支援者対策推進事業				健康福祉部	社会福祉課		0	☆☆	見直して継続	増加	増加
H	1														
H	1														
H															
H															
H	-														
H															
							<u> </u>			112, 359	部の連	 〔業費計			
										112, 555	ロレック子	小人只们			

【課題】―:課題はほとんどない,○:ある程度課題がある,●:大きな課題がある /【総合評価】☆☆☆:順調,☆☆:概ね順調,☆:遅れ

総合計画の体系	章(施策の柱)	3 防災・防薬	②・消防・救急	担当部	●健康福祉部	生活安全部	
応口引回の作示	節	2 危機に備;	えた体制づくり	변크마			

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 (10年後の八潮 市では)

自助、共助、公助の考え方が広く市民に定着し、日頃から防災・減災に向けた市民、地域、行政の連携が図られ、地震や台風等の自然災害、感染症や大規模な事故等の危機に備えています。 また、市民、地域、行政が協働し、地域の安全な生活を守り、犯罪や交通事故の少ない、誰もが安心して暮らせるまちとなっています。

基本目標

新型インフルエンザ等の感染症、放射性物質事故、テロ行為、武力攻撃事態等の危機事象に備える体制が整っています。

=	大心性 木	TD.11: /+	1100 F +	1100 /= :=	IIOO 는 다	D1 /= r==	D0 /= :=	DO 는 ċ	D4 /= r=	Dr /= c÷	D0 /= r÷	D7 는 ch
		現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	成果指標		計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	危機管理体制の見直し回数(毎年)	0回	_	_	_	_	1回	_	_	_	_	1回
1)	心域自在仲間が元色し四数(毎十)	_	0回	0回	0回							
2			_	_	_	_		_	_	_	_	
2		_										
3			_	_	1	_			1	ı	_	
(3)		_										
4			_	_	1	_			1	ı	_	
4)		_					·		·	_		
(5)			_	_	I	_		1	l	I	_	
(3)		_										

	施策の内容	H30年度	事務事業数	総合評価			担当課	
		事業費(千円) ^{事份争未竣}		順調	概ね順調	遅れ		
1	危機管理体制の充実	3, 163	2	0	2	0	危機管理防災課	
2	感染症対策の推進	455	1	0	1	0	健康増進課	
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9						·		
	計	3, 618	3	0	3	0		

総合計画	章(施策の柱)	3	防災・防犯・消防・救急	評価主体(部名)	健康福祉部
の体系	節	2	危機に備えた体制づくり	評価者名	香山 庸子
評価主体が 推進する 施策の概要	【感染症対策の推進関係機関と連携を図		新型インフルエンザ等の感染症が拡大する危機事象等	に即応できる体制づ	くりを進める。

3. 関切の別例	(部か展開9 る即の方を	11.7	
施策の 実施状況	加するとともに、職員 フルエンザ等の発生に 蓄を行った。また、関	リインフルエンザ等対策 員による感染症防護服の に備え、職員が使用する」 建康スポーツまつりにおい 引する情報提供を行った。	着脱訓練や新型イン 感染症対策物品の備 ハて、市民向けに新
課題		● ある程度課題がある 「等の発生時における、う ら上では、庁内関係課や「	
4. 節の評価	 (部が展開する節の総合	合評価)	

Ma H I Imm	
総合評価	評価理由
	「新型インフルエンザ等対策業務継続計画」及び「新型インフルエンザ等に係る住民接種の手引き」が未完成ではあるが、新型インフルエンザ等に係る業務継続計画書の検討を進めたほか、国・県連携による訓練実施に伴い、県への受信報告訓練を毎年実施していることや、感染症対策物品の備蓄を行ったこと、市民への情報発信を実施したことから概ね順調と評価した。

5. 今後の方針(部が展開する節の方針)

_	5.	予 该	とりた] 並丁	(部か展開する即	のカ	並)				
				(■現状のまま推進		見直して推	進	大幅に見	直して推進	Ē
		方向	性			Ţ					
						▶	重点	化(拡充)	縮小		その他
-	Ā	施策	5針	ル府市 啓	説明) 「新型インフ係ン アンのでででででいる。 では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	住民行動で	接種の手 計画が見 う。 て市民に	引き」 直され 対し、	を順次作品を場合には	成する。 は、必 関する知	また、政要に応じて
	= 里				55事業まで)						
]		章	_{复コ} - 節	施策	施策の	内容			事務	務事業	
	1	03	02	02	感染症対策の推	進		新型イ	ンフルエン	/ザ等対	策推進事業
	2										

※施策(節)を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆:順調(最終目標達成に向け、順調に成果があがっている) ☆:遅れ(このままでは、最終目標の達成が難しい)

【別紙】即で情成りる事務事業の評価結果(対象年度⊓30年度) ※■は評価主体を表す												
	入資源 計 労働量											
	身 現状維持											
	身 現状維持											
■ 03 02 02 新型インフルエンザ等対策推進事業 健康福祉部 健康増進課 455 ○ ☆☆ 現状のまま継続 増加	増加											
	+											
455 部の 事業費計												

総合計画の体系	章(施策の柱)	3 防災・防犯・消防・	救急	担当部	● 生活安全部	健康福祉部
応口引回の作示	節	2 危機に備えた体制づ	S < 1)	1년 크 마		

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 (10年後の八潮 市では)

自助、共助、公助の考え方が広く市民に定着し、日頃から防災・減災に向けた市民、地域、行政の連携が図られ、地震や台風等の自然災害、感染症や大規模な事故等の危機に備えています。 また、市民、地域、行政が協働し、地域の安全な生活を守り、犯罪や交通事故の少ない、誰もが安心して暮らせるまちとなっています。

基本目標

新型インフルエンザ等の感染症、放射性物質事故、テロ行為、武力攻撃事態等の危機事象に備える体制が整っています。

=	大心性 木	TD.11: /+	1100 F +	1100 /= :=	IIOO 는 다	D1 /= r==	D0 /= :=	DO 는 ċ	D4 /= r=	Dr /= c÷	D0 /= r÷	D7 는 ch
		現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	成果指標		計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	危機管理体制の見直し回数(毎年)	0回	_	_	_	_	1回	_	_	_	_	1回
1)	心域自在仲間が元色し四数(毎十)	_	0回	0回	0回							
2			_	_	_	_		_	_	_	_	
2		_										
3			_	_	1	_			1	ı	_	
(3)		_										
4			_	_	1	_			1	ı	_	
4)		_					·		·	_		
(5)			_	_	I	_		1	l	I	_	
(3)		_										

	施策の内容	H30年度	事務事業数	総合評価			担当課	
		事業費(千円) ^{事份争未竣}		順調	概ね順調	遅れ		
1	危機管理体制の充実	3, 163	2	0	2	0	危機管理防災課	
2	感染症対策の推進	455	1	0	1	0	健康増進課	
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9						·		
	計	3, 618	3	0	3	0		

総合計画	章(施策の柱)	3	防災・防犯・消防・救急	評価主体 (部名)	生活安全部
の体系	節	2	危機に備えた体制づくり	評価者名	武内清和
			様々な危機事象の発生に備え、国や県の取組を踏まえな 肖防、警察及び自衛隊との連携強化に努めます。	がら「八潮市危機管	理指針」及び「国民保護に関する八潮市計画」の見

<u> </u>	1,62,73,471		17	
	i策の 施状況	計画」に基づいて、迅た。	管理指針」及び「国民保 速かつ的確に対応できる 訓練見学などに参加し、	るように努めまし
IIILL	果題	対する職員の認知度、	● ある程度課題がある ・」及び「国民保護に関う 理解度の低下が懸念され 踏まえ「国民保護に関う いる。	1る。
4 省	たの証価	(部が展開する節の総合	>型(無)	

4. 節の評価(部が展開する節の総合評価)

1. Друга пр	
総合評価	評価理由
☆☆概ね順調	県の研修会に参加するとともに、訓練を見学するなど平時から危 機事象に備えて取り組んでいることから、概ね順調に成果があ がっていると評価する。

5. 今後の方針(部が展開する節の方針)

<u> </u>	7 12	. •, ,.	121	יום לא ליותואלי מיוח)	ロンノコエーノ						
				●現状のまま推進	見直し	て推進		大幅に	見直して	て推進	
	方向	性			▶	重点化(拡充	方)		 縮小		- その他
月	施策	5 針	「居まをす	説明) - - - - - - - - - - - - - - - - - - -	識を図る 議会を開	。 催し「国	民保	:護に	関する	八溥	市計画」
				0 1 × 6 C/							
	章	賃コ− 節	施策	施策の	内容				事務事	業	
1	03	02	01	危機管理体制の	充実	危機	後管理	体制	推進事	業	
2											

※施策(節)を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆:順調(最終目標達成に向け、順調に成果があがっている) ☆:遅れ(このままでは、最終目標の達成が難しい)

【別似】即で構成する事が事本の計画和本(対象年度110年度) ※■は計画主体で表す														NO. I		
主体	施策	ぎコ- 節	- ド 施策	事務事業名	主要	戦略	公約	担当部	担当課	H30年度事業費 (決算額:千円)	課題	総合評価	方向性	投入 事業費	資源 労働量	
	03	02	01				,,,,	生活安全部	危機管理防災課	3, 163	0	☆☆	現状のまま継続			
		02		国民保護計画推進事業					危機管理防災課	,	0	☆☆	現状のまま継続	現状維持		
	03	02		新型インフルエンザ等対策推進事業					健康増進課	455	0	☆☆	現状のまま継続	増加	増加	
Ш																
Ш																
Ш																
\vdash																
\vdash																
\mathbb{H}																
\vdash																
H																
H																
H																
H																
Ħ																
Ш																
Ш																
\sqcup																
\sqcup																
\sqcup																
\vdash	-															
H					<u> </u>	<u> </u>				0.100	如不古	** # = 1				
				F-m or 1						3, 163	163 部の事業費計					

総合計画の体系	章(施策の柱)	3 防災・防犯・消防・救急	担当部 ● 生活安全部
応口可回の体系	節	3 犯罪のない安全で安心なまちづくり	THE IN

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 (10年後の八潮 市では)

自助、共助、公助の考え方が広く市民に定着し、日頃から防災・減災に向けた市民、地域、行政の連携が図られ、地震や台風等の自然災害、感染症や大規模な事故等の危機に備えています。 また、市民、地域、行政が協働し、地域の安全な生活を守り、犯罪や交通事故の少ない、誰もが安心して暮らせるまちとなっています。

基本目標

市民との協働※により犯罪の起きにくいまちづくりが進み、市民は犯罪が少ない安全で快適なまちで暮らしています。

	大心们不											
		現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	成果指標	計画・目標		計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
1	犯罪認知件数	1,271件	_	_		_	1,100件	_	_	_	_	1,000件
1)	2013年10157411十一级	_	926件	922件	949件							
2	防犯団体数	45団体	_	_	_	_	46団体	_	_	_	_	48団体
	15) 3LD (F 9).	_	45団体	44団体	44団体							
3			_	_	_	_		_	_	_	_	
		_										
4			_	_	_	_		_	_	_	_	
4)		_										
5			_	_	_	_		_	_	_	_	
		_			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·							

施策の内容		H30年度	事務事業数		総合評価		担当課
		事業費 (千円)	事 协事未致	順調	概ね順調	遅れ	ᄪᆿᅑ
1	防犯力の強化	3, 134	1	0	1	0	交通防犯課
	防犯施設の整備	29, 816	1	1	0	0	交通防犯課
3	警察署・交番の誘致	9	1	0	0	1	交通防犯課
4							
5							
6							
7							
8							
9							
	計	32, 959	3	1	1	1	

総合	計画	章(施策の柱)	3	防災・防犯・消防・救急	評価主体 (部名)	生活安全部
の体	本系	節	3	犯罪のない安全で安心なまちづくり	評価者名	武内清和
評価	か 第 9 の 1 9 0	2. 防犯施設の整備に努めます。	j : H	主防犯組織に対し、防犯用品の貸与や青色回転パトロー 叮会自治会で設置・管理している防犯灯に補助金を交付 致:県知事及び県警察本部長に対し、警察署及び交番の	し整備を促進します	。また、防犯カメラを適正に維持管理し犯罪の抑止

(説明) ・市の青色回転パトロール車を自主防犯組織に貸し出しました。 また、青色回転パトロール車を所有し活動している自主防犯組織 施策の に対し燃料費の補助金を交付しました。 実施状況 ・町会自治会に補助金を交付し、防犯灯の整備を促進しました。 (新設65基、更新212基) ・県知事及び県警察本部長に対し、警察署の設置等について要望 しました。 課題はほとんどない ●ある程度課題がある 大きな課題がある ・防犯カメラについては、駅周辺及び学校周辺に整備したのち、 現在、公園みどり課において公園等に整備しているところであ る。今後、近年報道されているような子どもが犯罪に巻き込まれ るケース等を踏まえ、学校や町会等と協議しながら整備について 課題 検討する必要がある。 ・刑事訴訟法に基づく防犯カメラの画像提供依頼が増加し、通常 業務に支障を来している。 ・県警察本部では、既存警察署の計画的な改築・改修を優先する とともに警察官の確保が課題であることから、現時点で警察署の 新設は難しい状況とのことである。

4. 節の評価(部が展開する節の総合評価)

総合評価	評価理由
2	犯罪認知件数は微増となっているが、防犯灯や防犯カメラなどの 防犯施設整備に取り組むとともに、自主防犯組織と連携を図って 地域防犯力の強化に取り組んでいることを踏まえ、概ね順調に成 果があがっていると評価する。

5. 今後の方針(部が展開する節の方針)

5. ラ仮の力並	†(部か展開する即	10) /1 虹 /			
	■ 現状のまま推進	見直して推	進	大幅に見直して	て推進
方向性					
		▶ 重点	化(拡充)	縮小	その他
施策の 展開方針	(説明)・大瀬小学校ででより・大瀬小学校でである。・大瀬小学校でである。・大瀬小学校でである。・大瀬小学校でである。・大瀬小学校でである。・大道である。・大道である。・大道である。・大道である。	検し、その情 うにする。 事務負担の車 ワーク化を核 あわせて、ダ	競報を共有 経減を図る。 経対する。 で番に警察	するととも ため、防狐 官が不在の	に連携協力し ユカメラの更新 の状況が見受け
	『で5事業まで)		1		
施策コー	<u>ド</u>	内灾		車	*

■主爪手术(叩て∪手术なて)													
	施領	€コ-	ード	施策の内容	事務事業								
	晫	節	施策	ル東の内谷	尹 勿尹未								
1	03	03	01	防犯力の強化	防犯活動普及事業								
2	03	03	02	防犯施設の整備	防犯施設整備事業								
3	03	03	03	警察署・交番の誘致	警察署·交番設置促進事業								
4													
5													

※施策(節)を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆:順調(最終目標達成に向け、順調に成果があがっている) ☆:遅れ(このままでは、最終目標の達成が難しい)

				1次9 の事物事未の計画心木(χ.	よ計画土体を衣り						NO. I
主体	施第章	きコ- 節	- ド 施策	事務事業名	主要	戦略	公約	担当部	担当課	H30年度事業費 (決算額:千円)	課題	総合評価	方向性	投入 事業費	
	03	03	01	防犯活動普及事業				生活安全部	交通防犯課	3, 134	0	☆☆	現状のまま継続		
	03	03		防犯施設整備事業				生活安全部	交通防犯課	29, 816	0	☆☆☆	現状のまま継続		
	03	03	03	警察署·交番設置促進事業				生活安全部	交通防犯課	9	0	☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
\vdash															
\vdash															
\vdash															
\vdash															
H															
H															
Ш															
\vdash															
\vdash															
\vdash															
\vdash															
H															
\vdash															
\Box															
										32, 960	部の事	業費計			
_				F-mora -mor											

総合計画の体系	章(施策の柱)	3	防災・防犯・消防・救急	担当部	•	生活安全部	消防本部
応口引回の作示	節	4	市民を守るまちづくり	1년 크 마			

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 (10年後の八潮 市では)

自助、共助、公助の考え方が広く市民に定着し、日頃から防災・減災に向けた市民、地域、行政の連携が図られ、地震や台風等の自然災害、感染症や大規模な事故等の危機に備えています。 また、市民、地域、行政が協働し、地域の安全な生活を守り、犯罪や交通事故の少ない、誰もが安心して暮らせるまちとなっています。

基本目標

消防力が充実し、迅速かつ的確に消防・救急活動を行う体制が強化されており、市民の生命と財産が守られ、安全で安心して暮らせるまちとなっています。

	大心怕木											
		現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	成果指標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	消防団員の定員充足率	97. 50%	_	_	_	_	98%	_	_	_	_	98%
1)	旧例回兵》是兵儿是平	_	99. 2%	95. 4%	94. 6%							
2	上級、普通救命講習・救急入門コース受講 者数	1,434人	_	_	_	_	1,650人	_	_	_	_	1,700人
2	者数	_	1,512人	1,401人	1,479人							
3			_	_	_	_		_	_	_	_	
•		_										
4			_	_	_	_		_	_	_	_	
•		_										
5			_	_	_	_		_	_	_	_	
		_										

	施策の内容	H30年度	事務事業数		総合評価		担当課
		事業費(千円)	争份争未致	順調	概ね順調	遅れ	
1	消防体制の強化	922, 527	1	0	1	0	危機管理防災課
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
	計	922, 527	1	0	1	0	

総合計画	章(施策の柱)	3 防災・防犯・消防・救急	評価主体(部名)	生活安全部
の体系	節	4 市民を守るまちづくり	評価者名	武内清和
評価主体が 推進する 施策の概要	・消防体制の強化	: 消防広域化のメリットを活かして消防力の充実・強化に	努めます。また、消防	i団を中核とした地域消防力の向上に努めます。

О. Діт	97 73 1/I	(即が展開する即の力を	71.7	
施 実施		を図るため、草加八落た。 ・職員の相互派遣によ した。 ・台風の対応や総合队 組合と連携を図りまし ・草加八潮消防組合	なび財産を守る消防・救済 明消防組合に対し負担金 より草加八潮消防組合との 方災訓練の実施にあたった。 こおいて、平成30年度か 方施設整備計画」の策定	を支出し支援しまし の連携強化を図りま ては、草加八潮消防 ら2カ年をかけて「消
課	題	て位置づけられる予定	● ある程度課題がある ぶ現在策定中の計画に重 定の「仮称八潮南分署整	備」について、今
4 節(の評価		と踏まえ市としての立場 た検討を進める必要がある	

4.節の評価(部が展開する節の総合評価)

	(All to 120) O Ple to 40 Hall III)
総合評価	評価理由
☆☆ 概ね順調	職員の相互派遣により、台風の対応や総合防災訓練の実施にあたり連携強化が図られていたことから、概ね順調に成果があがっていると評価する。

5. 今後の方針(部が展開する節の方針)

ວ.	节传	えのノ	7 並十	(部か展開する即	のカ	並)						
				●現状のまま推進		見直して	推進		大幅に	こ見直して	て推進	
	方向	性			 -							-
					▶	重	点化(拡充	乞)		縮小		その他
Æ	施策プ	方 針	・ ・ で が・ 図	説明) 引き続き、職 草加八と できる具体的 できる 草加八地域消防力 でで地域消防力	合にに合と	現在第 るとと を 連携協	を定中の もに、 計する 引力しな	計画 草加 。	iに基 I八潮	づき、 消防組	市と 1合と	協議しな
	施策コード			## A	ch siz					古沙古	- 111	
	章	節	施策	施策の	八谷					事務事	未	
1	03	04	01	消防体制の強化			広域	消防	推進	事業		
2												
3												
4			1	l								

※施策(節)を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆:順調(最終目標達成に向け、順調に成果があがっている) ☆:遅れ(このままでは、最終目標の達成が難しい)

	【別似】即と構成する事務事未の計画相未(対象中反1100年反) ※■は計画主体を表す 100.1														
主体	施領	5コー	ード 施策 01	事務事業名	主	戦略	公約	担当部	担当課	H30年度事業費 (決算額:千円)	課題	総合評価	方向性	投入 事業費	資源
r.T.	부	即」	肥束	L. I. b. Marsh. I. t. att. — I. alle	女	ΨД	小り	at see to be too	to the fate and in the same					尹未貝	力割里
	03	04	01	広域消防推進事業				生活安全部	危機管理防災課	922, 527	0	2	現状のまま継続	現状維持	現状維持
\vdash															
H															
\vdash					-										
\vdash															
H															
\vdash															
Ш															
H															
Ш															
\vdash															
H															
\mathbb{H}					-										
Ш															
					Ь	<u> </u>	_			922 527	部の車	工業費計			
	922, 527 部の事業費計														

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 (10年後の八潮 市では)

自助、共助、公助の考え方が広く市民に定着し、日頃から防災・減災に向けた市民、地域、行政の連携が図られ、地震や台風等の自然災害、感染症や大規模な事故等の危機に備えています。また、市民、地域、行政が協働し、地域の安全な生活を守り、犯罪や交通事故の少ない、誰もが安心して暮らせるまちとなっています。

基本目標

交通ルールを遵守する意識とマナーが向上し、自動車、自転車、歩行者が互いに思いやりと譲り合いの気持ちで、安全で快適に道路を利用しています。

	NO TEN	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	成果指標		計画・目標								計画・目標	
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
1	交通事故件数	528件	_			_	510件以下	_	_		_	490件以下
	大师争队什么	_	410件	367件	343件							
2	交通安全教室開催数と参加者数	43件 7,283人		1	1	1	46件 7,500人		1	1	_	48件 7,700人
(2)	文地女主教主開惟数こ参加有数	_	50件 9,476人	49件 8,141人	45件 7,882人							
3	道路照明灯の設置	2,956基	_		1		3,070基	_		1	_	3,170基
(3)	但近無例為少故自	_	3,111基	3,131基	3,233基							
	道路反射鏡の設置	1,241基	_	_	_	_	1,310基	_	_	_	_	1,370基
4	但如汉初晚少 队自	_	1,276基	1,314基	1,339基							
5			_					_		-	_	
		_										

	施策の内容	H30年度	事務事業数		総合評価		担当課
		事業費 (千円)	事 协争未致	順調	概ね順調	遅れ	担当杯
1	交通安全意識の高揚	16, 982	2	0	2	0	交通防犯課
2	交通安全施設の整備	111, 225	4	2	2	0	交通防犯課
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
	計	128, 207	6	2	4	0	

総合計画	章(施策の柱)	3	防災・防犯・消防・救急	評価主体 (部名)	生活安全部
の体系	節	5	交通事故のない安全で安心なまちづくり	評価者名	武内清和
評価主体が 推進する 施策の概要	に、子どもや高齢者	音を対	場:交通安全思想の普及啓発に努めます。また、登下校 対象に交通安全教室を実施します。 備:道路照明灯、道路反射鏡、路面標示等を整備します		

3. 即0万旬	(部が展開する即の方を)	
施策の実施状況	をまた、潮止中及でを用いた交通安全ットのを用いた交通タットのした。 ・新たに工事による道た、道路反射鏡26基を内でゾーン30を整備した。	日転車運転免許制度を用い ド八潮中でスケアード・ 医を実施しました。 ご補助金を子ども50人、 直路照明灯22灯に加えり、 を整備しました、さらに、 しました。	ストレイト教育技法 高齢者2人に交付しま ース方式で80灯、ま 、中央三・四丁目地
	台を撤去しました。	成である八潮駅周辺で自 	
	課題はほとんどない	●ある程度課題がある	大きな課題がある
課題	う状況を踏まえ、更な ・子どもが巻き込まする状況を踏まえ、必要 る状況を踏まえ、必要 る。 ・街路築造に伴い交通 優先順位を設けながら	自転車事故死傷者数が県金の対策・取組が必要でいる悲惨な交通事故が全にる悲惨な交通事故が全になる変の指導員を確保している要望のででは、 通安全施設に対する要望のである必要が、 の適切に整備する必要が、 の数等付近の放置自転車対象	ある。 国各地で発生してい 配置する必要があ が多くなっており、 ある。

4. 節の評価(部が展開する節の総合評価)

総合評価	評価理由
なな	交通安全教室の開催回数や参加者数は減少したが、内容の充実を図って取り組んでいる。また、道路照明灯の設置に当たりリース化するなど工夫して取り組んでいる。さらに、交通事故件数が減少している状況から、概ね順調に成果があがっていると評価する。

5. 今後の方針(部が展開する節の方針)

	■ 現状のまま推進 見直して推進 大幅に見直して推進
方向性	■ 重点化(拡充) 縮小 その他
施策の展開方針	・近年、自転車事故対策で成果を上げている草加市や戸田市の取組などを参考に対策を検討する。 ・通学路安全点検事業を通じて警察、学校、道路管理者と連携し子どもの安全を確保する。 ・土地区画整理事業施行者と連携し、街路築造の進捗状況にあわせて計画的に交通安全施設を整備する。 ・八潮駅南口商業施設等の管理者に対し、自転車の適切な管理について指導する。
■重点事業(6	『で5事業まで)

		施領	€⊐-	ード	施策の内容	事務事業
		章	節	施策	ル束の内谷	争伤争未
1		03	05	01	交通安全意識の高揚	交通安全指導・教育事業
2	2	03	05	01	交通安全意識の高揚	交通安全運動推進事業
3	3	03	05	02	交通安全施設の整備	交通環境整備事業
4	1	03	05	02	交通安全施設の整備	放置自転車対策事業
Ę	5					

※施策(節)を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆:順調(最終目標達成に向け、順調に成果があがっている) ☆:遅れ(このままでは、最終目標の達成が難しい)

主 施第	を コー		市农市业力	_	_			→ロル=m	H30年度事業費	-m 85	纵入冠压		投入	資源
体 章	節	施策	事務事業名	要	戦略	約	担当部	担当課	(決算額:千円)	課題	総合評価	方向性	事業費	労働量
1 03	05		交通安全指導・教育事業				生活安全部	交通防犯課	14, 371	0	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
1 03	05	01	交通安全運動推進事業				生活安全部	交通防犯課	2, 612	0	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■ 03	05	02	放置自転車対策事業				生活安全部	交通防犯課	15, 454	0	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■ 03	05		路上放置自動車等対策推進事業				生活安全部	交通防犯課	22	0	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■ 03	05	02	駐車場整備促進事業				生活安全部	交通防犯課		0	$\triangle \triangle \triangle$	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■ 03	05	02	交通環境整備事業				生活安全部	交通防犯課	95, 749	0	2	現状のまま継続	現状維持	現状維持
\sqcup														
\sqcup														
			▼ ====================================				+ 7 fp + ===== / i + ====== / i + ============		128, 207				- WT - M	A 10 L

総合計画の体系	章(施策の柱)	3	防災・防犯・消防・救急	担当部	市民活力推進部	
応口引回の作示	節	6	安全・安心で豊かな消費生活づくり	1년 크 미		

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 (10年後の八潮 市では)

自助、共助、公助の考え方が広く市民に定着し、日頃から防災・減災に向けた市民、地域、行政の連携が図られ、地震や台風等の自然災害、感染症や大規模な事故等の危機に備えています。 また、市民、地域、行政が協働し、地域の安全な生活を守り、犯罪や交通事故の少ない、誰もが安心して暮らせるまちとなっています。

基本目標

様々な消費者が、消費生活について情報を取得し、学ぶことによって、自ら判断し適切に行動することができ、安全・安心で豊かな消費生活を送っています。 また、トラブルに陥った際には相談できる環境が整っています。

	<u> </u>	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	成果指標		計画・目標	計画・目標	計画・目標		計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	消費生活セミナー等講座数と参加者数	1 回 64人	-	_	_	_	2回 70人	_	_	-	_	2回 76人
1)	付負工位と、/ ・ 守碑圧奴と参加省 奴	_	1回 41人	1回 28人	1回 35人							
2	消費生活相談件数	332件	-	_	_	_	363件	_	_	_	_	390件
	[1] 工位作伙厅奴	_	369件	377件	423件							
3			1	_	-	_				1	_	
(3)		_										
4			1	_	-	_				1	_	
4)		_			·					·		
(5)			_	_	_					_	_	
(3)		_										

	施策の内容	H30年度	事務事業数		総合評価		担当課
		事業費 (千円)	事 物事未致	順調	概ね順調	遅れ	担当体
	自立した消費者の育成	185	1	0	1	0	商工観光課
	消費者保護対策の推進	5, 915	1	0	1	0	商工観光課
3	消費者団体の育成・協働	13	1	0	1	0	商工観光課
4							
5							
6							
7							
8							
9							
	計	6, 113	3	0	3	0	

総合計画	章(施策の柱)	3 防	5災・防犯・消防・救急	評価主体	(部名)	市民活力推進部
の体系	節	6 安	ぞ全・安心で豊かな消費生活づくり	評価	者名	鈴木 圭介
						が主体的かつ合理的に判断し、消費行動がとれるよる情報の提供を行うとともに、消費生活に関するト
推進する	ラブルを未然に防」	上するた	ため、消費者啓発パネル展を開催する。			
			として、消費生活に関する相談及び多重債務問 て、市内消費者団体が自主的に行う消費生活に			

4. 節の評価(部が展開する節の総合評価)

総合評価	評価理由
なな	①消費生活相談を月曜日から金曜日まで開設し、多くの消費者トラブルの解決につながった。 ②消費生活展、消費生活セミナー及び消費者啓発パネル展を開催するとともに、高齢者に出前講座等において啓発品を配布するなど、消費者向けの啓発に努めた。

5. 今後の方針(部が展開する節の方針)

<u>5.</u>	今後	きのと	万 針	(部が展開する)	か万針	.)						
				●現状のまま推進	見	直して推進	<u>É</u>	大幅に見直して	て推進			
	方向	性		-	>	重点化	:(拡充)	縮小				
	施策展開フ	方 針	① 日 た に な 害 ② ③ ④ 座 ⑤	説明) 消費生活センション 治の消費生活を 一次のででででででいます。 一次でのでででででいます。 一次でのでででででできます。 一次でのででででいます。 一次でのででででいます。 一次でのでででいます。 一次でのできます。 一次できます。 一次で。 一次で。 一次で。 一次で。 一次で。 一次で。 一次で。 一次で	週員相け 催一す品 5に談ら すをいを る開消配	のるがる のるがる 。催費布 を る。 を る。 を る。 る。 である。	生活の設は、	次を継続して 次を継続して を を が が が は は は は は は は は は は は は は	実施する。 企確保すること ではいる ではいる ではいる ではいる ではいる ではいる ではいる ではいる			
		<u>ディー</u>										
	章	節	施策	施策の	内容			事務事	業			
1	03	06	01	自立した消費者	の育成		消費生活	活情報提供事業				
2	03	06	02	消費者保護対策	の推進		消費生活	舌相談事業				
3	03	06	03	消費者団体の育	成・協	働	消費者因	団体活動費補助事業				
1												

※施策 (節) を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆:順調(最終目標達成に向け、順調に成果があがっている) ☆:遅れ(このままでは、最終目標の達成が難しい)

													NO. I	
主 施体 章	策コ	ード 施策	事務事業名	主要	戦略	公約	担当部	担当課	H30年度事業費 (決算額:千円)	課題	総合評価	方向性	投入 事業费	資源 労働量
a 0:	3 06	01	消費生活情報提供事業		гн	41.3	市民活力推進部	商工観光課	185	0	☆☆	現状のまま継続		
1 03			消費生活相談事業					商工観光課	5, 915	0	☆ ☆	現状のまま継続		
1 03			消費者団体活動費補助事業					商工観光課	13	0	☆☆	現状のまま継続		
								, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,						
		-												
	-			_										
-														
		+												
		\perp												
		<u> </u>												
			F-m a- 1		6, 112	部の事	業費計							

総合計画の体系 章 (施策の柱) 4 産業経済・観光 担当部 □ 市民活力推進部 は 環境にやさしい魅力ある都市型農業づくり

1. 節の概要

分野別将来目標

(10年後の八潮

市では)

※●は評価主体

| 地域の特性を活かした様々な産業が発展しています。 | 付加価値の高い農産物が生産され、市内のみならず間

付加価値の高い農産物が生産され、市内のみならず市外からも人気 を得ています。市民は、市内各地の魅力あふれる店舗で買い物をす ることができます。

また、工場が集積しているまちとして発展し、新たな事業も生まれ、働く機会が増えています。

八潮市の財産である水辺環境等が観光に活用され、多くの人が訪れ る、にぎわいや活力のあるまちとなっています。 基本目標

農家が付加価値の高い農産物を生産し、農商工連携に取り 組むことで、新たな事業を生み出し、販路を拡大していま す。また、市民が日頃から市内の農業に親しむとともに、 地産地消の考え方が普及し、市内で生産された農産物の消 費が拡大しています。

۷.	天心和木	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	成果指標			計画・目標							計画・目標	
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	認定農業者数	27人	_	_	_	_	28人	_	_	_	_	30人
1)	此人成未有数	_	43人	43人	43人							
2	直売所利用者数	65, 236人	_	_	_	_	72,000人	_	_	_	_	80,000人
2	E.九///中///1省 数	_	76,877人	71, 114人	65, 352人							
3	S-GAP登録農園数	0ヶ所	_	_	_	_	2ヶ所	_	_	_	_	3ヶ所
0	D Uni 立然展图数	_			0ヶ所							
4			_	_	_	_		_	_	_	_	
4		_										
5			_	_	_	_		_	_	_	_	
9		_										

	施策の内容	H30年度	事務事業数		総合評価		担当課
	一	事業費(千円)		順調	概ね順調	遅れ	担国味
	農業の担い手の育成・確保	4, 567	2	0	2	0	都市農業課
	都市と共生した農業環境の促進	120	1	1	0	0	都市農業課
3	地産地消の推進と農産物のブランド化	3, 488	2	0	2	0	都市農業課
4	農地の保全と有効活用の促進	24, 210	2	1	1	0	都市農業課
5	農商工連携事業の振興	1	1	0	0	1	都市農業課
6							
7							
8						•	
9						•	
	計	32, 386	8	2	5	1	

総合計画	章(施策の柱)	4	産業経済・観光	評価主体(部名)	市民活力推進部
の体系	節	1	環境にやさしい魅力ある都市型農業づくり	評価者名	
評価主体が			き継ぎつつ、更に時代の要請に応えた施策を推進するた や担い手となる農業後継者、意欲ある認定農業者の育成		
推進する施策の概要	市民農園や農業体験	食等る	ます。安全安心な農産物を供給するために農薬などの使を活用し、市民と農業のふれあい事業を実施していくと	ともに、八潮産農産	物の地産地消の拡大を図り「やしお八つの野菜」の
	ファンド化を発信する場所がある。		とともに、6次産業化の整備による新たな業態の創出の 意整備を図ります。	研究をしていきます	。また、都巾農地の保全や曷西用水、八条用水への

(説明) 農業近代化施設導入事業、農業用包装資材購入事業等に対しての 補助、市内農業者団体への助成等支援を実施した。また、JAさ いかつと連携して中川周辺農地を農地利用集積円滑化事業により 農地の集積化事業を促進した。 施策の 農業者による農業体験事業や農業団体による収穫体験を実施し、 実施状況 都市農業への理解を深めることができた。 農業祭及び農商工連携事業である「枝豆ヌーヴォー祭、枝豆大感 謝祭、夜市(枝豆感謝祭)」を開催し、八潮の安全、安心、新鮮 でおいしい農産物の販売とPRに努めた。 また、葛西用水路、八条用水路へ渇水期に通水を行った。 ●課題はほとんどない ある程度課題がある 大きな課題がある 全国的な傾向と同様であるが、都市農業が中心の本市においては 特に、農業者の高齢化による遊休農地化や後継者不足が懸念され るため、担い手となる団体および人材の育成が必要である。ま た、直売所の充実を図るため、IAさいかつと連携して安全で新 鮮な農産物の安定供給や、こまちゃん工房等による新たな加工品 課題 の開発など、販売品目を充実し、集客の増加と安定化が必要であ 「やしお八つの野菜」を広くPRしていくため、イベント等での 積極的な周知を行うとともに、都市型農業の推進を図るためガー デンコミュニティ制度等の普及や農業体験事業等の充実が求めら れる。

4. 節の評価(部が展開する節の総合評価)

総合評価	評価理由
☆☆ 概ね順調	基本計画の方針を引き継ぎつつ、更に時代の要請に応えた施策を推進するため平成30年度に改訂した第二次八潮市都市農業振興基本計画に基づき各事業は着実に実施されており、「やしお八つの野菜」をPRするために、農業祭や枝豆大感謝祭などのイベントを通じた活動が実施されている。また、農業者団体も積極的に活動をしており、農業者の育成等が図られている。

5. 今後の方針(部が展開する節の方針)

方向性▶ 重点化(拡充) 縮小 その他
単点10(拡充) 利47 その他
(説明) 基本計画の方針を引き継ぎつつ、更に時代の要請に応えた施策推進するため平成30年度に改訂した第二次八潮市都市農業振興本計画に基づき、関係農業団体と連携を図りながら農業振興と業者に対する支援の充実を図る。 八潮市直売所連絡協議会と連携を図り、各種イベントを通じた産地消の推進を図るとともに「やしお八つの野菜」のブランドを推進する。 農業後継者の育成や農業経営に必要な園芸設備、梱包資材等の援、ふれあい農園・ガーデンコミュニティ制度等の普及に努める。 八潮市環境保全型農業推進協議会の事業を拡充し、都市型農業おける環境保全や農産物の安全性に配慮した農業を推進し、環にやさしい魅力ある都市型農業を目指していくとともに、6次業化に向け新たな業態の創出を研究していく。 JAさいかつと連携して中川周辺農地を含む市街化調整区域にける農地利用集積円滑化事業を促進する。

■重点事業(部で5事業まで)

	里	. 尽 手	*	יום /	り事末より				
		施領	€コ-	ード	施策の内容	事務事業			
		章	節	施策	ル東の内谷	学 协学术			
	1	04	01	01	農業の担い手の育成・確保	経営体支援事業			
	2	04	01	01	農業の担い手の育成・確保	農業の担い手育成事業			
,	3	04	01	03	地産地消の推進と農産物のブランド化	ふれあい農業促進事業			
4	4	04	01	03	地産地消の推進と農産物のブランド化	地産地消推進事業			
ļ	5	04	01	02	都市と共生した農業環境の促進	環境保全型農業推進事業			

※施策(節)を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆:順調(最終目標達成に向け、順調に成果があがっている) ☆:遅れ(このままでは、最終目標の達成が難しい)

								· ·	は計画主体を表す NO.1								
主体	施領章	ラコー 節		事務事業名	主要	戦略	公約	担当部	担当課	H30年度事業費 (決算額:千円)	課題	総合評価	方向性	投入 事業費			
	<u>무</u>	8 1		経営体支援事業	_	ΨД		市民活力推進部	都市農業課		0	☆☆	現状のまま継続				
	04	01		農業の担い手育成事業				市民活力推進部	都市農業課	3, 909	0	~ ~ ~ ☆☆					
-										658							
\vdash	04	01		環境保全型農業推進事業				市民活力推進部	都市農業課	120	0	***	見直して継続				
	04	01		ふれあい農業促進事業				市民活力推進部	都市農業課	3, 125	0	☆☆					
-	04	01		地産地消推進事業				市民活力推進部	都市農業課	363	0	☆☆	現状のまま継続				
-	04	01		幹線農業水利施設管理事業				市民活力推進部	都市農業課	1, 642	0	☆☆☆					
	04	01		農地保全事業				市民活力推進部	都市農業課	22, 568	0	☆☆	現状のまま継続				
	04	01	05	6次産業化促進事業				市民活力推進部	都市農業課	1		☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持		
H																	
H																	
H																	
H																	
H																	
\vdash																	
H																	
\vdash																	
Ш																	
Ш																	
Ш																	
H																	
										32, 385	部の事	業費計		<u> </u>			
										52,000	H1. 42 J	71 74 H I					

総合計画の体系	章(施策の柱)	4 産業経済・観光	担当部	● 市民活力推進部
「花口可四の本木	節	2 魅力あふれる商業づくり	1년 크 미	

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 (10年後の八潮 市では)

|地域の特性を活かした様々な産業が発展しています。

付加価値の高い農産物が生産され、市内のみならず市外からも人気 を得ています。市民は、市内各地の魅力あふれる店舗で買い物をす ることができます。

また、工場が集積しているまちとして発展し、新たな事業も生まれ、働く機会が増えています。

八潮市の財産である水辺環境等が観光に活用され、多くの人が訪れる、にぎわいや活力のあるまちとなっています。

基本目標

市民は、地域に密着した魅力ある店舗が並ぶ商店街で、生活に必要な多くの商品を購入することができます。また、 八潮駅周辺を中心とした商業拠点が形成され、たくさんの 来訪者が市外からも買い物に訪れています。

	大旭和木	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	成果指標		計画・目標	計画·目標	計画·目標							計画·目標
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
1	八潮駅周辺地区における商店街組織数	0件	_	_	_	_	1件	_	_	_	_	2件
1)	アイ州が八月22日区(C431) 公旧11日月11日 (MXXX	_	0件	0件	0件							
2	商店会加盟店数	89店	_	_	_	_	115店	_	_	_	_	130店
2	同乃云州血乃数	_	78店	76店	73店							
3			_	_	_	_		_	_	_	_	
0		_										
4			_	_	_	_		_	_	_	_	
4)		_										
(5)			1	_		_			-	_	l	
3)					_				·			

	施策の内容	H30年度	事務事業数		総合評価		担当課		
		事業費 (千円)	争伤争未效	順調	概ね順調	遅れ	担当床		
1	経営安定化の促進	19, 608	3	0	3	0	商工観光課		
2	商業環境の整備	542	1	0	1	0	商工観光課		
3	中心商業拠点の形成	2, 493	1	0	1	0	商工観光課		
4									
5									
6									
7									
8									
9									
	計	22, 643	5	0	5	0			

総合計画	章(施策の柱)	4	産業経済・観光	評価主体(部名)	市民活力推進部						
の体系	節	2	魅力あふれる商業づくり	評価者名	鈴木 圭介						
	①地域に密着したイベントや販売促進に結びつく各種事業を支援することにより、商店街の活性化等を促進する。										
評価主体が			Y 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2								
推進する	②インターネットを	:活月	用した商店会情報の提供や空き店舗等を活用した新たな	取組を支援し、魅力	ある商店街づくりを推進する。						
施策の概要	また、本市での商業やサービス業の創業を支援する。										
	③八潮駅周辺を中心とする地域において、魅力ある商業拠点の形成を推進する。										

3. 即の分析	(部か展開する即の分析	017							
	(説明)								
施策の 実施状況	①八潮市商工会さくらカード会に対して補助金を交付した。 ②小規模事業者の振興と経営の安定を図るため、その支援を行う 八潮市商工会に対して補助金を交付した。 ③商店会が行った、イベント、共同売出に対して補助金を交付した。 ④一店逸品運動参加店等3店舗に対し、アドバイザーを派遣した。また、3商店会に対して装飾型街路灯電気料の50%を補助した。 ⑤魅力ある八潮駅周辺商業拠点を形成するため、八潮駅周辺商業者等の意向等アンケート調査を実施し、意向等を確認した。								
課題	①大規模小売店舗の選点の個店の人工を開展の選問では、2 では、2 では、2 では、2 では、2 では、2 では、2 では、2	事業補助金の対象となるだめ、既存商店会の賑わい のり、既存商店会の賑わい 公要がある。 2商業拠点を形成するため	密着した個店が減少 る「さくらカード事 いるため、利用者を 舌動を行っているの いを創出し、商店会						

4. 節の評価(部が展開する節の総合評価)

総合評価	評価理由
☆☆ 概ね順調	八潮駅周辺を中心とする地域において、魅市ある商業拠点の形成 を推進するため、八潮駅周辺商業者等の意向等アンケート調査を 実施し、店舗等の意向等の把握を行うことができた。

5. 今後の方針(部が展開する節の方針)

	現状のまま推進 ● 見直して推進 大幅に見直して推進
方向性	
	▶ ■ 重点化(拡充) 縮小 その他
施策の 展開方針	(説明) ①地域に密着した魅力ある店舗を増加させるため、従来からの支援策である、八潮市商工会さくらカード会への補助等を継続しながら、先進自治体の情報を調査研究し、新たな支援策を展開する。②八潮市商工会に必要な補助金を交付し、市内小規模事業者の振興と経営の安定を図る。③商店会の活性化については、現状の共同売出しやイベントへの補助金を継続していきながら、地域に密着した魅力ある商店会として活性化していくよう、先進自治体の事例等の調査研究を行う。 ④「商業&観光元気UPサイト」において、一店逸品運動参加店等をPRする。 ⑤令和元年度に実施する「八潮駅周辺商業魅力UPセミナー」を通じて組織化等に向けた気運の醸成を図り、必要な支援を行う。

■重点事業(部で5事業まで)

= =	一杯子	*	יום)	リザ木の()				
	施策コード			施策の内容	事務事業			
	章	節	施策	心束の内谷	学 协学术			
1	04	02	01	経営安定化の促進	商工団体補助事業			
2	04	02	01	経営安定化の促進	商店街活性化推進事業			
3	04	02	01	経営安定化の促進	商業振興事業			
4	04	02	02	商業環境の整備	商業支援事業			
5	04	02	03	中心商業拠点の形成	中心商業拠点の形成事業			

※施策(節)を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆:順調(最終目標達成に向け、順調に成果があがっている) ☆:遅れ(このままでは、最終目標の達成が難しい)

【別似】即で構成する事物事業の計画相案(2/	は計画土体で衣り	NU.						
主体	施策	ぎコ- 節	ード 施策	事務事業名	主要	戦略	公約	担当部	担当課	H30年度事業費 (決算額:千円)	課題	総合評価	方向性	投入 事業費	資源 労働量	
	04	02	01	商工団体補助事業		гн	11.5	市民活力推進部	商工観光課	18, 360	0	☆☆	現状のまま継続			
		02		商店街活性化推進事業					商工観光課	418	0	☆☆				
	04	02		商業振興事業					商工観光課	830	•	☆☆	見直して継続	現状維持	現状維持	
	04	02	02	商業支援事業					商工観光課	542	•	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持	
	04	02	03	中心商業拠点の形成事業				市民活力推進部	商工観光課	2, 493	0	☆☆	見直して継続	増加	増加	
Ш																
\mathbb{H}																
\vdash																
H																
H																
\vdash																
\mathbb{H}																
H																
H																
\mathbb{H}																
H					-											
H																
H																
H																
										22, 642	部の事	上 業費計				
										22,012	コレマノ子	- A 54 III				

総合計画の体系	章(施策の柱)	4	産業経済・観光	担当部	市民活力推進部	
応口引回の体系	節	3	活力ある工業づくり	THE		

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 (10年後の八潮 市では)

|地域の特性を活かした様々な産業が発展しています。

付加価値の高い農産物が生産され、市内のみならず市外からも人気 を得ています。市民は、市内各地の魅力あふれる店舗で買い物をす ることができます。

また、工場が集積しているまちとして発展し、新たな事業も生まれ、働く機会が増えています。

八潮市の財産である水辺環境等が観光に活用され、多くの人が訪れる、にぎわいや活力のあるまちとなっています。

基本目標

工業を取り巻く環境が充実するとともに、市内外に誇れる 八潮ブランド品が創出され、その結果、市内事業所の受発 注が拡大しています。

۷.	关	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	成果指標			計画・目標				計画・目標			計画・目標	
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
1	経営革新計画承認件数	47件	_	_	1	_	55件	_		1	1	65件
1)		_	59件	64件	74件							
	融資あっせん件数	23件	_	_	_	_	62件	_	_	_	_	72件
2	放貝のプラビル庁数	_	36件	20件	5件							
3			_	_	_	_		_	_	_	_	
0		_										
4			_	_	-	_		_	_			
4)		_										
(5)			_	_	_	_			_	_	_	
		_										

	施策の内容	H30年度	事務事業数	総合評価			担当課	
		事業費 (千円)	争伤争未效	順調	概ね順調	遅れ	担当床	
1	経営近代化の促進	164, 455	2	1	1	0	商工観光課	
2		418	2	0	2	0	商工観光課	
3	新時代に対応する工業の育成	15, 607	2	1	1	0	商工観光課	
4								
5								
6								
7								
8								
9								
	計	180, 480	6	2	4	0		

総合計画	章(施策の柱)	4	産業経済・観光	評価主体 (部名)	市民活力推進部			
の体系	節	3	活力ある工業づくり	評価者名	鈴木 圭介			
			して、中小企業の経営の近代化を促進するため、融資制 分種事業と連携した取組を進める。	度を充実させる。経	営革新と組織の近代化を促進するため、経営指導を			
評価土1年か	②工業環境の整備として、住工混在地域について、生活環境への影響がないよう継続的な操業に向けた取組を推進する。出前講座の工場見学等を通じ							
佐竿の無声	て、市民に市内工業 ③新時代に対応する		ℓ解を促進する。 €の育成として、新製品の開発や新たな研究に対する支	援を行い、新時代に	対応する工業を育成する。八潮ブランド認定品を事			
			5の知名度アップと地域の活性化を図る。					

3. 則の別例	(部か展開する即の分析	מו או	
施策の 実施状況	た。 また、出前講座(民間 し市内企業のPRを図 ③住宅改修資金補助 ④八潮市優良技術者及	刊子補給金対象者に対し、 引企業編)の工場見学等る 図った。	を通じて、市民に対 た。
課題	続き八潮市商工会等を ②平成28年に策定し 規創業者の支援を充り ③市内産業の活性化に るにあたり適切な財源 ④八潮ブランド認定品	● ある程度課題がある が安いため制度融資の利用を通じてPRを行っている。 と通じてPRを行っている。 とはせていくことが必要をはなる、住宅改修資金の確保が必要となる。 品を活用した、本市の知る。 内なPR方法を検討する。	く。 基づき、より一層新 である。 金補助事業を継続す 名度アップと地域の

4. 節の評価(部が展開する節の総合評価)

	(HIP (ACIDITY OF ALTERNATION AND ALTERNATION A
総合評価	評価理由
かな	①制度融資は、小口融資5件で34.500千円を実行した。 ②創業支援事業計画に基づく事業を八潮市商工会と連携して実施することが出来た。 ③市内で製造・生産された優れた製品3製品を「八潮ブランド」として認定した。

5. 今後の方針(部が展開する節の方針)

	現状のまま推進 ● 見直して推進 大幅に見直して推進
方向性	
施策 <i>の</i> 展開方針	(説明) ①「八潮市製造業実態調査報告書」によると、八潮市の工業振興施策の中で、「制度融資の充実」の割合が高かったことから、引き続き制度融資の充実を図る。 ②経営革新計画を策定する意向のある事業者に対して、専門家の派遣を行い、承認件数の増加を目指す。 ③工場移転利子補給制度を実施することで、市内で継続して操業できる環境整備を目指す。 ④市内に立地を希望する事業者への立地可能な土地情報が、市単独では把握が困難であるため、引き続き埼玉県企業立地課との連携を図る。 ⑤ヒトである八潮市優良技術者及び技能者表彰と、モノである八潮ブランド認定品を両輪として、市内外に情報発信することで、八潮市の知名度アップと地域の活性化を図り、販路拡大と受注機会の促進を図る。

■重点事業(部で5事業まで)

_==	ᇀᇭᆍ	**	י יום י	・0 尹木よく/	
	施策コード			施策の内容	事務事業
	章	節	施策	ル東の内谷	学 协学术
1	04	03	03	新時代に対応する工業の育成	工業振興事業
2	04	03	01	経営近代化の促進	中小企業向け制度融資事業
3	04	03	02	工業環境の整備	工業支援事業
4	04	03	03	新時代に対応する工業の育成	市内生産品等展示事業
5	04	03	01	経営近代化の促進	経営革新取組企業支援事業

※施策(節)を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆:順調(最終目標達成に向け、順調に成果があがっている) ☆:遅れ(このままでは、最終目標の達成が難しい)

【別似】即と特成する事務事業の計画相案(対象年度1100年度) ※■は計画主体を表す													NO. I		
主体	施策章	〔コー 節	- ド 施策	事務事業名	主要	戦略	公約	担当部	担当課	H30年度事業費 (決算額:千円)	課題	総合評価	方向性	投入 事業費	
	04	03	01	中小企業向け制度融資事業				市民活力推進部	商工観光課	164, 435	0	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	04	03		経営革新取組企業支援事業					商工観光課	20	0	2	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	04	03	02	工業支援事業					商工観光課	418	0	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
		03		企業立地推進事業					商工観光課		0	☆☆	現状のまま継続		
	04	03		工業振興事業				市民活力推進部	商工観光課	15, 405	•	$^{\uparrow}$		現状維持	
	04	03	03	市内生産品等展示事業				市民活力推進部	商工観光課	201	0	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
Ш															
+															
-															
\vdash						-									
\vdash						-									
\vdash															
\vdash															
+															
+						-									
+															
+															
+															
						L	<u> </u>			180, 480	部の連	*			
										100, 400	ロウレン手	木貝司			

総合計画の体系	章(施策の柱)	4	産業経済・観光	担当部	市民活力推進部	
応口引回の体示	節	4	水と花にふれあう観光づくり	1년 크 미		

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 (10年後の八潮 市では) 地域の特性を活かした様々な産業が発展しています。

付加価値の高い農産物が生産され、市内のみならず市外からも人気 を得ています。市民は、市内各地の魅力あふれる店舗で買い物をす ることができます。

また、工場が集積しているまちとして発展し、新たな事業も生まれ、働く機会が増えています。

八潮市の財産である水辺環境等が観光に活用され、多くの人が訪れ る、にぎわいや活力のあるまちとなっています。 基本目標

「中川やしおフラワーパーク」と「水辺の楽校」が充実し、安心して気軽に水に親しめる環境が整っています。また、市の花に追加指定された「花桃」を市内各所で観賞することができ、多くの人でにぎわっています。 市民や関係団体等がともに協力して、様々な観光イベント

市民や関係団体等がともに協力して、様々な観光イベントを催し、多くの観光客が本市を訪れるようになり、市内での購買額が増加し、産業の振興に役立てられています。

	人 尼 ········	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	成果指標		計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標		計画・目標	計画・目標	
		実績	実績	実績	実績	実績						
1	入込観光客数	204千人	_	_	_	_	210千人	_	_	_	_	215千人
1)	八心賊儿旮奴	_	235千人	80千人	200千人							
2	ものづくりの見学人数	91人	_	_	_	_	250人	_	_	_	_	300人
2	しいラくりの元子八級	_	146人	237人	336人							
3			_	_	_	_			1	_	_	
0)		_										
			_	_	_	_			1	_	_	
4		_										
(5)			_	_	_	_		_	_	_	_	-
3)		_										

	施策の内容	H30年度	事務事業数		総合評価		担当課
		事業費(千円)	争份争未致	順調	概ね順調	遅れ	担国誌
1	観光の振興	15, 454	1	1	0	0	商工観光課
2	産業観光の促進	0	1	0	1	0	商工観光課
3	観光情報の提供	195	1	1	0	0	商工観光課
4							
5							
6							
7							
8							
9							
	計	15, 649	3	2	1	0	

総合計画	章(施策の柱)	4	産業経済・観光	評価主体 (部名)	市民活力推進部
の体系	節	4	水と花にふれあう観光づくり	評価者名	鈴木 圭介
評価主体が 推進する 施策の概要	賑わいを創出すると	: 2 1	(一社) 八潮市観光協会やNPO等と連携し、水と花をらに、新たな観光資源・観光イベントの創設に取り組むて、工場見学等の様々な産業に関する観光資源を活かし	0	

O .	(中か、成用する即のカル)	
施策の 実施状況	(説明) ① (一社) 八潮市観光協会が実施した各種活②商業&観光元気UP!サイトを活用し、イ行った。 ③花桃を活用したまちづくりを進めるため、え替え事業の支援や、首都圏桃源郷づくり構を実施した。 ④水辺の楽校で、中川やしお子どもの水辺運るイベントの開催や維持管理、施設のPRを	ベント情報の発信を 老木化した花桃の植 想に基づく各種事業 ご営協議会の主催によ
	課題はほとんどない ● ある程度課題がある ①水辺の楽校下流側の中川河川敷における包 て、中川やしおスポーツパークが完成したた	
課題	わりで連携する必要がある。 ②市の「ものづくり」や地域資源、「やしお観光振興策として活用する必要がある。 ③ (一社) 八潮市観光協会の組織充実を支援 ④水辺の楽校の日常の管理を担う「中川やし協議会(事務局は商工観光課)」の安定的ながある。	する必要がある。 お子どもの水辺運営

4. 節の評価 (部が展開する節の総合評価)

総合評価	評価理由
☆☆	①水辺の楽校を含めた中川河川敷の包括占用区域の活用により、 観光資源の充実を図ることができた。 ②(一社)八潮市観光協会による観光イベントの開催を支援した。 ③各種観光関連機関に観光情報を提供するとともに、都市商工行 政連絡協議会を構成する自治体(9市)と連携して、相互に観光 事業でPR活動を行い、観光客の増加を促進した。

5. 今後の方針(部が展開する節の方針)

	現状のまま推進 ● 見直して推進 大幅に見直して推進
方向性	重 重点化(拡充) 縮小 その他
施策の 展開方針	(説明) ① (一社) 八潮市観光協会やNPO等と連携し、水と花をテーマとした観光の充実を支援する。 ②水辺の楽校の運営・管理を中川やしお子どもの水辺運営協議会とともに行い、本市の特徴である「水辺空間」の魅力を高め、観光客数の増加につなげる。 ③八潮夜市等により、駅前の賑わいを創出するとともに、新たな観光資源・観光イベントの創設に取り組む。 ④工場見学をはじめとする様々な産業にまつわる観光資源を活かし、継続的な収益を生み出すことが可能な観光事業の実施を支援する。 ⑤つくばエクスプレス沿線の自治体を含む関係機関と連携を図り、より効果的な観光情報の提供に努める。 ⑥観光情報をインターネット経由で発信するほか、様々な媒体を活用して、市内外に積極的に情報提供する。

■重点事業(部で5事業まで)

- 1	= =	・ホチ	*	יום)	リザ木の()						
Ī		施領	€コ-	ا بر	施策の内容	事務事業					
		章	節	施策	ル東の内谷	予切					
Ī	1	04	04	01	観光の振興	観光資源開発事業					
	2	04	04	02	産業観光の促進	ものづくり体験見学会実施事業					
Ī	3	04	04	03	観光情報の提供	観光情報充実事業					
Ī	4										
Ī	5										

※施策(節)を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆:順調(最終目標達成に向け、順調に成果があがっている) ☆:遅れ(このままでは、最終目標の達成が難しい)

	【														
主体	施策 音	コー	- ド 施策	事務事業名	主要	戦略	公約	担当部	担当課	H30年度事業費 (決算額:千円)	課題	総合評価	方向性	投入	資源 労働量
)4	04	01	観光資源開発事業				市民活力推進部	商工観光課	15, 454	0	☆☆☆	現状のまま継続	増加	増加
)4	04		ものづくり体験見学会実施事業		_	_		商工観光課	0	0	☆☆	現状のまま継続		
				観光情報充実事業					商工観光課	195	0	☆☆☆	現状のまま継続		
	, 1	V 1		P070113 1K707C 7F 7K	┢═			110201073127210	101 1917 C 191K	100		777	уду с эт эт эт длуг	20000	2011/101
\vdash															
\vdash	_														
					15, 649	部の事	· 美賀計								

1. 節の概要

分野別将来目標

(10年後の八潮

市では)

※●は評価主体

地域の特性を活かした様々な産業が発展しています。

付加価値の高い農産物が生産され、市内のみならず市外からも人気 を得ています。市民は、市内各地の魅力あふれる店舗で買い物をす ることができます。

また、工場が集積しているまちとして発展し、新たな事業も生まれ、働く機会が増えています。

八潮市の財産である水辺環境等が観光に活用され、多くの人が訪れる、にぎわいや活力のあるまちとなっています。

基本目標

様々な労働者が、適切な労働環境のもといきいきと働き、 生活を送っています。

	大心们不	1日北広	山20左南	山の左岳	山20年中	D1左座	D0左座	D2左座	D/L左 庄	DE左击	DC左由	D7左由
	n 11- 1	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	成果指標			計画・目標	計画・目標		計画・目標	計画・目標		計画・目標	計画・目標	計画・目標
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	中小企業退職金共済加入者数	112人	_	_	_	_	198人	_	_	_	_	212人
1)	中小正未超椒並突視加八名数	_	128人	133人	146人							
2	若年者職業相談件数	28件	_	_	_	_	29件	_	_	_	_	33件
2	4 千 4 城来旧版日 数	_	11件	60件	85件							
3			_	_	_	_		_	_	_	_	
0		_										
4			_	_	_	_		_	_	_	_	
4		_										
5			_	_	_	_		_	_	_	_	
		_										

	施策の内容	H30年度	事務事業数		総合評価		担当課
		事業費 (千円)	争伤争未效	順調	概ね順調	遅れ	
	労働福祉の充実	14, 528	3	0	3	0	商工観光課
2	就業環境の整備促進	9, 852	1	0	1	0	商工観光課
3	労働教育の推進	276	1	0	1	0	商工観光課
4	雇用の安定	3, 390	1	1	0	0	商工観光課
5							
6							
7							
8							
9							
	計	28, 046	6	1	5	0	

総合計画	章(施策の柱)	4 産業経済・観光	評価主体(部名)	市民活力推進部
の体系	節	5 いきいきと働ける就業環境づくり	評価者名	鈴木 圭介
	①労働問題に関する	る情報の提供や相談業務の案内等、労働環境の改善に	向けた支援を行うとともに	、勤労青少年ホームの効率的な運営と施策を充実
評価主体が		冨祉の増進を促進する。また、中小規模の事業者が行		
推進する	②就業環境の整備と	こして、中小企業退職金共済補助事業及び勤労者住宅	資金融資あっせん事業を実	施する。
		る正しい知識や教養を深めることを目的に労働セミナ		
	④雇用の安定を図る	るため、草加公共職業安定所等と連携して就労情報を	・提供するとともに、内職相	談、若年者雇用定着支援補助事業を実施する。

O . M10771111	(間の展開する前の2017)	
施策 <i>の</i> 実施状況	(説明) ①勤労青少年ホーム及び勤労者体育センターの良好な維持管理は努めたほか、若年者就労相談を実施し、85件の相談があった。②中小企業退職金共済掛金補助事業により、24事業所、146人に補助金を交付した。 ③労働セミナーを開催し、30人の参加があった。 ④市役所本庁舎や駅前出張所等で求人情報紙を配布した。 ⑤内職相談を実施し74人が就業した。 ⑥八潮市ふるさとハローワークにおいて、自己検索機利用件数が3,659件、新規求職件数が860件、就職件数が303件であった。	3
課題	課題はほとんどない ● ある程度課題がある 大きな課題がある ① 勤労青少年ホーム及び勤労者体育センターは、築34年で老村化が進んでおり、計画的な修繕が必要であるが、大規模な修繕が必要となる場合は、アセットマネジメントの取り組みの方向性等を踏まえ対応する必要がある。 ② 労働セミナーは、より多くの参加者が集まるテーマを選定する必要がある。 ③ 若年者雇用定着支援補助金の活用に向け、ハローワーク草加と連携した継続的なPRを行う必要がある。 ④ 人潮市ふるさとハローワークの更なるPRを図り、利用者の境	が 辛 る こ
	加を図る必要がある。	∄

4. 節の評価(部が展開する節の総合評価)

· · Mis as Hillim	(HIP (ACIDITY OF ACIDITY III)
総合評価	評価理由
☆☆	①中小企業退職金共済掛金補助事業の補助件数が、平成29年度 比で13人増加の146人となり、市内中小企業に働く従業員の 福祉の増進と雇用の安定につながった。 ②八潮市ふるさとハローワークについては、平成29年度比では 就職件数が11件減少の303件であったものの、多くの方に利 用され、就業機会を確保することが出来た。

5. 今後の方針(部が展開する節の方針)

	■現状のまま推進	見	直して推進		大幅に見	見直して	推進	
方向性								
		>	重点化(拡	充)	縮	小	その他	ļ
施策の 展開方針	(説明) ① サイン 金をのと意くの定案による ・ は、 ・ は、 、 は、 、 は、 、 は、 、 は、 、 は、 、 は、 は 、 は 、 、 は 、 、 は 、 、 は 、 は 、 は 、 は 、 は 、 は 、 は 、 は 、 は 、 は	ト融図開も欲の知支所ハて共の資る催にが家を援とロP済和の一、日本	り 度 あさりをる助連ワを 知 に たらな対。制携一行 の い 、るらに の図の。 で 注 F、、 利る	た c io 川ろさ 向 、 目 R 働若 用。ら性 引 度をく者 を な	等 き が行こサ 促 る … 路 き ぃ、にー す 用	は ま P 労参関ト る 増 が	計 を 間者でテ め に い 等増みシ 引 け け まか まり け に 、 を加をョ き 、	.実 本 テを抱ン 続 各 .施 制 一図えと き 種

■重点事業(部で5事業まで)

= =	一杯子	**	יום)	リザ木の()					
	施領	長□-	ード	施策の内容	事務事業				
	章	節	施策	ル東の内谷	学 /万尹未				
1	04	05	01	労働福祉の充実	勤労青少年ホーム充実事業				
2	04	05	01	労働福祉の充実	勤労青少年福祉推進事業				
3	04	05	02	就業環境の整備促進	就業環境整備事業				
4	04	05	03	労働教育の推進	労働セミナー開催事業				
5	04	05	04	雇用の安定	雇用安定事業				

※施策(節)を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆:順調(最終目標達成に向け、順調に成果があがっている) ☆:遅れ(このままでは、最終目標の達成が難しい)

											NO. I				
主体	施第音	ラコー 節	- ド 施策	事務事業名	主要	戦略	公約	担当部	担当課	H30年度事業費 (決算額:千円)	課題	総合評価	方向性	投入 事業費	
	04	05	01	勤労青少年ホーム充実事業		гн	11.5	市民活力推進部	商工観光課	12, 979	0	☆☆	現状のまま継続		
	04	05		勤労青少年福祉推進事業					商工観光課	740	0	☆☆			
	04	05		労働者団体事業費補助事業					商工観光課	809	0	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	04	05		就業環境整備事業				市民活力推進部	商工観光課	9, 852	0	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	04	05		労働セミナー開催事業					商工観光課	276	0	☆☆	現状のまま継続		
	04	05	04	雇用安定事業				市民活力推進部	商工観光課	3, 390	0	2	現状のまま継続	現状維持	現状維持
Ш															
Ш															
Ш															
\sqcup															
Н															
H															
Н															
\vdash															
\vdash															
H															
\vdash															
H															
H															
H															
Ħ															
Ħ															
H															
Ħ															
Ħ															
П															
												_			
										28, 046	部の事	業費計			

総合計画の体系 章 (施策の柱) 5 都市基盤・環境 ●都市デザイン部 担当部 自然と調和した都市空間づくり

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 市では)

道路、公園、上下水道等の都市基盤及び公共交通の整備や、自然と 調和した良好な環境と景観に配慮した街並みの形成が進み、やすら (10年後の八潮 ぎと潤いを感じながら、市民が安全・快適に暮らしています。 また、市民が、主体的に美化活動や環境活動等に取り組み、地域の 生活環境を守るまちとなっています。

基本目標

自然環境と調和した均衡ある土地利用が図られたまちづく りが進められています。また、地域の特性を活かしたまち づくりが進められています。

	NO THE PROPERTY OF THE PROPERT	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	成果指標			計画・目標							計画・目標	
	,	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
1	土地利用方針図に沿った土地利用が図られ	372. 3ha	_	_	_	_	392. 4ha	_	_	_	_	446. 6ha
1	ている面積	_	372. 3ha	372. 3ha	372. 3ha							
2	都市計画制度や「八潮市みんなでつくる美 しいまちづくり条例」により地域特性を活	48. 3ha	_	_	_	_	92. 3ha	_	_	_	_	166. 3ha
	かしたまちづくりが行われている面積	-	92. 3ha	93. 3ha	93. 3ha							
3			_	_	_			_		1	_	
3		l										
4			_	_	_			_		1	_	
4		1										
5			_	_	_	_		_		_	_	
		_										

	施策の内容	H30年度	事務事業数	総合評価			担当課		
		事業費 (千円)	争伤争未致	順調	概ね順調	遅れ	担国味		
	均衡ある土地利用の推進	5, 137	1	0	1	0	都市計画課		
	地域の特性を活かしたまちづくりの推進	6, 892	2	2	0	0	都市計画課、開発建築課		
3	都市核と地域核の形成	8, 204	2	0	1	1	都市計画課		
4									
5									
6									
7									
8									
9									
_	計	20, 233	5	2	2	1			

総合計画	章(施策の柱)	5	都市基盤・環境	評価主体 (部名)	都市デザイン部					
の体系	節	1	自然と調和した都市空間づくり	評価者名	中村 史朗					
			月により、自然環境と調和した均衡ある土地利用を推進	します。						
評価主体が			昇発許可等の事務を適正に執行します。							
推進する	・八潮市みんなでつ	> < ?	る美しいまちづくり条例の運用により、地域特性を活か	したまちづくりを推	進します。また、市民主体による活動へ支援いたし					
施策の概要	既要									
	た拠点の形成を図り	まっ	<u>け。また、西部拠点については、民間の活力により協働</u>	事業として拠点形成	を図ります。					

O. BIOZZI	「一部が展開する即の方例)
	(説明)
	・都市計画審議会を3回開催し、2件の都市計画変更の手続き等
	を行った。 ・市街化調整区域まちづくり基本方針を策定した。
施策の	・都市計画法に基づく開発行為許可申請等及びまちづくり条例に
施泉の 実施状況	基づく開発事業申請等について適正に事務を執行し、良好なまち
	「づくりに誘導することができた。 「よれずくり名例に甘ざく「まれずくり 白書」などはよれ
	・まちづくり条例に基づく「まちづくり白書」を作成した。 ・(仮称)外環八潮スマートICの形状等について、東日本高速
	道路㈱などの関係機関と調整を行った。
	・西部拠点の形成に向け、公共公益施設の再検討を行った。
	課題はほとんどない ある程度課題がある
	・第5次総合計画等との整合や社会経済状況の変化等を見据えた
	都市計画マスタープランの見直し及び市街化調整区域まちづくり 基本方針に基づく地域毎のまちづくりの検討が必要である。
	・まちづくり条例の手続や基準において運用上の課題がある。
	・自主まちづくり活動について、市民等の利用が少ない。
課題	・ (仮称) 外環八潮パーキングエリアについては、都市計画道路
	の変更手続が終了したが、(仮称)外環八潮スマートIC及び
	(仮称) 入谷東西線の整備に向けた検討については、パーキング エリアの整備と連動することから、パーキングエリアの進捗状況
	を踏まえ、検討していく必要がある。
	・西部拠点の形成に向け、引き続き公共公益施設の再検討を行う
	とともに、拠点形成に向けた手法の検討が必要である。

4. 節の評価(部が展開する節の総合評価)

 総合評価 ・北部拠点については、埼玉県において(仮称)外環八潮パーキングエリアに関する都市計画道路の変更告示が行われ、また、西部拠点については、公共公益施設の再検討を行った。更に市街化調整区域まちづくり基本方針を策定した。 ・「まちづくり自書」の作成や市民・事業者との協働による良好なまちづくりの誘導等が進んでいる。以上のことから、総合評価を概ね順調と判断した。 		
ングエリアに関する都市計画道路の変更告示が行われ、また、西部拠点については、公共公益施設の再検討を行った。更に市街化調整区域まちづくり基本方針を策定した。 ・「まちづくり白書」の作成や市民・事業者との協働による良好なまちづくりの誘導等が進んでいる。	総合評価	評価理由
	概ね順調	ングエリアに関する都市計画道路の変更告示が行われ、また、西部拠点については、公共公益施設の再検討を行った。更に市街化調整区域まちづくり基本方針を策定した。 ・「まちづくり白書」の作成や市民・事業者との協働による良好なまちづくりの誘導等が進んでいる。

5. 今後の方針(部が展開する節の方針)

方向性 ・市街化調整区域まちづくり基本方針の地区毎のまちづくりに取り組む。また、本市の現状や社会経済状況の変化等を見据えた都市計画マスターブランの見直しを検討する。 ・まちづくり白書の作成により、まちづくりに関する運用上の課題が抽出されたことから、条例に規定されている運用方法や基準等の検証を行い、条例の見直しについて検討を進める。・自主まちづくり活動について周知及びPRを図る。・(仮称)外環八潮パーキングエリアの早期整備に向け、PA地権者の会、東日本高速道路㈱及び市が連携を図り、取り組む。・(仮称)外環八潮スマートIC及び(仮称)入谷東西線の整備に向け、関係機関と協議、調整を進める。・西部拠点については、土地区画整理施行者及び民間事業者の動向を踏まえ、拠点形成に向けた手法について検討する。 ■重点事業(部で5事業まで)	3. 7後の719	「「中か、成用するは	いっつつこ				
施策の 展開方針 ・市街化調整区域まちづくり基本方針の地区毎のまちづくりに取り組む。また、本市の現状や社会経済状況の変化等を見据えた都市計画マスタープランの見直しを検討する。 ・まちづくり白書の作成により、まちづくりに関する運用上の課題が抽出されたことから、条例に規定されている運用方法や基準等の検証を行い、条例の見直しについて検討を進める。 ・自主まちづくり活動について周知及びPRを図る。 ・(仮称)外環八潮パーキングエリアの早期整備に向け、PA地権者の会、東日本高速道路㈱及び市が連携を図り、取り組む。・(仮称)外環八潮スマートIC及び(仮称)入谷東西線の整備に向け、関係機関と協議、調整を進める。・西部拠点については、土地区画整理施行者及び民間事業者の動向を踏まえ、拠点形成に向けた手法について検討する。		現状のまま推進	●見直	直して推進	ナ	大幅に見直して	て推進
(説明) ・市街化調整区域まちづくり基本方針の地区毎のまちづくりに取り組む。また、本市の現状や社会経済状況の変化等を見据えた都市計画マスタープランの見直しを検討する。 ・まちづくり白書の作成により、まちづくりに関する運用上の課題が抽出されたことから、条例に規定されている運用方法や基準等の検証を行い、条例の見直しについて検討を進める。 ・自主まちづくり活動について周知及びPRを図る。 ・(仮称)外環八潮パーキングエリアの早期整備に向け、PA地権者の会、東日本高速道路㈱及び市が連携を図り、取り組む。 ・(仮称)外環八潮スマートIC及び(仮称)入谷東西線の整備に向け、関係機関と協議、調整を進める。 ・西部拠点については、土地区画整理施行者及び民間事業者の動向を踏まえ、拠点形成に向けた手法について検討する。	方向性		· 7				
・市街化調整区域まちづくり基本方針の地区毎のまちづくりに取り組む。また、本市の現状や社会経済状況の変化等を見据えた都市計画マスタープランの見直しを検討する。 ・まちづくり白書の作成により、まちづくりに関する運用上の課題が抽出されたことから、条例に規定されている運用方法や基準等の検証を行い、条例の見直しについて検討を進める。 ・自主まちづくり活動について周知及びPRを図る。 ・(仮称)外環八潮パーキングエリアの早期整備に向け、PA地権者の会、東日本高速道路㈱及び市が連携を図り、取り組む。 ・(仮称)外環八潮スマートIC及び(仮称)入谷東西線の整備に向け、関係機関と協議、調整を進める。 ・西部拠点については、土地区画整理施行者及び民間事業者の動向を踏まえ、拠点形成に向けた手法について検討する。			>	■重点化(拡き	充)	縮小	その他
■里瓜尹未(即で9尹未よで)	展開方針	・おおおりでは、おりでは、またのでは	は ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	大見こ 見つ F &	経済ちに見いひてがび返生状すづさてびの連(る施工を対してのの連(る施工を対し、	- Range - Ra	を見据えた都 運用大の課題 選用法の。 に取更の。 に取更の。 に取更の。 に取更の。 で見れる。 に取りの。 で見れる。 に取りの。 では、組地の。 では、組むの。 では、単述の。 では、一述の。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、
	■里只事業(前	りじ5争来まで)					

L												
		施領	ラコ-	ード	施策の内容	事務事業						
		章	節	施策	ル東の内谷	事物 学未						
	1	05	01	01	均衡ある土地利用の推進	都市計画基本事業						
	2	05	01	02	地域の特性を活かしたまちづくりの推進	協働による開発事業						
	3	05	01	03	都市核と地域核の形成	北部拠点まちづくり事業						
	4	05	01	03	都市核と地域核の形成	西部拠点形成事業						
	5			,								

※施策(節)を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆:順調(最終目標達成に向け、順調に成果があがっている) ☆:遅れ(このままでは、最終目標の達成が難しい)

				4次,も子切子木の町岡町木(2): 				\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	は肝臓工体と扱う	1100 fr ct = 44 #h				投入資源		
主体	施第章		ート 施策	事務事業名	主要	戦略	公約	担当部	担当課	H30年度事業費 (決算額:千円)	課題	総合評価	方向性	事業費	資源 労働量	
	05	01		都市計画基本事業				都市デザイン部	都市計画課	5, 137	•	☆☆	現状のまま継続	増加	増加	
	05	01		地区計画制度活用促進事業				都市デザイン部	都市計画課	189	0	☆☆☆	現状のまま継続	増加	増加	
	05	01	02	協働による開発事業				都市デザイン部	開発建築課	6, 703	0	2	見直して継続	現状維持	増加	
	05	01		北部拠点まちづくり事業				都市デザイン部	都市計画課	8, 204	0	2	見直して継続	増加	増加	
	05	01	03	西部拠点形成事業				都市デザイン部	都市計画課	0		☆	現状のまま継続	増加	増加	
_																
_																
H																
-																
-																
-																
-																
-																
-																
				_												
								_				-				
											20,233 部の事業費計					
				7 = □ □ = □ □ = 1 ± 1 ± 1 ± 1 ± 1	7	–		1								

施策評価シート(対象: H30年度実施施策)

5 都市基盤・環境 ●都市デザイン部 章(施策の柱) 総合計画の体系 担当部 2 快適で住みやすい市街地づくり

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 市では)

道路、公園、上下水道等の都市基盤及び公共交通の整備や、自然と 調和した良好な環境と景観に配慮した街並みの形成が進み、やすら (10年後の八潮 ぎと潤いを感じながら、市民が安全・快適に暮らしています。 また、市民が、主体的に美化活動や環境活動等に取り組み、地域の 生活環境を守るまちとなっています。

基本目標

市街地の整備が進み、快適で住みやすいまちになっていま す。また、八潮駅周辺を中心として、良好な都市空間が形 成され、多くの市民が集い、にぎわいのある街並みとなっ ています。

	NO THANK	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	成果指標		計画・目標								計画・目標	
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
1	大瀬古新田土地区画整理事業の進捗率	47. 40%	_	_	_	_	75%	_	_		_	95%
1)	(街路築造率)	_	50.8%	54.1%	55.1%							
2	西袋上馬場土地区画整理事業の進捗率	12. 90%	_	_	_	_	40%	_	_	_	_	75%
2	(街路築造率)	-	15. 3	17.0%	18. 2%							
3	八潮南部東一体型特定土地区画整理事業の 進捗率	62. 50%	_	_	_		90%			1	_	100%
3)	(街路築造率)	-	64.2%	64.2%	64.6%							
4			_	_	_					1	_	
4)		1										
(5)			_	_	_			_		_	_	
		_										

	施策の内容	H30年度	事務事業数		総合評価		担当課
		事業費 (千円)	争份争未致	順調	概ね順調	遅れ	
1	土地区画整理事業の推進	3, 917, 347	13	2	2	9	都市計画課、区画整理課
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9						·	
	計	3, 917, 347	13	2	2	9	

総合計画	章(施策の柱)	5	都市基盤・環境	評価主体 (部名)	都市デザイン部				
の体系	節	2	快適で住みやすい市街地づくり	評価者名	中村 史朗				
	・稲荷伊草第二地区については、令和2年度秋頃の換地処分を目指すとともに、鶴ケ曽根・二丁目地区については、早期換地処分を目指し、事業を推								
評価主体が	進します。 ・大瀬古新田地区及び八潮南部東地区については、保留地処分金、国庫補助金及び他会計からの繰入金等による事業費を確保したうえで、事業を推進								
推進する 施策の概要	します。 ・西袋上馬場地区については、草加三郷線及び西新一号線の開通を目指し、事業を推進します。								
			、ては、単加二州林及び四州、方禄の開通を目指し、事、ては、施行者である埼玉県を支援するとともに、連携						

(説明) ・市が施行する各事業の進捗状況は、稲二地区の街路築造及び建 |物移転率が、99.5%、100%、鶴二地区が99.7%、99.7%、大古地区が |55.1%、63.2%、西上地区が18.2%、22.5%、南部東地区が64.6%、 施策の 67.1%となった。 実施状況 ・県が施行する南部西地区の進捗状況は、80.9%、88.5%となっ 保留地の処分状況は、鶴二地区が1区画255㎡、31,365,000円、 大古地区が3区画879㎡、34,986,860円、南部東地区が4区画、 8,323㎡、1,007,409,000円となった。 課題はほとんどない ある程度課題がある ●大きな課題がある ・各地区において、保留地の整備に多くの時間と費用を要するた め、保留地の販売が困難な状況にある。 ・国庫補助金の予算額に対する内示率は約45%となっており、 課題 また、他会計からの繰入金の増額等が難しいことから事業の推進 に支障をきたしている。 ・資金不足や区画整理経験者の不足といった理由から事業が長期 化しており、地権者の不満が高まっている。

4. 節の評価(部が展開する節の総合評価)

総合評価	評価理由									
☆ 遅れ	・現在の進捗ペースでは各地区において成果指標で定めた街路築 造率の目標達成は困難である。 以上のことから、総合評価を遅れと判断した。									

5. 今後の方針(部が展開する節の方針)

 施策の展開方針 施策の展開方針 ・稲二地区については、令和2年度秋頃の換地処分を目指す。・鶴二地区については、早期の換地処分を目指す。・大古地区、南部東地区については、財源確保に努め、計画的且つ効率的な事業展開の検討を行い、事業推進を図る。・西上地区については、計画的且つ効率的な事業展開の検討に併せ、事業費削減に向けた検討を行い、事業推進を図る。 		現状のまま推進 ● 見直して推進 大幅に見直して推進
施策の 展開方針 ・稲二地区については、令和2年度秋頃の換地処分を目指す。 ・鶴二地区については、早期の換地処分を目指す。 ・大古地区、南部東地区については、財源確保に努め、計画的且 つ効率的な事業展開の検討を行い、事業推進を図る。 ・西上地区については、計画的且つ効率的な事業展開の検討に併	方向性	▶ ■ 重点化(拡充) 縮小 その他
	展開方針	・稲二地区については、令和2年度秋頃の換地処分を目指す。 ・鶴二地区については、早期の換地処分を目指す。 ・大古地区、南部東地区については、財源確保に努め、計画的且 つ効率的な事業展開の検討を行い、事業推進を図る。 ・西上地区については、計画的且つ効率的な事業展開の検討に併 せ、事業費削減に向けた検討を行い、事業推進を図る。

	施領	色コ-	ード	施策の内容	事務事業					
章 節 施策				ル東の内谷	学 切争未					
1	05	02	01	土地区画整理事業の推進	稲荷伊草第二土地区画整理事業					
2	05	02	01	土地区画整理事業の推進	西袋上馬場土地区画整理事業					
3	05	02	01	土地区画整理事業の推進	大瀬古新田土地区画整理事業					
4	05	02	01	土地区画整理事業の推進	八潮南部東一体型特定土地区画整理事業					
5	05	02	01	土地区画整理事業の推進	鶴ヶ曽根・二丁目土地区画整理事業					

※施策(節)を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆:順調(最終目標達成に向け、順調に成果があがっている) ☆:遅れ(このままでは、最終目標の達成が難しい)

	【 / M / 別で構成する事物事業の計画相索(対象平反1100平反/ ※■は計画主体を表す NO.1													
主 施体 章		ード 施策		主要	戦略	公約	担当部	担当課	H30年度事業費 (決算額:千円)	課題	総合評価	方向性	投入 事業費	資源 労働量
■ 0:			稲荷伊草第二土地区画整理事業			41.7	都市デザイン部	区画整理課	254, 928	0	☆☆	現状のまま継続		
■ 0!			西袋上馬場土地区画整理事業				都市デザイン部	区画整理課	460, 350	•	☆	見直して継続	増加	増加
■ 0!		_	大瀬古新田土地区画整理事業				都市デザイン部	区画整理課	407, 137	•	☆	見直して継続	増加	増加
1 0;		_	八潮南部東一体型特定土地区画整理事業				都市デザイン部	区画整理課	1, 481, 903	•	☆	見直して継続	増加	増加
1 0		_	鶴ヶ曽根・二丁目土地区画整理事業					区画整理課	72, 222	0	☆	見直して継続	増加	増加
= 0;	5 02	01	稲荷伊草第二土地区画整理促進事業					区画整理課	222, 574	0	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
1 0	5 02	01	八潮南部西一体型特定土地区画整理促進事業				都市デザイン部	区画整理課	81, 420	_	***	現状のまま継続	現状維持	現状維持
• 0	5 02	01	西袋上馬場土地区画整理促進事業				都市デザイン部	区画整理課	325, 095	•	☆	見直して継続	増加	増加
= 0:	02	01	大瀬古新田土地区画整理促進事業				都市デザイン部	区画整理課	269, 305	•	☆	見直して継続	増加	増加
= 0;	5 02	01	八潮南部東一体型特定土地区画整理促進事業				都市デザイン部	区画整理課	124, 955	•	☆	見直して継続	増加	増加
= 0	02	01	鶴ヶ曽根・二丁目土地区画整理促進事業				都市デザイン部	区画整理課	98, 000	0	☆	見直して継続	増加	増加
1 0	5 02	01	南部整備促進事業				都市デザイン部	区画整理課	119, 457	_	$\triangle \triangle \triangle$	現状のまま継続	現状維持	現状維持
= 0:	02	01	東部拠点形成事業				都市デザイン部	都市計画課	0	0	☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
\coprod														
\coprod														
			1		L						- 11/			
									3, 917, 347	部の事	業費計			

施策評価シート(対象: H30年度実施施策)

総合計画の体系 章 (施策の柱) 5 都市基盤・環境 ●企画財政部 生活安全部 担当部 3 快適で便利な道路・交通網づくり 建設部 都市デザイン部

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 市では)

道路、公園、上下水道等の都市基盤及び公共交通の整備や、自然と 調和した良好な環境と景観に配慮した街並みの形成が進み、やすら (10年後の八潮 ぎと潤いを感じながら、市民が安全・快適に暮らしています。 また、市民が、主体的に美化活動や環境活動等に取り組み、地域の 生活環境を守るまちとなっています。

基本目標

市内の主要な幹線道路や生活道路等の整備や改良が進むと ともに、公共交通が整備され、誰もが快適で便利に移動す ることができています。

	大心和木											
		現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	成果指標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
1	都市計画道路の整備率	72. 20%	_	_	_	_	78%	_	_	_	_	84%
1)	1000000000000000000000000000000000000	_	76. 5%	76.5%	77.8%							
2	市道の改良整備率	73. 30%	_	_	_	_	76%	_	_	_	_	79%
2	而是少以及正備中 	_	74.4%	74.5%	74.7%							
3			_	_	_	_		_	_	_	_	
0		_										
4			_	_	_	_		_	_	_	_	
4)		_										
5			_	_	I	_		1	-	ı	_	
		_										

	施策の内容	H30年度	事務事業数		総合評価		担当課
		事業費 (千円)	争伤争未致	順調	概ね順調	遅れ	担国誌
1	幹線道路の整備	60, 404	2	0	2	0	道路治水課、都市計画課
2	生活道路の整備	91, 405	2	0	2	0	道路治水課
3							
	道路維持管理の充実	253, 227	5	3	2	0	道路治水課
	つくばエクスプレスの利便性の向上	98	1	0	1	0	交通防犯課
6	地下鉄8号線の導入の促進	93	1	0	1	0	企画経営課
7	バス交通の充実	25, 758	1	1	0	0	交通防犯課
8						•	
9						•	
	計	430, 985	12	4	8	0	

総合計画	章(施策の柱)	5	都市基盤・環境	評価主体 (部名)	企画財政部
の体系	節	3	快適で便利な道路・交通網づくり	評価者名	前田 秀明
評価主体が 推進する 施策の概要	地下鉄8号線の導入 ・市内を南北に縦関		る都市鉄道の導入をめざし、関係自治体と連携して積極	的な活動を行う。	

施策の 実施状況	(説明) 地下鉄8号線建設促進並びに誘致期成同盟会の一員として、国土交通大臣、埼玉県知事、千葉県知事及び茨城県知事に対し、八潮一野田市間の先行整備及び茨城県西南部への延伸についての要望を行った。 同盟会に研究部会が設置され、国から示された地下鉄8号線の事業化における課題の解決に向け、課題の整理や沿線開発の検討等を行った。
課題	課題はほとんどない ■ ある程度課題がある 大きな課題がある 平成28年4月20日の交通政策審議会の答申において、押上一野田市間が「東京圏の都市鉄道が目指すべき姿」を実現する上で意義のあるプロジェクトとして位置付けられたが、現段階では整備着手の時期が未定である。
4. 節の評価	・ (部が展開する節の総合評価)

4.節の評価(部が展開する節の総合評価)

M. 42 H. Im	
総合評価	評価理由
☆☆概ね順調	同盟会の構成市町と連携し、要望活動や事業化に向けた課題の整理、検討などに取り組んでおり、概ね順調と評価した。

5. 今後の方針(部が展開する節の方針)

	方向性		■現状のまま推進	見直	して推進		大幅に見直して	て推進							
	万问性				-		 1								
						<u></u>	重点化(拡充)	縮小	その他					
				(]	説明)										
		施策	Φ		※1日明人の#		\丰/# 1	<i>ي</i> دا يد	: 日1本2						
		ルホ ≷開フ			·後も同盟会の構 ·事、千葉県知事										
	及所リノリエ				期実現に向け、積極的な働きかけを行う。										
L	■重				55事業まで)										
		施策コー			施策の	内容			事務事	業					
ļ		章	節	施策	,,,,,,,,,										
ļ	1														
ŀ	2														
ŀ	<u>3</u>														
ŀ	5														
	5														

※施策(節)を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆:順調(最終目標達成に向け、順調に成果があがっている) ☆:遅れ(このままでは、最終目標の達成が難しい)

	MOLI が 施策コード まなままな まままな まま 戦 公 カルガ カルガ トラン は 日本で表す ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・														
			ード 施策	事務事業名	主要	戦略	公約	担当部	担当課	H30年度事業費 (決算額:千円)	課題	総合評価	方向性	投入 事業費	.資源 労働量
	_	03		都市計画道路整備事業				建設部	道路治水課	60, 404	•	☆☆	見直して継続	増加	増加
()5	03	01	都市計画道路決定事業				都市デザイン部	都市計画課	0	•	☆☆	現状のまま継続	増加	増加
()5	03		道路用地取得事業				建設部	道路治水課	7, 314	0	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
()5	03	02	道路改良等事業				建設部	道路治水課	84, 091	0	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
()5	03	04	道路橋りょう管理事務				建設部	道路治水課	11, 025	0	***	現状のまま継続	現状維持	現状維持
()5	03		道路維持事業					道路治水課	176, 860	•	☆☆	見直して継続	増加	増加
()5	03		橋りょう維持事業				建設部	道路治水課	37, 453	0	$^{\uparrow}$	現状のまま継続	現状維持	現状維持
()5	03	04	道路管理事務				建設部	道路治水課	27, 410	0	☆☆	見直して継続	増加	増加
()5	03	04	法定外公共物等管理事業				建設部	道路治水課	480	0	2	他事業と統合して継続	現状維持	現状維持
()5	03		つくばエクスプレス利便性向上事業				生活安全部	交通防犯課	98	•	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
)5	03		地下鉄8号線導入促進事業				企画財政部	企画経営課	93	0	$^{\diamond}$	現状のまま継続	現状維持	現状維持
()5	03	07	路線バス網整備促進事業				生活安全部	交通防犯課	25, 758	0	$^{\uparrow}$	現状のまま継続	増加	増加
	T														
	T														
					•	•				93	部の事	業費計			

施策評価シート(対象: H30年度実施施策)

総合計画の体系 章 (施策の柱) 5 都市基盤・環境 ●生活安全部 企画財政部 担当部 3 快適で便利な道路・交通網づくり 建設部 都市デザイン部

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 市では)

道路、公園、上下水道等の都市基盤及び公共交通の整備や、自然と 調和した良好な環境と景観に配慮した街並みの形成が進み、やすら (10年後の八潮 ぎと潤いを感じながら、市民が安全・快適に暮らしています。 また、市民が、主体的に美化活動や環境活動等に取り組み、地域の 生活環境を守るまちとなっています。

基本目標

市内の主要な幹線道路や生活道路等の整備や改良が進むと ともに、公共交通が整備され、誰もが快適で便利に移動す ることができています。

	大心叫不											
		現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	成果指標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
1	都市計画道路の整備率	72. 20%	_	_	_	_	78%	_	_	_	_	84%
1)	部中日回心中の走備十 -	_	76. 5%	76. 5%	77.8%							
2	市道の改良整備率	73. 30%	_	_	_	_	76%	_	_	_	_	79%
2	11000以及走備中	_	74. 4%	74.5%	74. 7%							
3			_	_	_	_		_	-	_	_	
(3)		_										
4			_	_	_	_			1	ı	_	
4)		_					·		·	_		
(5)			_	_	_	_		1	I	I	_	
5		_										

	施策の内容	H30年度	事務事業数		総合評価		担当課
		事業費 (千円)	争伤争未致	順調	概ね順調	遅れ	担国誌
1	幹線道路の整備	60, 404	2	0	2	0	道路治水課、都市計画課
2	生活道路の整備	91, 405	2	0	2	0	道路治水課
3							
	道路維持管理の充実	253, 227	5	3	2	0	道路治水課
	つくばエクスプレスの利便性の向上	98	1	0	1	0	交通防犯課
6	地下鉄8号線の導入の促進	93	1	0	1	0	企画経営課
7	バス交通の充実	25, 758	1	1	0	0	交通防犯課
8						•	
9						•	
	計	430, 985	12	4	8	0	

総合計画	章(施策の柱)	5	都市基盤・環境	評価主体 (部名)	生活安全部
の体系	節	3	快適で便利な道路・交通網づくり	評価者名	武内清和
評価主体が 推進する 施策の概要	への快速列車の停車	エと女	スの利便性の向上:沿線自治体と連携して、東京駅延伸 台発の増便を市単独で要望活動を行います。 コミュニティバスを含むバス路線網の整備や利便性向上		

O . ED 07 /J 1/J	(中2.100.100) (中2.100)
施策 <i>の</i> 実施状況	(説明) ・首都圏新都市鉄道㈱に対し、東京駅延伸、1編成8両化、快速列車の停車、始発の増便について要望しました。 ・TX沿線都市連絡協議会の構成員として、鉄道利用者の利便性向上に向け取り組みました。 ・東武バスセントラル㈱に対し、バス路線の新設や増便、コミュニティバスの利便性向上等を要望しました。 ・東武バス㈱が購入したノンステップバス9台に対し、補助金4,756,000円を交付しました。 ・コミュニティバスの利用促進を図るため、ラッピングと愛称を導入しました。
課題	● ある程度課題がある 大きな課題がある 大きな課題がある ・TXの東京駅延伸が都心直結線の一体整備と臨海地域地下鉄構想の両方に位置付けられたことから、首都圏新都市鉄道㈱の需要予測調査が停滞している。 ・TX沿線の宅地開発に伴い鉄道利用者が増加し、混雑緩和策が急務となっている。 ・高齢化の進展に伴い公共交通機関に対する需要が高まっている。 ・バス路線における交通不便地域への対策が求められている。

4. 節の評価(部が展開する節の総合評価)

総合評価	評価理由
☆☆ 概ね順調	鉄道事業者やバス事業者に対し、利用者の利便性向上を目的に要望活動を実施するとともに、八潮駅の乗降者が順調に増加していることやコミュニティバスの利用者が前年度並みに推移していることなどから概ね順調に成果が上がっていると評価する。

5. 今後の方針(部が展開する節の方針)

				● 現状のまま推進 見直して推進 大幅に見直して推進
	方向	性		
				▶ 重点化(拡充) 縮小 その他
Я	施策	分	・の・自・促・に・の	前明) 首都圏新都市鉄道㈱に対し、沿線自治体と連携して1編成8両化 早期実現を向けた具体的な対策を求める。 東京駅延伸については、東京都などの対応を見極めながら沿線 沿体と連携を図る。 高齢化の進展にあわせて、引き続きノンステップバスの導入を 選進する。 コミュニティバスの利用を促進するため、引き続き車両の更新 あわせてラッピングを導入する。 地域公共交通網形成計画策定の中で、高齢者や障がいのある方 の移動手段の確保や交通不便地域の解消などを検討する。
里里				^{で5} 事業まで) 「
	施策コー 章 節 施			施策の内容事務事業
1	05	03	07	バス交通の充実 路線バス網整備促進事業
2	2 05 03 0		05	つくばエクスプレスの利便性の向上 つくばエクスプレス利便性向上事業

※施策(節)を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆:順調(最終目標達成に向け、順調に成果があがっている) ☆:遅れ(このままでは、最終目標の達成が難しい)

	【別級】即と構成する事務事業の計画相案(対象年度HOV年度) ※■は計画主体を表す H30年度事業費 == □ MO、F														
			- ド 施策	事務事業名	主要	戦略	公約	担当部	担当課	H30年度事業費 (決算額:千円)	課題	総合評価	方向性	投入 事業費	資源 労働量
	_			都市計画道路整備事業				建設部	道路治水課	60, 404	•	☆☆	見直して継続	増加	増加
	-+			都市計画道路決定事業				都市デザイン部	都市計画課	0	•	☆☆	現状のまま継続	増加	増加
(5	03		道路用地取得事業				建設部	道路治水課	7, 314	0	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
(5	03	02	道路改良等事業				建設部	道路治水課	84, 091	0	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
(5	03	04	道路橋りょう管理事務				建設部	道路治水課	11, 025	0	2	現状のまま継続	現状維持	現状維持
(5	03	04	道路維持事業				建設部	道路治水課	176, 860	•	☆☆	見直して継続	増加	増加
(5	03	04	橋りょう維持事業				建設部	道路治水課	37, 453	0	***	現状のまま継続	現状維持	現状維持
(5	03	04	道路管理事務				建設部	道路治水課	27, 410	0	☆☆	見直して継続	増加	増加
(5	03	04	法定外公共物等管理事業				建設部	道路治水課	480	0	***	他事業と統合して継続	現状維持	現状維持
	5	03	05	つくばエクスプレス利便性向上事業				生活安全部	交通防犯課	98	•	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
(5	03		地下鉄8号線導入促進事業				企画財政部	企画経営課	93	0	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	5	03	07	路線バス網整備促進事業				生活安全部	交通防犯課	25, 758	0	2	現状のまま継続	増加	増加
						•				25, 856	部の事	業費計			

施策評価シート(対象: H30年度実施施策)

総合計画の体系 章 (施策の柱) 5 都市基盤・環境 ●建設部 企画財政部 担当部 3 快適で便利な道路・交通網づくり 生活安全部 都市デザイン部

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 市では)

道路、公園、上下水道等の都市基盤及び公共交通の整備や、自然と 調和した良好な環境と景観に配慮した街並みの形成が進み、やすら (10年後の八潮 ぎと潤いを感じながら、市民が安全・快適に暮らしています。 また、市民が、主体的に美化活動や環境活動等に取り組み、地域の 生活環境を守るまちとなっています。

基本目標

市内の主要な幹線道路や生活道路等の整備や改良が進むと ともに、公共交通が整備され、誰もが快適で便利に移動す ることができています。

	产用长辆	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	成果指標	計画・目標 実績	実績	計画·目標 実績	<u>計画・日標</u> 実績	実績	計画・目標 実績	計画・目標 実績	<u>計画・日標</u> 実績	実績	計画・目標 実績	実績
	世上記 五光 Dy の By は で	72. 20%	_	_	_	_	78%	_	_	_	-	84%
(1)	都市計画道路の整備率	_	76.5%	76.5%	77.8%							
2	市道の改良整備率	73. 30%		_	_		76%	_			_	79%
	川道の以及笠圃学	_	74.4%	74.5%	74.7%							
3			_	_	_	_		_	_	_	_	
		_										
			_	_	_	_		_	_	_	_	
4		_										
(5)			_	_	_	_		_		_	_	
		_										

		H30年度	事務事業数		総合評価		担当課
		事業費 (千円)	争伤争未致	順調	概ね順調	遅れ	担国誌
1	幹線道路の整備	60, 404	2	0	2	0	道路治水課、都市計画課
2	生活道路の整備	91, 405	2	0	2	0	道路治水課
3							
4	道路維持管理の充実	253, 227	5	3	2	0	道路治水課
	つくばエクスプレスの利便性の向上	98	1	0	1	0	交通防犯課
6	地下鉄8号線の導入の促進	93	1	0	1	0	企画経営課
7	バス交通の充実	25, 758	1	1	0	0	交通防犯課
8							
9							
	計	430, 985	12	4	8	0	

総合計画	章(施策の柱)	5	都市基盤・環境	評価主体 (部名)	建設部
の体系	節	3	快適で便利な道路・交通網づくり	評価者名	荒川 俊
評価主体が 推進する 施策の概要	(2) 生活道路の惠(3) 道路環境の惠	を備 を備	: 主要幹線道路である国道や県道、橋りょう等の道路整 : 生活道路の新設や改良等を行うとともに、歩行者や自 : 道路の清掃や放置自転車対策を実施し、安全な道路環 で実: 道路補修業務と道路パトロールの強化による危険 道路復旧体制を構築し、適正な維持管理を行う。	転車等の通行に配慮 境の保全に努める。	した道路整備を推進する。

	(説明)											
施策の 実施状況	(1) 幹線道路の整備:木曽根北・南線の整備工事 104m 県施行の都市計画道路(草加三郷線、草加彦成線)に おける用地買収費、物件補償費、改修工事費等の建設 負担金の支出 (2) 生活道路の整備:道路改良工事 330m、 道路用地測量 132 m、歩道改修工事 418m (3) 道路環境の整備:道路清掃 648km、街路樹管理 48路線 (4) 道路維持管理の充実:道路維持工事 204m、応急工事 46件、市民要望職員対応 419件、橋りょう補修設計 1橋、 橋りょう補修工事 2橋、道路台帳補正 1530m											
	課題はほとんどない ある程度課題がある											
課題	 (1)幹線道路の整備:都市計画道路については執行体制や財源確保等の大きな課題から、八潮三郷東西線及び八潮越谷線等の事業化が図れていない。 (2)生活道路の整備:道路改良工事等の財源確保が困難な状況で、市民要望や利便性向上を図る道路に対して十分に対応できない。 (3)道路環境の整備:清掃業務、街路樹管理業務の回数不足により、適切な道路環境の保全ができていない。 (4)道路維持管理の充実:舗装道路の老朽化に伴い、修繕箇所の増加及び管理瑕疵の発生が懸念される。 											

4. 節の評価(部が展開する節の総合評価)

総合評価	評価理由
	都市計画道路については、課題も多く事業着手に至っていない道 路もあるが、都市計画道路の整備率は向上している。また、他の 事業については限られた予算において、概ね適切に執行できたも のと判断し、概ね順調とした。

5. 今後の方針(部が展開する節の方針)

##
・都市計画道路の見直しを含めた都市計道路全体の事業計画の 検討を行い、整備を進めるための優先順位の高い道路から 事業化に努める。 ・道路維持修繕計画及び橋りょう長寿命化計画等により、維持 修繕の優先順位や工事内容等を考慮して、適切で計画的な 道路、橋りょうの維持に努める。 ・道路パトロールなど、危険個所の早期発見、早期対応できる

- 1	_ =	· /// +	· 本	י יום י	. U 手木 か C /							
		施領	きコ-	ード	施策の内容	事務事業						
		章	節	施策	ル東の内谷	学 物学术						
Ī	1	05	03	01	幹線道路の整備	都市計画道路整備事業						
	2	05	03	04	道路維持管理の充実	道路維持事業						
Ī	3	05	03	04	道路維持管理の充実	橋りょう維持事業						
	4	05	03	02	生活道路の整備	道路改良等事業						
Ī	5	05	03	04	道路維持管理の充実	道路管理事務						

※施策(節)を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆:順調(最終目標達成に向け、順調に成果があがっている) ☆:遅れ(このままでは、最終目標の達成が難しい)

		<u>で</u> コー		一			公		5計画工件となり	H30年度事業費	-m er	60 A == /=	_L	投入	資源
体		節		事務事業名	要		約	担当部	担当課	(決算額:千円)	課題	総合評価	方向性	事業費	労働量
	05	03	01	都市計画道路整備事業				建設部	道路治水課	60, 404	•	☆☆	見直して継続	増加	増加
	05	03	01	都市計画道路決定事業				都市デザイン部	都市計画課	0	•	☆☆	現状のまま継続	増加	増加
	05	03	02	道路用地取得事業				建設部	道路治水課	7, 314	0	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	05	03	02	道路改良等事業				建設部	道路治水課	84, 091	0	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	05	03	04	道路橋りょう管理事務				建設部	道路治水課	11, 025	0	$^{\uparrow}$	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	05	03		道路維持事業				建設部	道路治水課	176, 860	•	☆☆	見直して継続	増加	増加
	05	03		橋りょう維持事業				建設部	道路治水課	37, 453	0	☆☆☆	現状のまま継続		
	05	03		道路管理事務				建設部	道路治水課	27, 410	0	☆☆	見直して継続		増加
	05	03		法定外公共物等管理事業				建設部	道路治水課	480	0	2			
	05	03		つくばエクスプレス利便性向上事業				生活安全部	交通防犯課	98		☆☆	現状のまま継続		
	05	03		地下鉄8号線導入促進事業				企画財政部	企画経営課	93	0	☆☆	現状のまま継続		
	05	03	07	路線バス網整備促進事業				生活安全部	交通防犯課	25, 758	0	2	現状のまま継続	増加	増加
															<u> </u>
Ш						<u> </u>									
										405, 037	部の事	業費計			

施策評価シート(対象: H30年度実施施策)

総合計画の体系 章 (施策の柱) 5 都市基盤・環境 ●都市デザイン部 企画財政部 担当部 3 快適で便利な道路・交通網づくり 生活安全部 建設部

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 市では)

道路、公園、上下水道等の都市基盤及び公共交通の整備や、自然と 調和した良好な環境と景観に配慮した街並みの形成が進み、やすら (10年後の八潮 ぎと潤いを感じながら、市民が安全・快適に暮らしています。 また、市民が、主体的に美化活動や環境活動等に取り組み、地域の 生活環境を守るまちとなっています。

基本目標

市内の主要な幹線道路や生活道路等の整備や改良が進むと ともに、公共交通が整備され、誰もが快適で便利に移動す ることができています。

	Non-HAN.	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	成果指標			計画・目標	計画・目標		計画・目標	計画・目標		計画・目標	計画・目標	計画・目標
	<u>, </u>	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	都市計画道路の整備率	72. 20%	_	_		_	78%	_	_		_	84%
1)	御川計画追路の金州平	_	76.5%	76.5%	77.8%							
2	市道の改良整備率	73. 30%	_	_	_	_	76%	_	_	_	_	79%
2	川道の以及亜洲平	_	74.4%	74.5%	74.7%							
3			_	_	1			_	_	1	_	
3)		_										
4			_	_	1			_	_	1	_	
4)		_										
(5)			_	_	_			_	_	_	_	
5		_										

	施策の内容	H30年度	事務事業数		総合評価		担当課			
		事業費 (千円)	争伤争未致	順調	概ね順調	遅れ				
1	幹線道路の整備	60, 404	2	0	2	0	道路治水課、都市計画課			
2	生活道路の整備	91, 405	2	0	2	0	道路治水課			
3										
	道路維持管理の充実	253, 227	5	3	2	0	道路治水課			
	つくばエクスプレスの利便性の向上	98	1	0	1	0	交通防犯課			
6	地下鉄8号線の導入の促進	93	1	0	1	0	企画経営課			
7	バス交通の充実	25, 758	1	1	0	0	交通防犯課			
8										
9										
	計	430, 985	12	4	8	0				

総合計画	章(施策の柱)	5	都市基盤・環境	評価主体 (部名)	都市デザイン部
の体系	節	3	快適で便利な道路・交通網づくり	評価者名	中村 史朗
評価主体が 推進する 施策の概要			斤、将来交通量の予測、交通施設の必要性及び規模に関 Rするため整備することが必要な道路については、周辺		

3. 即07万机	(部が展開する即の分析)
施策の 実施状況	・八潮南部東一体型特定土地区画整理事業の施行地区を含む、都市計画道路八潮三郷東西線の交差点形状の見直しに向けて、前年度に引き続き、交通管理者である埼玉県警察本部との協議を行った。また、八潮三郷東西線の整備に向けて、課題等の検討を行った。
課題	課題はほとんどない ある程度課題がある ● 大きな課題がある ・都市計画道路八潮三郷東西線の都市計画変更には、八潮南部東地区の事業計画の変更に合せて行う必要があることから、施行者との協議・調整が必要である。また、関係機関との協議や住民説明などの一定の期間や手続きが必要となる。
4. 節の評価	(部が展開する節の総合評価)

Ma H I Imm	
総合評価	評価理由
	・都市計画道路八潮三郷東西線の交差点形状の見直しに向けて、 交通管理者である埼玉県警察本部との協議が、前年度に引き続き 継続することとなったが、概ねの了解は得ることがきた。また、 八潮三郷東西線の整備に向けて、課題等の検討を行うことができ た。 以上のことから、総合評価を概ね順調と判断した。

5. 今後の方針(部が展開する節の方針)

5.	今後	きのア	万 針	(部が展開する質	りの万軍	(†)						
				●現状のまま推進	見	見直して推進		大幅に見直して	て推進			
方向性				-	▶	重点化(抗	充)	縮小 その他				
	施策展開フ	方針	・行る・状る	事業未着手の都 に況等を見据えた	を行い 3市計画	ながら、 「道路の対	都市計	十画変更に向 し減少時代	け準備を進 など社会経	め済		
		<u> </u>		1.260. 67								
	章	節	施策	施策の	内容		事務事業					
1	05	03	01	幹線道路の整備	i	都	市計画	画道路決定 專	事業			
2												
3												
1												

※施策(節)を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆:順調(最終目標達成に向け、順調に成果があがっている) ☆:遅れ(このままでは、最終目標の達成が難しい)

													NO. I		
		〔コー 節		事務事業名	主要	戦略	公約	担当部	担当課	H30年度事業費 (決算額:千円)	課題	総合評価	方向性	投入 事業費	資源 労働量
	_	03		都市計画道路整備事業				建設部	道路治水課	60, 404	•	☆☆	見直して継続	増加	増加
)5	03	01	都市計画道路決定事業				都市デザイン部	都市計画課	0	•	☆☆	現状のまま継続	増加	増加
()5	03	02	道路用地取得事業				建設部	道路治水課	7, 314	0	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
()5	03	02	道路改良等事業				建設部	道路治水課	84, 091	0	2	現状のまま継続	現状維持	現状維持
()5	03	04	道路橋りょう管理事務				建設部	道路治水課	11, 025	0	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
()5	03		道路維持事業					道路治水課	176, 860	•	☆☆	見直して継続	増加	増加
()5	03		橋りょう維持事業				建設部	道路治水課	37, 453	0	$^{\uparrow}$	現状のまま継続	現状維持	現状維持
()5	03		道路管理事務				建設部	道路治水課	27, 410	\circ	2	見直して継続	増加	増加
()5	03	04	法定外公共物等管理事業				建設部	道路治水課	480	\circ	2	他事業と統合して継続	現状維持	現状維持
()5	03		つくばエクスプレス利便性向上事業				生活安全部	交通防犯課	98	•	$^{\diamond}$	現状のまま継続	現状維持	現状維持
()5	03		地下鉄8号線導入促進事業				企画財政部	企画経営課	93	0	$^{\diamond}$	現状のまま継続	現状維持	現状維持
()5	03	07	路線バス網整備促進事業				生活安全部	交通防犯課	25, 758	0	$^{\uparrow}$	現状のまま継続	増加	増加
										0	部の事	業費計			

施策評価シート(対象: H30年度実施施策)

総合計画の体系	章(施策の柱)	5 都市基盤・環境	担当部 ● 都市デザイン部	
心口可凹の存木	節	4 水と緑ゆたかな都市景観づくり	THE	

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 市では)

道路、公園、上下水道等の都市基盤及び公共交通の整備や、自然と 調和した良好な環境と景観に配慮した街並みの形成が進み、やすら (10年後の八潮 ぎと潤いを感じながら、市民が安全・快適に暮らしています。 また、市民が、主体的に美化活動や環境活動等に取り組み、地域の 生活環境を守るまちとなっています。

基本目標

市民が、自然環境に親しみ、地域の特性が活かされた街並 みの中で暮らしています。また、市民が自ら公園管理や緑 化活動等に取り組んでおり、身近な公園や水辺でやすらぎ と潤いを感じながら暮らしています。

		現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	成果指標			計画・目標							計画・目標	
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	景観計画届出における景観配慮の誘導件	315件	_	_	_	_	600件	_	=	_	_	850件
•	数	=	456件	500件	539件							
1	市民一人当たりの都市公園面積	1.94㎡/人	_	_	_	_	2.0㎡/人	_	_	_	_	2.6㎡/人
2		_	2. 19㎡/人	2. 15㎡/人	2.11㎡/人							
(3)	緑道・遊歩道(親水化)整備延長	6,700m	_	_	_	_	7,200m	_	_	_	_	7,800m
	版是 超少是(机小门) E 開連民	_	6,700m	6,700m	6,982m							
	町会・自治会等公園管理委託	37箇所	_	_	_	_	38箇所	_	_	_	_	42箇所
•	7 A LILATAMETAGE	_	36箇所	41箇所	42箇所							
(5)			_	_	_	_		_		_	_	
		_										

	 施策の内容	H30年度	事務事業数		総合評価		担当課
		事業費 (千円)	争伤争未效	順調	概ね順調		
	八潮らしい魅力ある景観形成	0	1	0	0		都市計画課
	調和のとれた良好な街並み景観の保全	576	1	1	0		都市計画課
3	快適な公共空間のデザイン誘導	0	1	0	0	1	都市計画課
	公園の整備	441, 257	2	1	1	0	公園みどり課
5	緑道・遊歩道の整備	96, 090	1	1	0	0	公園みどり課
6	緑地・水辺の保全、緑化の推進	28, 548	1	0	1	0	公園みどり課
7							
8							
9							
	計	566, 471	7	3	2	2	

総合計画	章(施策の柱)	5 都市基盤・環境	評価主体(部名)	都市デザイン部
の体系	節	4 水と緑ゆたかな都市景観づくり	評価者名	中村 史朗
評価主体が 推進する 施策の概要	などの景観施策を約 ・公園等整備につい ては、計画的、効り	総合的に展開します	機能を有する公園のほか、市民に	の空家等の適正管理や屋外広告物の適正誘導を行う こ身近な公園を整備するとともに、既存公園につい **と緑のネットワークの形成を推進します

3. 即の方析	(部が展開する即の分析)
施策 <i>の</i> 実施状況	(説明) ・八潮らしい街並み景観形成に向け補助制度のPRを行った。 ・空家等の対策を推進するため、管理不全状態の空家を特定空家等に認定し、指導等を行った他、関係7団体と意見交換会及びセミナーを開催した。また、中川周辺地区における農地景観の保全に向け、景観計画による誘導基準等の検討を行った。 ・公園等整備については、中川河川敷包括占用区域等整備工事を完了した。また、防災機能を有する地区公園の整備に向け、基本的な整備方針となる基本構想を策定した。 ・緑道、遊歩道については、葛西用水において地元町会等の意見を伺いながら、八幡橋から新境橋の区間の親水化整備実施設計を行い、また、馬場新橋から八幡橋の区間の親水化整備を行った。
課題	課題はほとんどない ある程度課題がある ● 大きな課題がある ・これまでの八潮らしい街並み景観形成支援補助制度の実績が6年で4件のため、更なる普及促進の検討が必要である。・増加する空家等の苦情に迅速に対応する必要がある。・市内の公園の多くは、設置後20年以上経過し、経年劣化による公園施設の計画的な改修及び効率的な維持管理が必要である。・土地区画整理事業地内の公園予定地の確保に伴い、整備を行うための財源確保が必要である。・防災機能を有する地区公園の整備に向けては、整備手法の検討や財源確保が必要である。・「緑の基本計画」における市民との協働による施策展開が必要である。

4. 節の評価(部が展開する節の総合評価)

総合評価	評価理由
	・平成30年度は、八潮らしい街並み景観形成の実績はなかった。 ・空家対策については、管理不全状態にある空家等について、特 定空家等に認定し指導を行い改善が図られている。 ・中川河川敷包括占用区域整備工事が完了し、また防災機能を有 する公園整備基本構想を策定できた。 以上のことから、総合評価を概ね順調と判断した。

5. 今後の方針(部が展開する節の方針)

5.	デほ	シリノ	7 針	(部か展開する)	りの力	· <u> </u>				
				現状のまま推進		見直して推済	É	大幅に見直し	て推進	
	方向	性				■ 重点化	· / tr 本 \	福小	その他	
			(説明)	7	里月1	ハコムフし)	如日、1,	て 07世	
月	施策開プ	5針	、・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、	対期川続園施行いる検備しに象整周き施設うて地討にたつ	と備辺を設かた検区をつ計しに地行等らめ討公行い画た向区っに優、す園うてに制けにてよ先長るの。はよ	.度、おいる的寿、整 、るんを関けく利に命 備 ワ親に検係る。用改化 に 一水	計団農 者修計 向 ク化 のし画 け シ整 がく定 備 プル	し 保 全 に を に に に に に に に に に に に に に	
		<u> </u>						± 75 ±	عللد =	
	章	節	施策	施策の	内容			事務事	· 	
1	05	04	04 04 公園の整備				公園等	整備事業		
2	05 04 04 公園の整備 公園等維持管理事業						業			
3	05	04	05	緑道・遊歩道の	遊歩道の整備 緑道・遊歩道整備事					

5 05 04 01 八潮らしい魅力ある景観形成 八潮街並みづくり推進事業 ※施策(節)を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

4 05 04 02 調和のとれた良好な街並み景観の保全 良好な都市景観形成事業

☆☆☆:順調(最終目標達成に向け、順調に成果があがっている) ☆:遅れ(このままでは、最終目標の達成が難しい)

主	施領	をコー		事務事業名	主	戦	公	担当部	担当課	H30年度事業費	課題	総合評価	方向性	投入	資源
体	章	節	施策	争伤争未有	要	略	約	변크하	世 三	(決算額:千円)		祁口計画	万间往	事業費	労働量
	05	04	01	八潮街並みづくり推進事業				都市デザイン部	都市計画課	0	•	☆	見直して継続	現状維持	現状維持
	05	04	02	良好な都市景観形成事業				都市デザイン部	都市計画課	576	0	***	見直して継続	増加	増加
	05	04	03	公共デザイン誘導事業				都市デザイン部	都市計画課		0	☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	05	04	04	公園等整備事業				都市デザイン部	公園みどり課	312, 595	0	2	見直して継続	増加	増加
	05	04	04	公園等維持管理事業				都市デザイン部	公園みどり課	128, 662	•	☆☆	見直して継続	増加	増加
	05	04		緑道・遊歩道整備事業				都市デザイン部	公園みどり課	96, 090	0	2	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	05	04	06	緑化推進事業				都市デザイン部	公園みどり課	28, 548	0	$^{}$	現状のまま継続	現状維持	現状維持
П															
П															
П															
П															
П															
П															
П															
П															
П						1									
Г		566, 470 部の 事業費計													
				「細野」、細野はなし/	1 * + >		$\overline{}$	上 7 10 六 38 15 15 1 2	▲・十キか細野が				1 A A ADT I	- MT-SIX	1 1P L

施策評価シート(対象:H30年度実施施策)

総合計画の体系	章(施策の柱)	5 都市基盤・環境	担当部	
心口可凹の存木	節	5 安全な水を供給する体制づくり	프크마 -	

1. 節の概要

※●は評価主体

市では)

道路、公園、上下水道等の都市基盤及び公共交通の整備や、自然と **分野別将来目標** 調和した良好な環境と景観に配慮した街並みの形成が進み、やすら (10年後の八潮 ぎと潤いを感じながら、市民が安全・快適に暮らしています。 また、市民が、主体的に美化活動や環境活動等に取り組み、地域の 生活環境を守るまちとなっています。

基本目標

誰もがいつでも安全・安心な水道水を利用しています。

	大川市山木	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	成果指標				計画・目標	計画・目標				計画・目標	計画・目標	計画·目標
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
<u>(1)</u>	 基幹管路耐震化率	22. 00%	_	_	_	_	30%	_	_	_	_	40%
(I)	坐杆 自	_	24. 2%	24. 3%	25. 0%							
2	直結給水率	78. 40%		_	_	_	81%	_		_	_	83%
۵	巨小山小山八十	_	79.6%	78.8%	79. 7%							
3			1	_	_	_		_		1	_	
9		_										
4			Ī	_	_	_		_		Ī	_	
4)		_										
(5)				_	-	_		-			_	
(3)		_										

	 施策の内容	H30年度	事務事業数		総合評価		担当課
		事業費 (千円)	争伤争未效	順調	概ね順調		100
	計画的な浄配水施設の整備	741, 413	2	0	2	0	施設課
2	安定給水と浄配水施設の維持管理	243, 601	2	0	2	0	施設課
	効率的な水運用の推進	569, 995	2	1	1	0	経営課、施設課
4	水質管理の充実	18, 803	2	1	1	0	施設課
5	水源の確保	33, 103	1	0	1	0	施設課
6	顧客サービスの向上	83, 658	2	2	0	0	経営課
7							
8							
9							
	計	1, 690, 573	11	4	7	0	

総合計画	章(施策の柱)	5	都市基盤・環境	評価主体(部名)	水道部
の体系	節	5	安全な水を供給する体制づくり	評価者名	大山 敏
評価主体が 推進する 施策の概要	②浄配水場施設維持	宇管:	備事業:安全な水道水を供給するため、浄配水場老朽付 理事業:安全な水道水を供給するため、浄配水場老朽付 :安全な水道水を供給するため、配水管等の更新工事に	ビ施設の計画的な修約	善・整備を行う。

浄配水場施設更新関係では、中央浄水場配水施設更新(場内整 |地) 工事(平成29,30年度継続工事)が完了し、続いて、場内配 |管その3工事において配水管等328mの整備を進めている。配水 施策の ■管等耐震化関係では、土地区画整理事業地内において、配水管新 実施状況 |設工事を1,146.1m、石綿セメント管等の布設替工事を2,686.7m 実施した。これにより石綿セメント管987m、老朽化したポリエ チレン管等を1,699m廃止した。 その内、基幹管路等耐震化(第1期)工事は、163.5mが完成 し、現在基幹管路等耐震化(第2期)工事を進めている。 ●ある程度課題がある 課題はほとんどない 大きな課題がある 水道施設の更新全般としては、社会情勢の変化による人件費や 材料費の上昇などから、施設の整備・更新費用が増加傾向であ る。そのため、財源の確保、安定的な経営基盤の強化、材料の選 定等が課題となっている。 さらに、配水管等耐震化関係の内、特に配水管新設工事では、 課題 十地区画整理事業や関連事業と合わせて実施する箇所が多く、事 業の進捗の影響を受けるため、計画的な整備が難しく、耐震化が 予定通り進まない状況が課題となっている。そのため、土地区画 整理施行者や関連事業者と綿密な事業調整を行うことが必要であ

4. 節の評価(部が展開する節の総合評価)

る。

総合評価	評価理由
☆☆ 概ね順調	平成30年度に予定していた事業は、ほぼ予定通り実施しており、概ね順調に進んでいる。

5. 今後の方針(部が展開する節の方針)

7,00,110,0	●現状のまま推進	見直して推	生 大幅(に見直して推進
方向性	- 7 !			縮小 その他
施策の展開方針	成22年度か学院の (1) (2) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (5) (5) (6) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	成3 1 ジョージま算3・ エリンは エリンは エリンは エリンは エリンは では では では では では では では では では で	か期しき衡た平っ決給入てにら間て、を外成でし水やいのでします。 第44いた装水くいでし水やいのが44いた装水くいでがからいいがある。 道工記述が	マ」(計画期間:平八 29年度から、 30年度から、 30年度から、 一で成立。 一で成立。 一で成立。 一では、 一では、 一では、 一では、 一では、 一では、 一では、 一では、
	部で5事業まで)			
施策コー 章 節 施	┷━ 施策の戊	容		事務事業

ľ	■重点争未(即で0事まなで)									
	施策コード				施策の内容	事務事業				
		章	節	施策	心束の内谷	争伤争未				
	1	05	05	01	計画的な浄配水施設の整備	浄配水場施設更新整備事業				
	2	05	05	01	計画的な浄配水施設の整備	配水管等耐震化事業				
	3	05	05	02	安定給水と浄配水施設の維持管理	浄配水場施設維持管理事業				
	4	05	05	02	安定給水と浄配水施設の維持管理	配水管等維持管理事業				
	5	05	05	05	水源の確保	自己水源井の更新及び維持管理事業				

※施策(節)を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆:順調(最終目標達成に向け、順調に成果があがっている) ☆:遅れ(このままでは、最終目標の達成が難しい)

主	施第	₹⊐-	ード	事務事業名	主	戦	公	担当部	担当課	H30年度事業費	課題	総合評価	方向性		資源
		節			要	略	約			(決算額:千円)					労働量
-	_	05		净配水場施設更新整備事業				水道部	施設課	231, 459	0	☆☆			現状維持
	05	05		配水管等耐震化事業				水道部	施設課	509, 954	0	☆☆	現状のまま継続		
	05	05		净配水場施設維持管理事業				水道部	施設課	144, 882	0	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
		05		配水管等維持管理事業				水道部	施設課	98, 720	\circ	☆☆			現状維持
	05	05		県水適正受水の確保事業				水道部	施設課	569, 345	_	2	現状のまま継続		
		05		水の有効活用推進事業				水道部	経営課	650	\circ	☆☆	現状のまま継続		
	05	05		良質な水の確保事業				水道部	施設課	0	\circ	☆☆	現状のまま継続		
	05	05		水質測定機器等の整備及び維持管理事業				水道部	施設課	18, 803	\circ	2	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	05	05		自己水源井の更新及び維持管理事業				水道部	施設課	33, 103	0	2	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	05	05	06	民間への業務委託推進事業				水道部	経営課	83, 658	0	2	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	05	05	06	直結給水向上事業				水道部	経営課		0	2	現状のまま継続	現状維持	現状維持
Ш															
										1, 690, 575					
				「細蝠】 ・細蝠/+/エレノ	1 * + >		$\overline{}$	<u> </u>	▲ . + + + : = 5 転が・	L 7 / TWA A ST	/TE 1	4 4 IUX =0	0 A A 1017 I	- MT -M	1 1 L

施策評価シート(対象:H30年度実施施策)

総合計画の体系	章(施策の柱)	5 都市基盤・環境	担当部 ● 建設部	
心口可凹の下穴	節	6 治水と水循環によるまちづくり	THE	

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 市では)

道路、公園、上下水道等の都市基盤及び公共交通の整備や、自然と 調和した良好な環境と景観に配慮した街並みの形成が進み、やすら (10年後の八潮 ぎと潤いを感じながら、市民が安全・快適に暮らしています。 また、市民が、主体的に美化活動や環境活動等に取り組み、地域の 生活環境を守るまちとなっています。

基本目標

河川改修や排水施設等の整備が進み、市民が水害に対する 安全性が向上したまちで暮らしています。また、公共下水 道整備区域の拡大により、生活排水等が適切に処理され、 河川等の水質が守られるとともに、下水道事業の持続可能 な経営が行われています。

		現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	成果指標	計画・目標 実績		計画・目標								
			実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	 公共下水道普及率(人口)	74. 70%	_	_	_	_	80%	_		_	_	87%
Ū	公共 小追自及中 (八口)	_	77. 2%	78. 9	79. 3							
0	公共下水道水洗化率(人口)	88. 60%	_	_	Ī		94%				_	96%
4	公共「小道小花化平(八百)	_	91.3%	91.6	91.6							
3			_	_	Ī	Ī			ĺ	Ī	_	
0		_										
4			_	_	Ī						_	
4		_										
(5)			_	_	_	_		_	_	_	_	
(3)		_										

	施策の内容	H30年度 事業费(4円) 事務事業数			総合評価		担当課
		事業費(千円) 予份争未知		順調	順調 概ね順調 遅れ		
	治水対策の推進	397, 824	5	0	5		道路治水課、下水道課
	維持管理の充実	856, 602	5	0	4	1	道路治水課、下水道課
	水質汚濁の防止	2, 260, 552	5	2	3	0	下水道課
4	河川改修事業の促進	0	1	0	1	0	道路治水課
5							
6							
7							
8							
9							
	計	3, 514, 978	16	2	13	1	

総合計画	章(施策の柱)	5 都市基盤・環境	評価主体(部名)	建設部				
の体系	節	6 治水と水循環によるまちづくり	評価者名	荒川 俊				
		推進:雨水幹線等の整備を推進するとともに、内水排除						
評価主体が		充実:維持管理体制を充実し、計画的に点検・改修を行	うとともに、耐震化を	推進する。また、排水施設の更新・改修や排水				
推進する		せつ等、適正な維持管理を行う。						
施策の概要		防止:中川等の水質汚濁を防止するため、公共下水道	汚水)の整備を積極的	に行う。また、水洗化促進の取組を行い、水洗				
心束の似女	化率の向上を図るとともに、安定した下水道経営を推進する。							
	(4) 河川改修事業	業の促進:中川等について、国や県による改修事業を仮	進する。					

3. 別のカカ州	
	(説明)
施策の 実施状況	 (1) 治水対策の推進:雨水幹線整備46.0m、雨水管渠整備82.0m(区画整理分)、水路整備工事222m、水路応急工事59件、市民要望対応(職員対応136件) (2) 維持管理の充実:下水道管渠の清掃・中継ポンプ場の維持管理、改修工事、南後谷ポンプ場改修工事、排水路のしゅんせつ、清掃の実施、市内排水機場等の修繕、更新工事 (3) 水質汚濁の防止:下水道普及率79.3% 汚水管渠整備4.5Km (4) 河川改修事業の促進:国、県への要望、整備に関する協議
課題	課題はほとんどない ● ある程度課題がある 大きな課題がある (1)公共下水道 (雨水)の整備には、多くの費用と時間を要するため、下水道の整備が進むまでは、水路現況調査を実施し、効果的な水路の改修を計画的に進める必要がある。また、排水機場等の老朽化が著しいが、更新等の財源確保に課題がある。 (2)下水道施設について、アセットマネジメントによる計画的な更新、耐震化を図るためには、多額の財源確保が必要である。 (3)公共下水道 (汚水)の早期未普及解消に努めるとともに、水洗化率の向上を図る必要がある。

4. 節の評価 (部が展開する節の総合評価)

総合評価	評価理由
☆☆	各事業ともおおむね順調と評価できるものの、今後の事業実施に
概ね順調	あたっては、多額の事業費を要するなどの課題がある。

5. 今後の方針(部が展開する節の方針)

0. / (文 0 7 7) 至	「「印か成用りる」			1 .	
	■現状のまま推進	見直して推	進	大幅に見直し	て推進
方向性	-				
		→ 重点	化(拡充)	縮小	その他
施策の展開方針	(説明) ・中排除後ののとという。 中川川河 機能のののである。この対象をである。 一般である。 一般では、 一般である。 一般である。 一般である。 一般である。 一般である。 一般である。 「我のである。	国上をしている。 国るが行にことでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	、 ボ備水、 事計 大き 大き 大き 大き 大き 大き 大き 大き 大き 大き	プ場や幹線の は、多さの は、別で は、別で は、別で は、別で は、別で は、別で は、別で は、別で	等費詰対 ると ハめ足の用果策 と長 地る進備時 も寿 のと、
■重点事業(音					
施策コー 章 節 飾 権	— 麻雀の	内容		事務事	業

- 4	■重点事業(即で0事業なで)										
	施策コード			施策の内容	事務事業						
	章	節	施策	ル東の内谷	争伪争未						
1	05	06	01	治水対策の推進	水路整備事業						
2	05	06	01	治水対策の推進	排水機場施設整備事業						
3	05	06	01	治水対策の推進	雨水整備事業						
4	05	06	03	水質汚濁の防止	汚水整備事業						
5	05	06	02	維持管理の充実	維持管理事業						

※施策(節)を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆:順調(最終目標達成に向け、順調に成果があがっている) ☆:遅れ(このままでは、最終目標の達成が難しい)

主		をコー		事成りる事務事業の計画和素(別	主	戦	公公		よ計画工体で表す	H30年度事業費		411 A I	1 (1)	投入資源		
体			施策	事務事業名	要	略	約	担当部	担当課	(決算額:千円)	課題	総合評価	方向性	事業費	労働量	
	05	06	01	水路整備事業				建設部	道路治水課	50, 603	•	☆☆	見直して継続	増加	増加	
	05	06	01	排水機場施設整備事業				建設部	道路治水課	116, 675	•	☆☆	見直して継続	現状維持	現状維持	
	05	06	01	都市下水路整備事業				建設部	下水道課	48, 320	•	2	現状のまま継続	現状維持	現状維持	
	05	06	01	雨水流出抑制対策事業				建設部	下水道課	320	0	$^{\updownarrow}$ $^{\updownarrow}$	現状のまま継続	現状維持	現状維持	
	05	06	01	雨水整備事業				建設部	下水道課	181, 906	0	2	現状のまま継続	増加	増加	
	05	06	02	排水路維持管理事業				建設部	道路治水課	101, 445	0	☆☆	見直して継続	増加	増加	
	05 06 0		02	水路管理事務				建設部	道路治水課	7, 551	0	☆☆	見直して継続	増加	増加	
	05 06 02		02	排水機場施設維持更新事業				建設部	道路治水課	88, 758	•	☆	見直して継続	増加	増加	
	05	06	02	施設改修事業				建設部	下水道課	55, 800	0	☆☆	見直して継続	増加	増加	
	05	06	02	維持管理事業				建設部	下水道課	603, 048	0	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持	
	05	06	03	公共下水道推進事業				建設部	下水道課	900, 000	0	$^{\uparrow}$	現状のまま継続	現状維持	現状維持	
	05	06	03	一般管理事務				建設部	下水道課	27, 495	0	☆☆	見直して継続	現状維持	現状維持	
	05	06	03	中川流域下水道建設事業				建設部	下水道課	161, 807	_	$^{\uparrow}$	現状のまま継続	現状維持	現状維持	
	05	06	03	汚水整備事業				建設部	下水道課	1, 168, 274	0	☆☆	現状のまま継続	増加	増加	
	05	06	03	水洗化促進事業				建設部	下水道課	2, 975	0	☆☆	見直して継続	現状維持	現状維持	
	05	06	04	河川改修促進事業				建設部	道路治水課		0	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持	
						-	-			3, 514, 978	部の事	業費計				
_					10 1.		$\overline{}$	ナフロ広部時だナフ	▲ エナル=田邸だ	ナフ / 『砂八八三正	/ ¥	A A 10122-10	n i ineri	_ III = EE	مل المار ال	

施策評価シート(対象:H30年度実施施策)

				37 \\	
総合計画の体系	章(施策の柱)	5 都市基盤・環境	担当部	建設部	都市デザイン部
心口 三回 の 本永一	節	7 安全で良質な住環境づくり	1년 크 미 ⁾		
1. 節の概要					※●は評価主体

市では)

道路、公園、上下水道等の都市基盤及び公共交通の整備や、自然と 分野別将来目標 (10年後の八潮 ぎと潤いを感じながら、市民が安全・快適に暮らしています。 また、市民が、主体的に美化活動や環境活動等に取り組み、地域の 生活環境を守るまちとなっています。

基本目標

様々な世代、生活様式に対応した住宅が安定して供給さ れ、市民が良質な住まいで安心して暮らしています。

		現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	成果指標										計画・目標	
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
(I	「八潮市市営住宅長寿命化計画」に基づ く改修率(共同施設、住戸)	0%	_	_	_	=	100%	_	=	_	=	100%
Ū.		_	20%	20%	40%							
0	住宅の耐震化率	78. 80%	_	_	_	_	95%	_	_	_	_	_
٧	正 [17] [10] [20] [10]	_	82	83	84							
3			_	_	_	_		_	_	_	_	
0		_										
(4)			_	_	-	_		-		_	_	
4		_										
(5)			_	_	_	_		_	_	_	_	
		_										

	 施策の内容	H30年度	事務事業数		総合評価		担当課
		事業費 (千円)	尹 孙尹未致	順調	概ね順調		
	市営住宅の充実	107, 898	3	0	3		市営住宅課
2	良質な住宅確保の促進	13, 429	4	1	1	2	市営住宅課、都市計画課、開発建築課
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
	計	121, 327	7	1	4	2	

総合計画	章(施策の柱)	5	都市基盤・環境	評価主体(部名)	建設部
の体系	節	7	安全で良質な住環境づくり	評価者名	荒川 俊
評価主体が 推進する 施策の概要	施策を実施で	トる。	:居住環境を維持するため、適宜修繕等を行い、更新期のまた、中層市営住宅については、「八潮市市営住宅 合促進:高齢者や障がいのある人への配慮、福祉の施賃	長寿命化計画」に基っ	づき、計画的に改修工事を実施する。

3. 即の分析	(部が展開する即の分析)
施策の 実施状況	(説明) (1) 市営住宅の充実 ・市営住宅の居住環境を維持するため、修繕等を実施した。 ・更新期を迎えている低層市営住宅のうち、老朽化が著しい大曽根住宅について、土地区画整理事業の移転に伴い既存入居者の住み替え先として、八潮団地6戸の借上げを実施した。 (2) 良質な住宅の供給促進 ・高齢者の居住の安定を確保するため、高齢者向け優良賃貸住宅へ家賃減額補助を行なった。
課題	課題はほとんどない ■ ある程度課題がある 大きな課題がある (1) 市営住宅の充実 ・低層市営住宅の整備については、市営住宅整備計画に基づき、民間賃貸住宅の借上げを計画的に実施するため、公募方法、地域住宅要件、選定基準等、十分に検討する必要がある。 ・市営住宅の改修工事等の財源として、国庫補助金を活用しているが、要望額に対する配分率が低いため、市の財政負担が増となっている。
• # o = T / T	(如杉屋町十7年の外入部庫)

4. 節の評価(部が展開する節の総合評価)

総合評価	評価理由
☆☆ 概ね順調	・土地区画整理事業の移転に伴い、大曽根住宅について、八潮団地6戸の借上げを実施した。 ・高齢者向け住宅については、民間が整備する高齢者向け優良賃貸住宅に対する支援を行い、居住の安定が図られた。 ・長寿命化を図るべき中層市営住宅である大原団地1号棟の改修工事を実施した。

5. 今後の方針(部が展開する節の方針)

5.	今後	全のア	亍針	(部か展開する)	カのフ	5針)								
				■現状のまま推進		見直し	て推進		大幅に見	見直して	て推進			
	方向	性		-			 重点化(拡 <u>;</u>	充)	縮	小		- その他		
Æ	施策展開フ	方針		説明) 長寿命化を図る 長寿命化計る。 更新期を迎えて 整備計画に基 を進める。	基づいる	がき、 。低層	財政負担 市営住宅	目を考	き慮し、 oいてに	計画は、計画	町的(さ		
# #		▼末 をコー		で5事業まで) I										
	章	節	施策	施策の	内容	!			事	務事	業			
1	1 05 07 01 市			市営住宅の充実			市営	住宅	已改修事	事業				
2	05	05 07 01 市営住宅の充実			-		市営住宅管理事業					業		
3	05 07 01 市営住宅の充実			-		市営	市営住宅建替等事業							
4	4 05 07 02 良質な住宅確保(の促	進	高歯	計者向	け優良	是賃貸	往年	它整備事業			
5														

※施策(節)を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆:順調(最終目標達成に向け、順調に成果があがっている) ☆:遅れ(このままでは、最終目標の達成が難しい)

	主 施策コード		サルチャッコ		戦			10以書	H30年度事業費	-0 8 T	//> A =∓/∓	 14	投入資源	
体 章		施策	事務事業名	要	略	約	担当部	担当課	(決算額:千円)	課題	総合評価	方向性	事業費	
1 05		01	市営住宅改修事業				建設部	市営住宅課	95, 396	0	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
1 05	07	01	市営住宅管理事業				建設部	市営住宅課	11, 574	0	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
1 05	07	01	市営住宅建替等事業				建設部	市営住宅課	928	•	☆☆	現状のまま継続	増加	増加
1 05	07	02	高齢者向け優良賃貸住宅整備事業				建設部	市営住宅課	12,660	0	2	現状のまま継続	現状維持	現状維持
05	07	02	住生活基本計画策定事業				都市デザイン部	都市計画課	0	0	☆	現状のまま継続	増加	増加
05	07	02	建築行政事務				都市デザイン部	開発建築課	303	0	2	現状のまま継続	増加	増加
05	07	02	民間住宅等耐震化促進事業				都市デザイン部	開発建築課	465	•	☆	見直して継続	増加	増加
\Box														
\Box														
	1	1												
	1	1												
H	1	1												
H	1	1												
H														
			「無題】・無題けばし	1 * 4 -		_	L 7 10 == 0 = 1	▲ . + キ+> == 転が:				n i inti	we am	, »= I

施策評価シート(対象:H30年度実施施策)

			707141 IP 7 1 (7/3/2) 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	<u> </u>	<u>,, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,</u>	Z N /	
総合計画の体系	章(施策の柱)	5	都市基盤・環境	担当部		都市デザイン部	建設部
	節	7	安全で良質な住環境づくり	IE크마			
1. 節の概要							※●は評価主体

分野別将来目標 市では)

道路、公園、上下水道等の都市基盤及び公共交通の整備や、自然と 調和した良好な環境と景観に配慮した街並みの形成が進み、やすら (10年後の八潮 ぎと潤いを感じながら、市民が安全・快適に暮らしています。 また、市民が、主体的に美化活動や環境活動等に取り組み、地域の 生活環境を守るまちとなっています。

基本目標

様々な世代、生活様式に対応した住宅が安定して供給さ れ、市民が良質な住まいで安心して暮らしています。

		現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	成果指標			計画・目標								
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
1	「八潮市市営住宅長寿命化計画」に基づ く改修率(共同施設、住戸)	0%	_	_	_	_	100%	_	_	_	_	100%
1	<改修率(共同施設、住戸)	_	0%	0.2								
2	住宅の耐震化率	78. 80%	_	_	_	_	95%	_	_	_	_	_
٩	压品。	_	82	83	84							
3			_	_	_	_		_	_	_	_	
0												
4			_	_	Ī	_			Ī	Ī	_	
4)												
(5)			_	_		_					_	
		_										

	 施策の内容	H30年度	事務事業数		総合評価		担当課
		事業費 (千円)	争伤争未效	順調	概ね順調		
	市営住宅の充実	107, 898	3	0	3		市営住宅課
2	良質な住宅確保の促進	13, 429	4	1	1	2	市営住宅課、都市計画課、開発建築課
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
	計	121, 327	7	1	4	2	

	合計画	章(施策の柱)	5	都市基盤・環境	評価主体(部名)	都市デザイン部
0	の体系	節	7	安全で良質な住環境づくり	評価者名	中村 史朗
推	田土体か 進する 生の概要	・民間住宅の耐震性・住宅の安全性を確	生を4 催保	理を行い、住生活基本計画策定に向けた調査、研究を7 確保するよう耐震相談や、簡易耐震診断を行うととも0 するため、建築確認検査制度を適正に運用します。 確保するため、ブロック塀等の安全対策を推進します。	こ、耐震化に関する	助成制度を実施します。

ווי נל לטיום . ט	(即2)成用する即の方例/
施策の 実施状況	(説明) ・埼玉県マンション管理士会主催の無料相談会を埼玉県東部6市で順次実施した。(八潮市は、8月と2月に実施) ・民間住宅の耐震性を確保するよう昭和56年6月以前に旧耐震基準で建築された木造住宅の耐震診断・耐震改修補助金交付制度についてPRを実施し、耐震診断1件、耐震改修1件に補助金を交付した。 ・建築基準法等、関係法令に基づき適性に事務を執行した。 ・通学路沿いのブロック塀等の実態調査を実施するとともに、所有者に対し安全点検を啓発した。 ・危険ブロック塀等に関する補助金交付制度を創設した。
課題	#題はほとんどない ある程度課題がある ◆ 大きな課題がある ・ 住生活基本計画の策定には、高齢者の居住に関することや子育てに適した住宅に関すること及び公営住宅に関することなど、庁内における横断的な体制等の検討が必要である。・ 地震による建築物及びブロック塀等の倒壊の危険性について、所有者の意識を高めていく必要がある。・ 関係法令の適正な執行や違反建築物に対応するためには、有資格者の育成・確保や十分な経験を積む必要がある。

4. 節の評価(部が展開する節の総合評価)

総合評価	評価理由
☆	・住生活基本計画の策定に向けた準備が進んでいない。 ・通学路沿いのブロック塀を調査し、所有者に対し安全対策を啓 発するとともに、危険ブロック塀等撤去改修補助制度を創設し
遅れ	・耐震診断、耐震改修補助金制度について、啓発活動を行った結果、利用は診断と改修の各1件であった。 以上のことから、総合評価を遅れと判断した。

5. 今後の方針(部が展開する節の方針)

ა.	学体	えの力	1針	(部か展開する)	カのナ	1針)						
				現状のまま推進		見直し	て推進		大幅	こ見直し	て推進	<u>É</u>
	方向	性				·:	 重点化(拡	 充)		縮小		- その他
居	施策	分 針	・V・帯に・シ重化	説明) 住生活基本る。 本書のでは、本書のでは、本語では、本語では、本語では、本語では、本語では、本語では、本語では、本語	ク対付確ご基準	塀策制保きのに度す、防	安全性を 会いな の拡た る 子 に 取 が を が れ た が れ た が れ た が れ た が れ た が れ た れ た	・確保に 発発に第率 を発する	R 舌つとと こと	たため、 と推討る 所 で か で で で で で で で で で で で で で で で で で	する ままり ままり 執行 を 築け 入げ は かけ	助とう。 交も マを マを で で で で で で で で で を で を に で を に で を に に に に に に に に に に に に に
= 3	点事			で5事業まで) -			1					
	施策コー			施策の	内容					事務事	業	
1	05	07	02	良質な住宅確保	の促	進	民間	住宅	三等而	震化(足進	事業
2												
3												
1												

※施策(節)を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆:順調(最終目標達成に向け、順調に成果があがっている) ☆:遅れ(このままでは、最終目標の達成が難しい)

	施策コード			10年初年末の計画相末(2)		戦			6日岡工作と公う	H30年度事業費				投入資源	
体		節		事務事業名	要	略	約	担当部	担当課	(決算額:千円)	課題	総合評価	方向性		労働量
	05			市営住宅改修事業				建設部	市営住宅課	95, 396	0	☆ ☆	現状のまま継続		
	05	07	01	市営住宅管理事業				建設部	市営住宅課	11, 574	0	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	05	07	01	市営住宅建替等事業				建設部	市営住宅課	928	•	☆☆	現状のまま継続	増加	増加
	05	07	02	高齢者向け優良賃貸住宅整備事業				建設部	市営住宅課	12,660	0	$\triangle \triangle \triangle$	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	05	07	02	住生活基本計画策定事業				都市デザイン部	都市計画課	0	0	$\stackrel{\wedge}{\simeq}$	現状のまま継続	増加	増加
	05	07		建築行政事務				都市デザイン部	開発建築課	303	0	**	現状のまま継続	増加	増加
	05	07	02	民間住宅等耐震化促進事業				都市デザイン部	開発建築課	465	•	$\stackrel{\wedge}{ m T}$	見直して継続	増加	増加
												業費計			
				「田町」、田町1十1エレノ	18451		\sim $^{-}$	ナフ50 中田 15 上フ	▲ . + キャ: 珊頭が:	トフ / ▼4小人= 正	/TT 1 A	A A 1075-15	1 TOT 1	_ 비포트田	, , , ,

施策評価シート(対象:H30年度実施施策)

		707171 IP 7 1 17 27 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		
総合計画の体系	章(施策の柱)	5 都市基盤・環境	担当部 生活安全部	
心口可凹の存木	節	8 環境にやさしいまちづくり	THIR	

1. 節の概要

※●は評価主体

市では)

道路、公園、上下水道等の都市基盤及び公共交通の整備や、自然と **分野別将来目標** 調和した良好な環境と景観に配慮した街並みの形成が進み、やすら (10年後の八潮 ぎと潤いを感じながら、市民が安全・快適に暮らしています。 また、市民が、主体的に美化活動や環境活動等に取り組み、地域の 生活環境を守るまちとなっています。

基本目標

市民は、水と豊かな緑に囲まれた地域の自然や生活環境を 守り、自然とふれあいながら生活しています。また、市民 と行政が一体となって、地球温暖化の防止のための省エネ ルギーやエコ活動等の環境活動に取り組んでいます。

		現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	成果指標			計画・目標							計画・目標	
			実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
1	市の事務・事業に伴い排出する温室効果 ガス排出量	4,637t-C02	_	_	_	_	4,308 t-C02	_	_	_	_	_
1	(埼玉県の中期目標「平成32年までに平成17年比25%削減」に進じる。)	_	5,824 t -co2	6,617 t -co2	6,569 t -co2							
2	市内の河川の水質基準達成率	50%	_	_	_	_	60%	_	_	_	_	65%
a	用于*/国外国*/// 夏盈平足/从干	_	70%	60%	50%							
3	市内における太陽光発電設備の発電容量	8, 878 k W	_	_			9, 640 k W			_	_	_
0	の累計	_	12, 191 k w	12, 932 k w	14, 021 k w							
(4)			_	_						_		
4)		_										-
(5)			_	_	Ī	Ī		ĺ	ĺ	_		
		_										

	 施策の内容	H30年度	事務事業数	総合評価			担当課		
		事業費 (千円)	尹仍尹未致	順調	概ね順調				
	地球環境問題への対応	1, 500	1	0	1		環境リサイクル課		
2	環境保全対策への推進	311	1	0	1		環境リサイクル課		
3	環境汚染防止への取組	4, 925	2	1	1	0	環境リサイクル課		
4									
5									
6									
7									
8									
9									
	計	6, 736	4	1	3	0			

総合計画	章(施策の柱)	5	都市基盤・環境	評価主体(部名)	生活安全部
の体系	節	8	環境にやさしいまちづくり	評価者名	武内清和
推進する施策の概要	テムの構築を図って 2. 環境保全対策の 3. 環境汚染防止へ	で環境 つ推済 への I	対応:「八潮市環境基本計画」及び「八潮市地球温暖イ 境負荷の低減に努めます。 進:市民、NP0等と協働して生活排水対策や希少野生動 取組:環境汚染物質や放射線量の測定を実施し良好な生 実態を把握し適切な指導に努めます。	植物の保護に努めま	:す。

3. 即07万机	(前が展開する前の分析)
施策の実施状況	(説明) ・八潮市地球温暖化対策実行計画に基づき、省エネルギーの推進やエコオフィスに取り組み二酸化炭素の排出量削減に努めました。 ・住宅用太陽光発電システム設置費補助金を50件交付しました。 ・環境基本条例に基づき、環境報告書を作成し公表するとともに、各種イベントにおいて環境保全等の啓発に努めました。 ・大気汚染31件、水質汚濁7件、騒音62件、振動15件、悪臭23
	件、その他29件の苦情に対応しました。 ・農産物並びに学校、保育所及び幼稚園等の給食食材の放射能濃度を測定し安全を確認しました。
	課題はほとんどない ある程度課題がある 大きな課題がある
課題	・低炭素化や省エネルギーなど持続可能な循環型社会への関心は 高まりつつあるが、今後市民等の具体的な行動に結びつける必要 がある。 ・生活環境に著しく影響を与えるような公害は減少しているが、 地域コミュニティに起因する感情的な苦情への対応が求められて いる。 ・放射能への関心は低くなりつつあるが、引き続き、放射能濃度 の測定を実施し市民生活の安全を確保するとともに、事業に要し た経費の補償を東京電力に請求していく必要がある。

4. 節の評価(部が展開する節の総合評価)

総合評価	評価理由
☆☆ 概ね順調	「八潮市環境基本計画」及び「八潮市地球温暖化対策実行計画」に基づき、エコオフィスや住宅用太陽光発電システム設置補助金を交付するなど二酸化炭素の排出削減に取り組んだこと。また、公害苦情に適切に対応するとともに、放射能濃度を測定し市民生活の安全に努めていたことから、概ね順調に成果があがっていると評価する。

5. 今後の方針(部が展開する節の方針)

05 08 01 地球環境問題への対応

05 08 03 環境汚染防止への取組

| 05 | 08 | 03 | 環境汚染防止への取組

| 05 | 08 | 02 | 環境保全対策への推進

3. ラ後の万型	計(部が展開する節の万針)	
	● 現状のまま推進 見直して推っ	性 大幅に見直して推進
方向性	- 	
	→ 重点化	と(拡充) 縮小 その他
施策の展開方針	携を図るとともに、市民等の取する。 ・ライフスタイルの変化や人間まえ、公害苦情に対する親切丁・住宅用太陽光発電システム設エネファーム及び蓄電池等の制・仮置きしている除染した土壌京電力に対する要望を検討する	置補助金について、HEMS、 度拡充を検討する。 の処分について、国、県及び東
	部で5事業まで)	
施策コー 章 節 施	┷━━━ 施策の内窓 ┃	事務事業

※施策(節)を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

循環型社会推進事業

環境保全対策推進事業

公害対策事業

放射能対策事業

☆☆☆:順調(最終目標達成に向け、順調に成果があがっている) ☆:遅れ(このままでは、最終目標の達成が難しい)

										11U. 1				
主 体 章	東コ-	- F	事務事業名	主	戦	公	担当部	担当課	H30年度事業費	課題	総合評価	方向性		資源
		施策		要	略				(決算額:千円)					労働量
■ 05			循環型社会推進事業				生活安全部	環境リサイクル課	1, 500	•	☆☆	現状のまま継続		
■ 05			環境保全対策推進事業				生活安全部	環境リサイクル課	311	\circ	☆☆	見直して継続	増加	増加
■ 05	08		公害対策事業				生活安全部	環境リサイクル課	3, 486	•	2	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■ 05	08	03	放射能対策事業				生活安全部	環境リサイクル課	1, 439	0	2	見直して継続	削減	削減
\vdash														
\vdash														
-														
\vdash														
\vdash	ļ													
\vdash														
								<u> </u>	6, 736	部の事	業費計			
			「理題】・理題はほとん。	ば +>		<u> </u>	セス 印 由 細 野 が セ 2	、 ▲・大きた理題が				F _A_A #RII #		~ , □ 40

施策評価シート(対象: H30年度実施施策)

総合計画の体系	章(施策の柱)	5 都市基盤・環境	担当部 ● 生活安全部	
心口可凹の下不	節	9 清潔できれいなまちづくり	THE	

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 市では)

道路、公園、上下水道等の都市基盤及び公共交通の整備や、自然と 調和した良好な環境と景観に配慮した街並みの形成が進み、やすら (10年後の八潮 ぎと潤いを感じながら、市民が安全・快適に暮らしています。 また、市民が、主体的に美化活動や環境活動等に取り組み、地域の 生活環境を守るまちとなっています。

基本目標

循環型社会の構築に向けて、市民、事業者、行政が一体と なり様々な施策に取り組み、ごみの資源化及び減量化が進 んでいます。また、排出されたごみが適正に処理されてい ます。さらに、市民が主体となって「自分たちのまちは自 分たちできれいに」を基本に美化活動が実施され、きれい な環境が整っています。

	D == 11-1=	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		R5年度		R7年度
	成果指標							計画・目標				
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	一人一日当たりのごみ搬出量(家庭系可 燃ごみ)	570グラム	_	_	_	_	545グラム	_	_	_	_	520グラム
		_	565グラム	549グラム	546グラム							
2	資源化率(可燃ごみ・不燃ごみ・資源ごみ(事業系含む)のうち、資源となるも	12.00%	_	_	_	_	15%	_	_	_	_	20%
2	のの割合)	_	11.7%	15.3%	15.4%							
3			1	_	-	1		_				
0		_										
4				_	-			_				
4)		_										
(5)			Ī	_	Ī	ĺ		_				
5		_										

	 施策の内容	H30年度	事務事業数		総合評価		担当課				
		事業費 (千円)	尹孙尹未致	順調 概ね順調		遅れ	1三二杯				
	ごみの広域処理の充実	448, 757	1	1	0		環境リサイクル課				
	ごみの独自処理の充実	168, 153	3	0	1		環境リサイクル課 リサイクルプラザ				
	ごみの減量化・資源化の推進	355, 647	4	2	2		環境リサイクル課、環境リサイクル課 リサイクルプラザ				
4	環境衛生事業の充実	13, 213	5	2	2	1	環境リサイクル課				
5	環境美化活動の推進	3, 197	2	2	0	0	環境リサイクル課				
6											
7											
8											
9											
	計	988, 967	15	7	5	3					

総合計		章(施策の柱)	5	都市基盤・環境	評価主体(部名)	生活安全部
の体系	系	節	9	清潔できれいなまちづくり	評価者名	武内清和
				充実:東埼玉資源環境組合及び構成市町と連携し、ご 充実:ごみの資源化を推進するため、リサイクルプラ [・]		
評価主体 推進す	ቀ 刀ነ			元美・こみの員派化を推進するため、リリイクルノノ 原化の推進:分別排出の徹底を図るため、周知方法や2		
施策の制	西田			し、奨励金を交付し活動を支援します。		
100 JC 00 1	<i>7</i> , _	4.環境衛生事業の 進します。	の充分	実: 害虫の駆除や雑草の除去、狂犬病予防注射や登録	などの動物愛護、浄	化槽の適正管理など多岐にわたる環境衛生事業を推

3. 別の別別	(部が展開する即の分析)
施策の 実施状況	(説明) ・東埼玉資源環境組合に分担金を支出するとともに、構成市町と連携しごみの減量化に取り組みました。 ・リサイクルプラザの適切な維持管理に努め、ごみの資源化に取り組みました。(プラザ内の資源化率76.48%) ・資源回収を実施した80団体に対し、奨励金7,101,700円を交付しました。 ・狂犬病予防法に基づき、2,914頭に注射しました。 ・飼い主不明の犬や猫その他動物合わせて430頭を収容し、火葬から納骨までの供養を行いました。
課題	課題はほとんどない ● ある程度課題がある 大きな課題がある ・1人1日当たりの家庭系可燃ごみの排出量が他市に比べ多いため、更なるごみの減量化に取り組む必要がある。・リサイクルプラザの長寿命化を図りつつ、建て替えの検討が必要である。・ごみの分別を徹底し、資源化率の向上を図る必要がある。・リサイクルフェアやゴミゼロ運動がマンネリ化しているため、事業展開の工夫が求められる。・県から移譲を受けた浄化槽事務について、引き継いだ台帳の内容に一部不十分な点が見受けられる。

4. 節の評価(部が展開する節の総合評価)

総合評価	評価理由
☆☆ 概ね順調	東埼玉資源環境組合及び構成市町と連携してごみの減量化や資源 化に取り組んだことが成果指標にも表れており、このことから概 ね順調に成果があがっていると評価する。

5. 今後の方針(部が展開する節の方針)

0. / 及 0 / / /) 並				
	■現状のまま推進	見直して推進	大幅に見直	正して推進
方向性	<u>-</u> .			
)) I-1 IT				
		▶ 重点化(拡充) 縮小	その他
施策の展開方針	・ごみの減量化を を推進する。 ・ごみの減量化を を推進する。 ・ごみのる。 ・ごみのとのである。 ・ごみのとのである。 ・ごみのとのである。 ・ごみのとのである。 ・ごみのとのでは、 ・ごみのといる。 ・ごみのといる。 ・ごみのといる。 ・ごみのといる。 ・ごみのといる。 ・ジンスののといる。 ・学を特査とした。 ・学を特査といる。	を向上させるだがを建て替えるであため地元町会でなどを実施する。 取組などを参考しては、下水道	ため、アプリの3 6際には、周辺5 6等と慎重に議 ける際には、前 6に検討する。	算入など分別の 環境整備事業と 論を進める。 列にとらわれず
■重点事業(音	邸で5事業まで)			
施第コー	ド			

	±- th												
	施領	ラコ-	ード	施策の内容	事務事業								
	章	節	施策	心束の内谷									
1	05	09	01	ごみの広域処理の充実	広域処理事業								
2	05	09	03	ごみの減量化・資源化の推進	ごみ収集運搬事業								
3	05	09	03	ごみの減量化・資源化の推進	リサイクル活動推進事業								
4	05	09	04	環境衛生事業の充実	環境衛生推進事業								
5	05	09	04	環境衛生事業の充実	動物愛護事業								

※施策(節)を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆:順調(最終目標達成に向け、順調に成果があがっている) ☆:遅れ(このままでは、最終目標の達成が難しい)

主	施領	€⊐-	ード	事務事業名	主	戦	公	担当部	担当課	H30年度事業費	課題	総合評価	方向性		.資源
	章	節			要	略	約			(決算額:千円)	HALVE?		731-312	事業費	労働量
	05	09		広域処理事業				生活安全部	環境リサイクル課	448, 757	_	2	現状のまま継続	増加	増加
	05	09		リサイクルプラザ管理運営事業				生活安全部	環境リサイクル課 リサイクルプラザ	161, 280	\circ	**	見直して継続	増加	増加
	05	09		リサイクルプラザ改修・備品整備事業				生活安全部	環境リサイクル課 リサイクルプラザ	5, 949	•	$\stackrel{\wedge}{\Sigma}$	見直して継続	増加	増加
	05	09		リサイクルプラザ環境整備事業				生活安全部	環境リサイクル課 リサイクルプラザ	923	•	$\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$	見直して継続	現状維持	増加
	05	09		清掃行政推進事業					環境リサイクル課	160	_	2	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	05	09		し尿処理事業					環境リサイクル課	10, 323	_	2	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	05	09		ごみ収集運搬事業					環境リサイクル課	335, 654	0	☆☆	現状のまま継続		増加
	05	09	03	リサイクル活動推進事業				生活安全部	環境リサイクル課 リサイクルプラザ	9, 511	\circ	**	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	05	09		畜犬登録等事業				生活安全部	環境リサイクル課	167	0	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	05	09		環境衛生推進事業				生活安全部	環境リサイクル課	3, 076		$^{\uparrow}$	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	05	09	04	防疫・草刈事業				生活安全部	環境リサイクル課	3, 736	0	$^{\uparrow}$	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	05	09	04	動物愛護事業				生活安全部	環境リサイクル課	2, 116		**	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	05	09	04	净化槽適正管理促進事業				生活安全部	環境リサイクル課	4, 118	0	☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	05	09		ゴミゼロ運動事業				生活安全部	環境リサイクル課	2,000	I	$^{\uparrow}$	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	05	09	05	清掃美化活動推進事業				生活安全部	環境リサイクル課	1, 197	0	$^{\uparrow}$	現状のまま継続	現状維持	現状維持
П															
П															
П															
П															
П															
Π															
Π															
										988, 967	部の事	業費計			
_							_								

		70711 H 7 1 17 27 1 110 0	1 /2 / 1/10/		
総合計画の体系	章(施策の柱)	6 新公共経営	担当部	● 市民活力推進部	
心口可凹の体示	節	┃ 1 市民との協働によるまちづくり	THE		
1. 節の概要					※●は評価主体

分野別将来目標 (10年後の八潮 市では)

まちづくりの主役である市民と行政とが情報を共有し、協働することにより、まちづくりが進められています。また、市内の企業・団体と力を合わせるとともに、近隣の自治体等とも連携を図り、自主的、自律的な運営が行われています。

行政が経営資源を最大限に活かし、民間企業の経営手法等も積極的 に取り入れながら、健全な行財政運営を行っています。 基本目標

市民と行政がともに力を合わせ、役割分担を行い、課題解 決に向け、自らが取り組んでいます。

	ab malle lat	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	成果指標			計画・目標							計画・目標	
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	審議会等の委員に対する公募の割合	15. 90%	_	_	_	_	20%	_	_	_	_	25%
Œ.	毎晩五寸ツ女只に 刈り (3.4.5.7.0.1)	_	18%	19.8%	18.8%							
(D)	まちづくり出前講座の利用者数	13, 499人	_	_	_	_	16,000人	_	_	_	_	20,000人
1	より 2 () 田町時生 */ 小川市 数	_	17,947人	16,924人	15,018人							
(3)	ボランティア・市民活動団体登録数	201団体	_	_	_	_	260団体	_	_	_	_	310団体
0	がファイナー 中民国勤団性立然数	_	222団体	235団体	229団体							
	NPO法人登録数	16団体	_	_	-	_	20団体			_	_	25団体
4	111 0 位入豆虾菜	_	22団体	22団体	22団体							
(5)			_	_	_	_		_	_	_	_	
0		_										

	 施策の内容	H30年度	事務事業数		総合評価		担当課
		事業費 (千円)	尹孙尹未致	順調	概ね順調		
1	協働によるまちづくりの推進	6, 050	1	0	1	0	市民協働推進課
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
	計	6, 050	1	0	1	0	

総合計画	章(施策の柱)	6	新公共経営	評価主体(部名)	市民活力推進部
の体系	節	1	市民との協働によるまちづくり	評価者名	鈴木 圭介
評価主体が 推進する 施策の概要	協働によるまちづ・ ・各種審議会や委員 を推進する。		の推進 等、市民が主体的に参画できる機会や場を拡充するとる。	ともに、まちづくり	出前講座を活用し、市民との協働によるまちづくり

O. 知の//11	TO COURT CITED TO COULT		
施策の 実施状況	た。 ・市民まつりについて 125,000人の参加があ ・協働のまちづくり指 協働事業を実施した。 ・自治基本条例検証 会情勢にあるまちづく ・協働によるまちづく	推事業助成金について 長員会を設置し、自治基 的か検証を行った。 りを推進するため、市 に提言書」としてとり	働により開催し、 、2団体に交付し、 本条例の各条項が社 民活動推進委員会で まとめた。
課題	る仕組みづくりが必要 出前講座については、 利用回数が少ないメニ	● ある程度課題がある かいては、活動が広がる さとなっている。 同一利用者からの申請 ニューがあることなどか いるようなPRが必要で	が多いこと、また、 ら、多くの市民にメ

4. 節の評価(部が展開する節の総合評価)

総合評価	評価理由
☆☆ 概ね順調	審議会委員に対する公募委員の割合や出前講座の利用者数は概ね 目標値に達成している。また協働のまちづくり推進事業助成金の 活用実績など成果が上がっている。

5. 今後の方針 (部が展開する節の方針) 現状のまま推進 ■ 見直して推進 大幅に見直して推進

				現状のまま推進 ■ .	見直して推進		大幅に見直し	て推進
	方向	性		▶[重点化(拡充)	縮小	■ その他
原	施策景開力	与針	出ニ協携	説明) 出前講座メニューの周 ニューの募集や提供方法 動のまちづくりを推 考して、引き続き調査	法など調査 進するため	₹研究を う、市員	を行う。	
里里				で5事業まで)				
	章	節	施策	施策の内容			事務事	業
1	06	01	01	協働によるまちづくり	の推進協	場働のま	ミちづく り扌	推進事業
2								
3								
4								

※施策(節)を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆:順調(最終目標達成に向け、順調に成果があがっている) ☆:遅れ(このままでは、最終目標の達成が難しい)

<u>.</u>	施金	を 記 を コー	ード		1 =	戦	公公	1= +=	10.11 脚工所を扱う	H30年度事業費		4:: A I-		投入	.資源
体	章	節	ード 施策	事務事業名	要	戦略	約	担当部	担当課	(決算額:千円)	課題	総合評価	方向性		労働量
	06	01	01	協働のまちづくり推進事業				市民活力推進部	市民協働推進課	6, 050	0	☆☆	見直して継続	現状維持	現状維持
Г															
Г															
			•							6, 050	部の事	業費計			
				「細野」、細野什なし/	1:45		$\overline{}$	ナフロ広冊時だナフ	▲・ナキた 無 題 が :				1 TOT 1		\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \

総合計画の体系	章(施策の柱)	6 新公共経営	担当部 ● 企画財政部	総務部
心口可凹の存示	節	2 市民に開かれたまちづくり	生活安全部	

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 (10年後の八潮 市では)

まちづくりの主役である市民と行政とが情報を共有し、協働することにより、まちづくりが進められています。また、市内の企業・団体と力を合わせるとともに、近隣の自治体等とも連携を図り、自主的、自律的な運営が行われています。

行政が経営資源を最大限に活かし、民間企業の経営手法等も積極的 に取り入れながら、健全な行財政運営を行っています。 基本目標

行政が持つ情報が適切に分かりやすく市民に提供され、市 民の声が行政運営に反映される仕組みが整っています。ま た、行政が持つ情報が適切に管理・運用され、市民との信 頼関係が築かれています。

		現状値 計画・目標	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	成果指標		ま 実績	計画・日標	ま 実績	ま 実績	計画・日標	計画・日標	計画・日標	計画・日標	計画・日標	計画·目標 実績
	広報紙から必要な生活情報を得た人の割	実績 64.90%		<u>大恨</u>			70%	<u>大恨</u>				70%
	合	_	48.7%	_	_							
<u></u>	やしお840メール配信サービスの登録件数	1,227件	-	_	-	-	2,000件	_	-	_	_	3,000件
4	(しつの40) が旧旧り こハの豆啄什冢		2,179件	2,400件	2,704件							
3	地域情報サービス数			_			1件	_		_	_	2件
0	地域情報りころ数		Ī	_	Ī							
4			Ī	_	Ī			_				
4)												
(5)				_				-				
3		_										

	 施策の内容	H30年度	事務事業数		総合評価		担当課
		事業費 (千円)	争伤争未效	順調	概ね順調		The state of the s
	情報公開の充実・個人情報の保護	315	1	1	0	0	総務人事課
	広聴・広報の充実	25, 645	2	0	2	0	秘書広報課
3	情報交流の支援	57, 471	2	1	0	1	企画経営課 情報化推進担当、社会保障・税番号制度担当、市民課
4							
5							
6							
7							
8							
9							
	計	83, 431	5	2	2	1	

総合計画	章(施策の柱)	6	新公共経営	評価主体(部名)	企画財政部
の体系	節	2	市民に開かれたまちづくり	評価者名	前田 秀明
評価主体が 推進する	ジ、やしお840ヶ 情報交流の支援	: —)	等を市政に活かすため、市民意識調査や市民の声ボック レ配信サービス等の様々な媒体を通して広く市民等にお	是供するなど、広報注	舌動を充実する。
	・市民同士、また市ビスを提供する。	ī民。	と行政が情報交流を行い、コミュニケーションを図れる	るよう、セキュリテ	ィを確保したネットワークを活用し、地域情報サー

施策の 実施状況	(説明) 広聴事業では、市民の声ボックス等により市民要望を把握するとともに、各種相談事業を行った。 広報事業では、広報紙の編集・発行、市ホームページの更新・維持管理、やしお840メール配信サービス、パブリシティを行った。また、ホームページのシティセールス専用サイトやSNSを活用し、効果的な情報発信に努めた。さらに、ハッピーこまちゃんのぬいぐるみの作製やPR動画を制作を行い、シティセールスの推進を図った。 地域情報化推進事業では、SNSを活用した地域情報のコミュニケーションシステムの調査・研究を行った。
課題	課題はほとんどない ● ある程度課題がある 大きな課題がある 市民への広報紙の配布は新聞折込が主な方法であるが、新聞を購読していない世帯が増加傾向にある。このため、新聞を購読していない世帯の方にも広報紙の情報を提供するため、公共施設や民間施設への広報紙の設置や、ホームページへの掲載、やしお840メール配信により対応している。今後も、市民が適切に市政情報を取得できるよう、様々な手法を検討することが必要である。また、地域情報化についての計画を策定してから年数が経過しており、コミュニケーションシステムの環境も大きく変化しているため、現状に合わせたニーズの把握、システム導入の研究等が必

4. 節の評価 (部が展開する節の総合評価)

要となる。

総合評価	評価理由
	地域情報化推進事業については、情報化推進計画の見直しなどの 課題に対し遅れが見られるものの、広聴・広報事業については、 おおむね順調に事業が実施されており、全体としては概ね順調と 評価した。

5. 今後の方針(部が展開する節の方針)

 た策の展開方針 広聴事業については、市民の声ボックスやまちづくりを語るつどい、市民意識調査により、市民要望の把握に努める。広報事業については、広報紙、ホームページ、やしお8 4 0 メール配信サービス等の様々な媒体により広く市民に情報提供を行って広報活動の充実を図るとともに、市の様々な魅力を市内外に効果的に発信していく。地域情報化推進事業については、情報化基本計画を見直し、市民が求めるサービスに対応した地域情報化の実現を目指す。 ●重点事業(部で5事業まで) 施策コード		古向性		現状のまま推進		見直して推	進		大幅	こ見直し	て推進	É
 施策の展開方針 広聴事業については、市民の声ボックスやまちづくりを語るつとい、市民意識調査により、市民要望の把握に努める。広報事業については、広報紙、ホームページ、やしお840メール配信サービス等の様々な媒体により広く市民に情報提供を行って広報活動の充実を図るとともに、市の様々な魅力を市内外に効果的に発信していく。地域情報化推進事業については、情報化基本計画を見直し、市民が求めるサービスに対応した地域情報化の実現を目指す。 ▶ 直事業(部で5事業まで) 施策コード 章 節 施策 加策コード 章 節 施策 加策コード 章 節 施策 加策コード 章 節 施策の内容 加速の内容 上記の内容 上記の表の内容 上記の表の内容 上記の内容 上記のの表の内容 上記のの内容 上記ののの内容 上記のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	方	5向性			, <u></u>							-
広聴事業については、市民の声ボックスやまちづくりを語るつとい、市民意識調査により、市民要望の把握に努める。 広報事業については、広報紙、ホームページ、やしお840			(≩	光 印)		里点	化(拡き	元)		縮小		その他
施策コード 施策の内容 事務事業 1 06 02 02 広聴・広報の充実 広報事業 2 06 02 02 広聴・広報の充実 広聴事業 3	,,,		広ど広メを内地	聴事業について 歌事業民会のいまで 報事配にはまいてが でででででででででででででででででででででででででででででででででででいます。 ででででででいますができます。 ででででできますが、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは	査はスの信業に、等充しに	より、京広報紙、の様々な実を図ることについていている。	ド民 はなる は、媒と は、情	望のこと いまれる いまれる いまれる いまれる いまれる いまれる いまれる いまれる	の把握の記述の記述の記述の記述の記述の記述を記述されています。 基本	はいいます。 また	める。 し えに な を 見 に を 見	840 青報提供 魅力を市 直し、市
章 節 施策 施策の内容 事務事業 1 06 02 02 広聴・広報の充実 広報事業 2 06 02 02 広聴・広報の充実 広聴事業 3												
1 06 02 02 広聴・広報の充実 広報事業 2 06 02 02 広聴・広報の充実 広聴事業 3				施策の	内容					事務事	業	
2 06 02 02 広聴・広報の充実 広聴事業 3				庁職, 庁却の 去写	Ħ.		产和					
3	•	••							-			
		00 02	04	/ムルに /ム #以 > ノ ノ レ ラ	_		/ <u>/</u> / 4/0	アオ	Ξ.			
			_									
5	•		_									

※施策(節)を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆:順調(最終目標達成に向け、順調に成果があがっている) ☆:遅れ(このままでは、最終目標の達成が難しい)

	【別似】即で特成する事務事未の計画相未(対象十度100十度) ※■は計画工座で表す 100・1														
主 体	施第音	_{管コ} ー 節	一ド施策	事務事業名	主要	戦略	公約	担当部	担当課	H30年度事業費 (決算額:千円)	課題	総合評価	方向性	投入	資源 労働量
	<u>무</u> 06	02	01	情報公開·個人情報保護事務	女	ΨД		 総務部	総務人事課	315	0	☆☆☆	見直して継続		
		02		広報事業				企画財政部	秘書広報課	23, 784	0	☆☆	現状のまま継続	増加	増加
		02		広聴事業				企画財政部	秘書広報課	1,861	Ō	☆☆	現状のまま継続		
F	06	02	03	地域情報化推進事業				企画財政部	企画経営課 情報化推進担当、社会保障・税番号制度担当		0	☆	見直して継続	現状維持	現状維持
	06	02	03	駅前出張所管理・サービス事業				生活安全部	市民課	57, 471	0	2	現状のまま継続	増加	増加
Ш															
Ш															
Ш															
\sqcup															
Н															
Н															
Н															
Н															
H															
H															
H															
H															
H															
H															
H															
H															
H															
H															
Ħ															
Ħ															
H															
Ħ															
\prod															
П															
	25,645 部の事業費計 【理題】 - ・理題はほとんどない。○・ある程度課題がある。●・大きな課題がある。 / 【総会認価】 なみな・順調。みな・概ね順調。☆・遅れ										/#.1 _/_	사사 . 116등	1 人人 · 抽 ·		

総合計画の体系	章(施策の柱)	6 新公共経営	担当部 ●総務部	企画財政部
心口可凹の存木	節	2 市民に開かれたまちづくり	生活安全部	

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 (10年後の八潮 市では)

まちづくりの主役である市民と行政とが情報を共有し、協働することにより、まちづくりが進められています。また、市内の企業・団体と力を合わせるとともに、近隣の自治体等とも連携を図り、自主的、自律的な運営が行われています。

行政が経営資源を最大限に活かし、民間企業の経営手法等も積極的 に取り入れながら、健全な行財政運営を行っています。 基本目標

行政が持つ情報が適切に分かりやすく市民に提供され、市 民の声が行政運営に反映される仕組みが整っています。ま た、行政が持つ情報が適切に管理・運用され、市民との信 頼関係が築かれています。

		現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	成果指標			計画・目標								
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	広報紙から必要な生活情報を得た人の割	64. 90%	_	_	_		70%	_	_	_	_	70%
(I	合	_	48.7%	_								
0	やしお840メール配信サービスの登録件数	1,227件	_	_		1	2,000件	_	-	_		3,000件
(2)	(しょう040) が旧旧り ころの豆啄什冢		2,179件	2,400件	2,704件							
(2)	地域情報サービス数	ĺ	_	_	ĺ	ĺ	1件	_	Ī	_	ĺ	2件
0	一次 日 秋 ク	1	_	_	1							
4			_	_		ı		_		_		
4						_						
(5)			_	_				-		-		
		_										

	施策の内容	H30年度	事務事業数		総合評価		担当課
		事業費 (千円)	争份争未致	順調	概ね順調	遅れ	担国味
1	情報公開の充実・個人情報の保護	315	1	1	0		総務人事課
	広聴・広報の充実	25, 645	2	0	2	0	秘書広報課
3	情報交流の支援	57, 470	2	1	0	1	企画経営課 情報化推進担当、社会保障・税番号制度担当、市民課
4							
5							
6							
7							
8							
9							
	計	83, 430	5	2	2	1	

総合計画	章(施策の柱)	6	新公共経営	評価主体(部名)	総務部
の体系	節	2	市民に開かれたまちづくり	評価者名	會田 喜一郎
評価主体が 推進する 施策の概要	情報公開の充実 ・市民の知る権利の	0保	章及び行政機関の説明責任を果たすとともに、個人情 報	根の適正な取扱いにな	努める。

	(=\mu no)
施策の 実施状況	(説明) 情報公開・個人情報保護事務は、条例に基づき適正な運用を 行っている。
	課題はほとんどない ■ ある程度課題がある 大きな課題がある
課題	市外法人等からの公開申出に係る大量請求、頻回請求等への対応、個人情報の開示に係る任意代理、郵送請求等への対応、特定個人情報の取扱いが課題である。 また、非識別加工情報について、国や他の自治体の動向に注視しつつ継続して調査研究をする必要がある。

4. 節の評価(部が展開する節の総合評価)

総合評価	評価理由
順調	情報公開制度により市民の知る権利を保障し、個人情報保護制度により個人情報の適正な取扱いを確保している。両制度を適切に運用することで、公正で民主的な行政の推進に資するとともに、個人情報の有用性に配慮しつつ、個人の権利利益の保護に資することに努めている。

5. 今後の方針(部が展開する節の方針)

				現状のまま推進 ● 見直して推	進 大幅に見直して推進
	方向	性		- → 重点	化(拡充) 縮小 ■ その他
	施策		運	類していく。	、開・個人情報保護事務を適正に 試計を進めるとともに、運用上の
■重	点事	業	(部で	で5事業まで)	
	施第章	ラコ- 節	ード 施策	施策の内容	事務事業
1	06	02	01	情報公開の充実・個人情報の保護	情報公開・個人情報保護事務

施領	₹⊐-	ード	佐竿の中窓	事務事業
章	節	施策	心束の内谷	争伤争未
06	02	01	情報公開の充実・個人情報の保護	情報公開·個人情報保護事務
	章		章 節 施策	章 □節 施策 施策の内容

※施策(節)を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆:順調(最終目標達成に向け、順調に成果があがっている) ☆:遅れ(このままでは、最終目標の達成が難しい)

主 施	主 施策コード		古双古光夕	主	戦	公		中東部	H30年度事業費	課題	<u> </u>	十六州	投入	資源
体章	節	施策	事務事業名	要	略	約	担当部	担当課	(決算額:千円)	秣珽	総合評価	方向性	事業費	労働量
■ 06	02	01	情報公開・個人情報保護事務				総務部	総務人事課	315	0	$\triangle \triangle \triangle$	見直して継続	現状維持	現状維持
06	02		広報事業				企画財政部	秘書広報課	23, 784	0	☆☆	現状のまま継続	増加	増加
06	02		広聴事業				企画財政部	秘書広報課	1, 861	0		現状のまま継続		
06			地域情報化推進事業				企画財政部	企画経営課 情報化推進担当、社会保障・税番号制度担当		0	☆	見直して継続		
06	02	03	駅前出張所管理・サービス事業				生活安全部	市民課	57, 470	0	$\triangle \triangle \triangle$	現状のまま継続	増加	増加
\sqcup														
\sqcup	_													
\sqcup														
\vdash	4	1												
\mathbf{H}														
\mathbf{H}														
\mathbf{H}		1												
\mathbf{H}														
$oxed{oxed}$						Щ				±n 0 ±	- 444 = 1			
			「細節」・細節けばした	187			L = <= += m =	■・十キな細質が			業費計			

総合計画の体系	章(施策の柱)	6 新公共経営		担当部	● 生活安全部	企画財政部
心口可凹り作示	節	2 市民に開かれた	たまちづくり	THE	総務部	

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 (10年後の八潮 市では)

まちづくりの主役である市民と行政とが情報を共有し、協働することにより、まちづくりが進められています。また、市内の企業・団体と力を合わせるとともに、近隣の自治体等とも連携を図り、自主的、自律的な運営が行われています。

行政が経営資源を最大限に活かし、民間企業の経営手法等も積極的 に取り入れながら、健全な行財政運営を行っています。 基本目標

行政が持つ情報が適切に分かりやすく市民に提供され、市 民の声が行政運営に反映される仕組みが整っています。ま た、行政が持つ情報が適切に管理・運用され、市民との信 頼関係が築かれています。

		現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	成果指標										計画・目標	
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
(I)	広報紙から必要な生活情報を得た人の割	64. 90%	_	_	_	_	70%	_	_	_	_	70%
(I		_	48.7%	_								
0	としお840メール配信サービスの登録件数	1,227件	_	_			2,000件	-		_	_	3,000件
2	「一日の40人一)と自己信り一日人の登録件を	_	2,179件	2,400件	2,704件							
(S	地域情報サービス数	1	_	_	1	1	1件	1		_	_	2件
0	1世級情報 ケーレ 八級	ĺ	_	_	ĺ							
(4)			-	_				ı		-	_	
4												
(5)			_	_	_	_		_	_	_	_	
0		-										

	施策の内容	H30年度	事務事業数		総合評価		担当課
		事業費 (千円)	争伤争未效	順調	概ね順調	遅れ	担当味
	情報公開の充実・個人情報の保護	315	1	1	0	0	総務人事課
	広聴・広報の充実	25, 645	2	0	2	0	秘書広報課
3	情報交流の支援	57, 471	2	1	0	1	企画経営課 情報化推進担当、社会保障・税番号制度担当、市民課
4							
5							
6							
7							
8							
9							
	計	83, 431	5	2	2	1	

総合計画	章(施策の柱)	6	新公共経営	評価主体(部名)	生活安全部
の体系	節	2	市民に開かれたまちづくり	評価者名	武内清和
評価主体が 推進する 施策の概要	付、市税・税外諸	又入	出張所管理・サービス事業):住民異動届の受付、印録 の収納、児童手当・こども医療等の届出、一般旅券のF		

施策の 実施状況	(説明) 12課21事業114業務 ・各種証明書の発行件数:住民票等18,231件、印鑑証明8,967件、戸籍・除籍謄本等3,438件、税証明等5,966件、その他証明201件を交付しました。 ・市税等の収納件数:市税5,142件、税外諸収入3,521件を収納しました。 ・旅券(パスポート)の申請件数:2,944件を受け付けました。
課題	課題はほとんどない ● ある程度課題がある 大きな課題がある 取扱業務が12課21事業114業務と複雑多岐にわたっており、事案 によっては関係各課への確認作業が必要となる。 特に出張所の開設時間が19時までとなっており、市役所の閉庁時間である17時15分以降は原則確認がとれず窓口対応に支障を来すことがある。

4. 節の評価(部が展開する節の総合評価)

総合評価	評価理由
☆☆☆順調	取扱業務が複雑多岐にわたるが、日頃から関係各課と連携を密に しながら市民サービスの向上が図られている。また、窓口での取 扱件数も増加していることなどを踏まえ、順調に成果が上がって いると評価する。

5. 今後の方針(部が展開する節の方針)

				■現状のまま推進	見直して	推進	大幅に見直し	て推進
	方向	性		- -:	<u>-</u>	 点化(拡充)	縮小	その他
Æ	施策	方針	市になまに	説明) 「民サービスの向 こするとともに、 こどを通じてスキ こた、限られた人 こ努める。	職員に対す ルアップに	る研修の 努める。	の充実やマニ	ュアルの作成
■重				で5事業まで)				
	施策コー 章 節 約			施策の	内容		事務事	業
1			03	情報交流の支援		駅前出	出張所管理・	サービス事業
2								
3								

※施策(節)を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆:順調(最終目標達成に向け、順調に成果があがっている) ☆:遅れ(このままでは、最終目標の達成が難しい)

主	施急	表コー	- F			戦			10年11年	H30年度事業費		/:: A /-	1 7 14	投入	資源
体	章	表コー 節	施策	事務事業名	要	略	約	担当部	担当課	(決算額:千円)	課題	総合評価	方向性	事業費	
	06	02	01	情報公開・個人情報保護事務				総務部	総務人事課	315	0	***	見直して継続		
	06	02	02	広報事業				企画財政部	秘書広報課	23, 784	0	☆☆	現状のまま継続	増加	増加
	06	02	02	広聴事業				企画財政部	秘書広報課	1, 861	0	$^{}$	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	06	02	03	地域情報化推進事業				企画財政部	企画経営課 情報化推進担当、社会保障・税番号制度担当		0	☆	見直して継続	現状維持	現状維持
	06	02	03	駅前出張所管理・サービス事業				生活安全部	市民課	57, 471	0	2	現状のまま継続	増加	増加
_															
_															
-															
-															
_															
-															
-															
-															
-															
-															
-															
-															
-															
\vdash															
-		\vdash													
-															
-															
-															
H															
H															
										57, 471	部の事	業費計			
	57,471 <mark>部の事業費計</mark>														

総合計画の体系	章(施策の柱)	6 新公共経営			担当部	● 企画財政部	総務部
心口可凹の下穴	節	3 健全で計画的	効率的な行政の位	本制づくり	1년 크 미		

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 (10年後の八潮 市では)

まちづくりの主役である市民と行政とが情報を共有し、協働することにより、まちづくりが進められています。また、市内の企業・団体と力を合わせるとともに、近隣の自治体等とも連携を図り、自主的、自律的な運営が行われています。

行政が経営資源を最大限に活かし、民間企業の経営手法等も積極的 に取り入れながら、健全な行財政運営を行っています。 基本目標

民間企業等のもつ経営手法を取り入れ、複雑化・多様化する市民ニーズに対し迅速かつ的確に対応することができる体制が構築されています。また、長期的な展望に基づき、健全で計画的・効率的な行財政運営を目指して取り組んでいます。

		現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	成果指標	計画・目標		計画・目標	計画・目標						計画・目標	
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
(I)	行政評価において目標達成した事業の割	87. 10%	_	_	_	_	95%	_	_	_	_	100%
		_	86.9%	87. 1%	85. 5%							
(C)	職員研修のコース数及び受講者数	53コース 809人	_	_			54コース 820人	ı		ı	_	55コース 837人
	「	_	56コース 725人	57コース 850人	53コース 892人							
3	女性職員向け研修のコース数及び受講者	4コース 27人	_	_			4 コース 40人				_	5 コース 60人
0	数	_	5コース 25人	4コース 29人	3コース 22人							
(4)	標準財政規模に対する財政調整基金及び	4. 20%	_	_			10%	-	_	-	_	10%
4	減債基金残高の割合	_	5.7%	7.5%	11.6%							
(5)	実質公債費比率	10.60%	_	_	_	_	9%		_		_	7%
	大貝厶貝貝儿干	_	8.3%	7.5%	6.1%	·						

	施策の内容	H30年度	事務事業数		総合評価		担当課
		事業費 (千円)	争伤争未效	順調	概ね順調	遅れ	担当床
	計画的・効率的な行政の推進	22, 366	5	1	3	1	企画経営課、財政課
	行政組織の効率化と人材育成	26, 848	4	1	3	0	企画経営課、総務人事課
	行政事務の電子化	244, 289	4	0	4	0	企画経営課 情報化推進担当、社会保障・税番号制度担当
4	健全で柔軟な財政運営	167, 449	7	7	0	0	財政課、市民税課、資産税課、納税課
5							
6							
7							
8							
9						•	
	計	460, 952	20	9	10	1	

総合計画	章(施策の柱)	6	新公共経営	評価主体(部名)	企画財政部
の体系	節	3	健全で計画的・効率的な行政の体制づくり	評価者名	前田 秀明
評価主体が 推進する 施策の概要	行いながら、効率的 ・長期的視点に立ち	内、う	こ基づき、実施計画の策定及び行政評価を実施する。 る 効果的な行政運営を行う。 公営企業等を含めた経営の健全化を図るとともに、健全 政指標の改善や適正化を推進する。		

(説明) ・第5次八潮市総合計画・基本計画を管理するため、行政マネジ メントシステムを有効に活用した。総合計画を円滑に進行するた 施策の め、実施計画の策定及び行政評価を実施し、その結果を公表する 実施状況 |とともに、事務量に応じた職員定数の決定に努めた。 ・財政健全化法に基づく平成30年度決算の健全化判断比率は、実 質公債費比率6.1%(H29:7.5%)で1.4ポイント改善し、将来負 担比率は41.4% (H29:54.4%) で13.0ポイント改善した。 ●ある程度課題がある 大きな課題がある 課題はほとんどない 総合計画を進行管理していくうえで、コスト意識や情報分析能 力等が必要であるため、さらなる職員の意識改革をする必要があ る。また、人口の増加や市民ニーズの多様化・複雑化に伴う事務 ■量の増加に対応できる組織の検討が必要である。 課題 ・実質公債費比率及び将来負担比率が前年度と比較して改善され たものの、依然として高い数値であり、引き続き一般会計の歳 入・歳出の両面にわたる財政健全化に向けた取組みを進めるとと ■もに、特別会計においても財政健全化に努め、一般会計からの繰 出金の抑制に努める必要がある。

4. 節の評価(部が展開する節の総合評価)

総合評価	評価理由
☆☆ 概ね順調	いずれの業務も課題はあるものの、それぞれの業務について適切な管理を行い、順調に業務が行われている。また、実質公債費比率、将来負担比率とも前年度より改善されている。

5. 今後の方針(部が展開する節の方針)

5.	今後	きのブ] 針	(部が展開する)	印の万針)						
				●現状のまま推進	見直して	推進	大幅に見直し	て推進			
	方向	性			<u> </u>		-				
					▶ 重	点化(拡充)	縮小	その他			
居	施策プ	方針	・スにめ政の業全う・親な経船	説明) 第5次八潮市総 京人を活用して で、一次で活用価をに で、一次では の取組状語を のでで がない がない がない がない がない がない がない がない がない がない	効率の次い政で ・事策5行行上 ・事策5行行上 ・事で、た をつと担 をつと担 がといる がといる が、対策の次い政で をつと担	果の内八、組、 えはに等的改容潮引織毎 、、、のないでは、のは、ののでは、ないのでは、またのでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	業市画政き員織 費年公指をを実施として、 で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	図のに・業い見を賞だにる向努実のて直 図還け留と上め施見はし る額で意とにる計直、を たをなしる額で意いをが超く、			
		<u>デロ</u> -									
	章		施策	施策の	内容		事務事業				
1	06	03	01	計画的・効率的	な行政の推進	計画行	政推進事業				
2	06	03	03	行政事務の電子	化	基幹系,	务管理事務				
3	06	03	04	健全で柔軟な則	政運営	財政健	全化事業				
1							•				

※施策(節)を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆:順調(最終目標達成に向け、順調に成果があがっている) ☆:遅れ(このままでは、最終目標の達成が難しい)

	主施策コード			明成りの事務事業の計画相条(別				X/	よ計画工体で扱う	1100左帝市光典				+ 7 . ⊐	次店
主が体置			- <u>r</u> 施策	事務事業名	主要	戦略	公約	担当部	担当課	H30年度事業費	課題	総合評価	方向性		.資源 労働量
				/=-rL-1L++++*/+-+		四日	化市	Λ : 11.	人工你当	(決算額:千円)		٨٨	THE I I I I I I I I I I I I I I I I I I I	事業費	
1 0	_	_		行政改革推進事業					企画経営課	667	0	**	現状のまま継続		現状維持
1 0		_		計画行政推進事業					企画経営課	6, 108	0	☆☆	現状のまま継続	増加	増加
■ 0	_			公用車管理事業					財政課	8, 742	•	☆	現状のまま継続		現状維持
■ 0		-		共通物品購入管理事業					財政課	4, 485	0	☆☆			現状維持
■ 0				契約事務					財政課	2, 363	0	***			現状維持
■ 0				行政組織等管理事務				企画財政部	企画経営課	0	0	☆☆			現状維持
0	_	_		人事管理事務				総務部	総務人事課	11, 967	0	☆☆	見直して継続	増加	増加
0	6 (03		人材育成推進事業				総務部	総務人事課	1, 947	0	2	見直して継続	増加	現状維持
0	6 (03	02	職員福利厚生事業				総務部	総務人事課	12, 934	\circ	2	見直して継続	増加	増加
• 0	6 (03		情報機器・ネットワーク管理事務				企画財政部	企画経営課 情報化推進担当、社会保障・税番号制度担当	85, 886	\bigcirc	☆☆	現状のまま継続	現状維持	増加
■ 0	6 (03	03	基幹系情報処理業務管理事務				企画財政部	企画経営課 情報化推進担当、社会保障・税番号制度担当	127, 142	0	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
I 0	6 (03	03	行政情報化推進事業				企画財政部	企画経営課 情報化推進担当、社会保障・税番号制度担当	199	0	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
• 0	6 (03	03	社会保障・税番号制度管理事務				企画財政部	企画経営課 情報化推進担当、社会保障・税番号制度担当	31, 062	\circ	**	現状のまま継続	現状維持	現状維持
0	6 (03	04	市民税賦課事務				総務部	市民税課	21, 281	0	$^{\uparrow}$	現状のまま継続	現状維持	現状維持
0	6 (03	04	諸税賦課事務				総務部	市民税課	628	0	$^{\uparrow}$	現状のまま継続	現状維持	現状維持
0	6 (03	04	税証明事務				総務部	市民税課	179	_	$^{\uparrow}$	現状のまま継続	現状維持	現状維持
0	6 (03	04	固定資産税等賦課事務				総務部	資産税課	39, 600	0	2	現状のまま継続	増加	増加
0	6 (03		市税収納事務				総務部	納税課	94, 066	0	2	現状のまま継続	増加	増加
■ 0	6 (03		財政事務					財政課	11, 694	0	2	現状のまま継続		現状維持
1 0	_			財政健全化事業					財政課	,	$\overline{\bigcirc}$	***	現状のまま継続		
H				749000				TT[],4 9451	7.4.24816			, , , , , ,			
H															
H															
+	-														
+	+														
+															
\vdash	-														
\vdash	+														
H															
\vdash	+														
\vdash	-	_													
\vdash	-	_				-	-								
Ш										050 040	+r ~ +	- 444 #P = 1			
				7-m 85 1 -m 85 1 1 7 1 7 1				ナフ和中田町だナフ		278, 349					٠ ل <u>۵</u> ۱

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 (10年後の八潮 市では)

まちづくりの主役である市民と行政とが情報を共有し、協働することにより、まちづくりが進められています。また、市内の企業・団体と力を合わせるとともに、近隣の自治体等とも連携を図り、自主的、自律的な運営が行われています。

行政が経営資源を最大限に活かし、民間企業の経営手法等も積極的 に取り入れながら、健全な行財政運営を行っています。 基本目標

民間企業等のもつ経営手法を取り入れ、複雑化・多様化する市民ニーズに対し迅速かつ的確に対応することができる体制が構築されています。また、長期的な展望に基づき、健全で計画的・効率的な行財政運営を目指して取り組んでいます。

		現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	成果指標	計画・目標	計画・目標	計画・目標		計画・目標	計画・目標		計画・目標		計画・目標	
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	行政評価において目標達成した事業の割	87. 10%	_	_	_	_	95%	_	_	_	_	100%
1	合	_	86.9%	87. 1%	85. 5%							
(D)	職員研修のコース数及び受講者数	53コース 809人	Ī	_	Ī		54コース 820人					55コース 837人
	棚員切1 のコーハ数及い支膊有数	_	56コース 725人	57コース 850人	53コース 892人							
3	女性職員向け研修のコース数及び受講者	4コース 27人		_			4 コース 40人					5 コース 60人
0	数	_	5コース 25人	4コース 29人	3コース 22人							
4	標準財政規模に対する財政調整基金及び 減債基金残高の割合	4. 20%	-	_	-	_	10%	_			_	10%
4	減債基金残高の割合	_	5.7%	7. 5%	11.6%							
(E)	実質公債費比率	10.60%		_	_	_	9%	_	_	_	_	7%
	大貝厶與貝儿干	_	8.3%	7. 5%								

	 施策の内容	H30年度	事務事業数		総合評価		担当課				
		事業費 (千円)	争切争未然	順調	概ね順調						
	計画的・効率的な行政の推進	22, 366	5	1	3		企画経営課、財政課				
	行政組織の効率化と人材育成	26, 848	4	1	3		企画経営課、総務人事課				
	行政事務の電子化	244, 289	4	0	4	0	企画経営課 情報化推進担当、社会保障・税番号制度担当				
4	健全で柔軟な財政運営	157, 119	7	7	0	0	財政課、市民税課、資産税課、納税課				
5											
6											
7											
8											
9											
	計	450, 622	20	9	10	1					

総合計画	章(施策の柱)	6	新公共経営	評価主体(部名)	総務部
の体系	節	3	健全で計画的・効率的な行政の体制づくり	評価者名	會田 喜一郎
評価主体が 推進する 施策の概要	・管理職に占める ②市税の適正な課税	5女l 说及1	どを通して職員の能力の向上に努め、より良い市民サー 性の割合を増加させるため、意識啓発を行うとともに、 び徴収 税等の市税の適正な賦課及び徴収を行い、自主財源の研	女性向け研修への	

(説明) ・人材育成基本方針に基づき、外部研修機関への派遣研修、職場 ▶外での集合研修、職場内での業務を通じた研修を行い、職員の能 力向上に努めた。 施策の ┃・平成30年度決算の市税の収入済額は、171億2,919万8,083円 実施状況 (H29:168億1,457万8,655円) で、対前年度比3億1,461万9,428 |円、1.87%の増であった。 また、納税率は、現年度99.08% (H29:98.85%) で対前年度 比0.23ポイント上昇、滞納繰越分41.13%(H29:38.80%)で対 前年度比2.33ポイント上昇した。 ●ある程度課題がある 課題はほとんどない 大きな課題がある ・研修への参加を促進したいが、通常業務も増加傾向にあり、研 修時間の確保が難しい場合がある。 ・ストレスチェック実施後の集団分析結果(環境改善)につい て、他市の先進事例などの情報収集や研修の充実が必要である。 課題 ・個人市民税の無申告者は必ずしも申告義務者とは限らないこと から、無申告者の所得調査を継続して実施する必要がある。 ・平成30年度の納税率は、市税全体で97.51%となり、県平均 (97.26%) を上回ったが、税目別では、個人住民税の納税率が、 県内では依然として低水準にあることから、更なる納税率の向上 に努める必要がある。

4. 節の評価 (部が展開する節の総合評価)

総合評価	評価理由
☆☆	・職員1人あたりの研修参加数については目標を上回ったが、研修に対する満足度は目標をわずかに下回った。
概ね順調	・市税の収入済額は、予算額よりも約8億500万円の増収となった。納税率についても現年度分と滞納繰越分の合計で0.90ポイントの上昇となり、滞納繰越額が前年度よりも縮減できた。

5. 今後の方針(部が展開する節の方針)

5.	今後	きのフ	5針	(部が展開する節の方針)	
				現状のまま推進 ● 見直して推	進 大幅に見直して推進
	方向	性			
				→ 重点:	化(拡充) 縮小 その他
E	施策	5 針	・参会で・課徴・年の徴	加を促進するとともに、内部の 情勢に対応するとともに、内部の 情勢を充実させる。 市税に努める。また、では、 一般に努める。また、個人・ 一般に努める。また、理解とと が、 一般に要なる理解とと が、 一般に 一般に 一般に 一般に 一般に 一般に 一般に 一般に 一般に 一般に	外部研修機関での派遣研修への 3研修にあっては、行政課題、社 2年一ズにあったものを取り入れ 2税客体を的確に把握し、適正な 3税については、給与からの特別 3を図る。 2滞納繰越額を縮減するため、現 3、財産調査等に基づく滞納処分 4分の執行停止を行うとともに、
	施領	€⊐-	ード	佐生の中容	市政市米
	章	節	施策	施策の内容	事務事業
1	06	03	04	健全で柔軟な財政運営	市民税賦課事務
2	06	03	04	健全で柔軟な財政運営	固定資産税等賦課事務
3	06	03	04	健全で柔軟な財政運営	市税収納事務

※施策(節)を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

06 03 02 行政組織の効率化と人材育成 人材育成推進事業

☆☆☆:順調(最終目標達成に向け、順調に成果があがっている) ☆:遅れ(このままでは、最終目標の達成が難しい)

		主 施策コード		明成する事務事業の計画和末(対	主	戦	公公		よ計画工体で表す	H30年度事業費			1 7 14	投入資源		
	章		施策	事務事業名	要	略	約	担当部	担当課	(決算額:千円)	課題	総合評価	方向性	事業費	労働量	
	06	03	01	行政改革推進事業				企画財政部	企画経営課	667	0	☆☆	現状のまま継続		現状維持	
	06	03	01	計画行政推進事業				企画財政部	企画経営課	6, 108	0	☆☆	現状のまま継続	増加	増加	
П	06	03	01	公用車管理事業				企画財政部	財政課	8, 742	•	☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持	
	06	03	01	共通物品購入管理事業				企画財政部	財政課	4, 485	0	$^{\updownarrow}$ $^{\updownarrow}$	見直して継続	現状維持	現状維持	
	06	03	01	契約事務				企画財政部	財政課	2, 363	0	$^{\uparrow}$	現状のまま継続	現状維持	現状維持	
	06	03		行政組織等管理事務				企画財政部	企画経営課	0	0	☆☆	見直して継続	現状維持	現状維持	
	06	03	02	人事管理事務				総務部	総務人事課	11, 967	0	2	見直して継続	増加	増加	
	06	03	02	人材育成推進事業				総務部	総務人事課	1, 947	0	2	見直して継続	増加	現状維持	
	06	03	02	職員福利厚生事業				総務部	総務人事課	12, 934	0	☆☆	見直して継続	増加	増加	
	06 03 03 情報機器・ネットワーク管理事務 企画財政部									85, 886	0	2	現状のまま継続	現状維持	増加	
	00 00 00 医杆术情報定程来仍肯在事份						企画経営課 情報化推進担当、社会保障・税番号制度担当	127, 142	0	2	現状のまま継続	現状維持	現状維持			
	06	03		行政情報化推進事業				企画財政部	企画経営課 情報化推進担当、社会保障・税番号制度担当	199	0	2	現状のまま継続	現状維持	現状維持	
	06	03	03	社会保障・税番号制度管理事務				企画財政部	企画経営課 情報化推進担当、社会保障・税番号制度担当	31, 062	0	2	現状のまま継続	現状維持	現状維持	
	06	03	04	市民税賦課事務				総務部	市民税課	21, 281	0	2	現状のまま継続	現状維持	現状維持	
	06	03	04	諸税賦課事務				総務部	市民税課	628	0	2	現状のまま継続	現状維持	現状維持	
	06	03	04	税証明事務				総務部	市民税課	179	-	2	現状のまま継続	現状維持	現状維持	
	06	03	04	固定資産税等賦課事務				総務部	資産税課	39, 600	0	$\triangle \triangle \triangle$	現状のまま継続	増加	増加	
	06	03	04	市税収納事務				総務部	納税課	83, 736	0	2	現状のまま継続	増加	増加	
	06	03		財政事務				企画財政部	財政課	11, 694	0	2	現状のまま継続	現状維持	現状維持	
	06	03	04	財政健全化事業				企画財政部	財政課		0	$\triangle \triangle \triangle$	現状のまま継続	現状維持	現状維持	
П																
										172, 273	部の事	業費計				
					10 1.			ナッチーのサーバナッ	★ よ + + + = 用 転 ± 2 : -	トラー / 『4小人 三本	I	A A 1075-15		~ 비포크田	۰۲ ظ., ۱	

総合計画の体系 章 (施策の柱)	6 新公共経営	担当部	● 企画財政部	
節	4 公共施設資産の管理体制づくり	변크마		
1. 節の概要				※●は評価主体
44 32 10 00				
	主役である市民と行政とが情報を共有し、協働するこ ちづくりが進められています。また。市内の企業・団			

市では)

分野別将来目標 (1 **0 年後の八潮** 体と力を合わせるとともに、近隣の自治体等とも連携を図り、自主 的、自律的な運営が行われています。

行政が経営資源を最大限に活かし、民間企業の経営手法等も積極的 に取り入れながら、健全な行財政運営を行っています。

基本目標

誰もが公共施設等を安全で安心に利用しています。また、 公共施設等を経営資源として捉え、有効に活用され、効率 的に利用されています。

		現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	成果指標			計画・目標								計画・目標
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
(ī	アセットマネジメントの取組の推進	- / セットマイ ジメント導入基 本方針の策定	_	_	_	_	一公共施設マ ネジメント基 本計画 「公	_	_	_	_	公共施設等の効 率的な維持管理
(I		_	・八棚市公共施 設マネジメント 基本計画」の策									
2			_	_	_	_		_	_	_	_	
2		_										
3			_	_						_		
(0)												
4			_	_	_	_		_	-	_	-	
(4		ĺ										
(5)			_	_	_	_			_	_	_	
(3)		=										

	 施策の内容	H30年度	事務事業数		総合評価		担当課
		事業費 (千円)	尹孙尹未致	順調	概ね順調		
1	公共施設等の計画的整備と資産の有効活用	485, 226	6	1	4	1	財政課、アセットマネジメント推進課
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
	計	485, 226	6	1	4	1	

総合計画	章(施策の柱)	6	新公共経営	評価主体(部名)	企画財政部
の体系	節	4	公共施設資産の管理体制づくり	評価者名	柳澤 徹
評価主体が 推進する 施策の概要			財政運営、市民要望などを的確に見極めた上で、公共だ を含め、アセットマネジメントの各種取組を推進する。		原として捉え、施設の統廃合や複合化・長寿命化・

(説明) ・平成28年度に策定した「八潮市公共施設マネジメント基本計 画」、また平成29年度に策定した基本計画を実現していくための |今後10年間の行動計画を示す「八潮市公共施設マネジメントアク |ションプラン」の各施設の進捗状況を確認し、課題、問題点等を 施策の 実施状況 ・新庁舎整備に向け、具体的な機能、設備、規模等をまとめた 「八潮市庁舎建設基本計画」を策定した。 ・市民共有の財産を適正に管理、活用していくため未利用市有地 及び跡地について、売却を含めた活用方法の基本的な事項を定め た「八潮市市有地活用基本方針」を策定した。 課題はほとんどない ●ある程度課題がある 大きな課題がある ・アセットマネジメントの取組みを持続的かつ着実に実行する上 で、公共施設の更新・統廃合・保全に必要な財源を確保すること や事業費の平準化及び抑制が極めて重要な課題となる。また、施 課題 設再編における市民との合意形成や複数部局にわたる施設再編へ の取組など実践的な取組へと移行することに伴い、公正性と客観 性の確保、公正・中立で地域の利害を超えて、全市的な利益を考 えていく視点に立った取組が課題となる。

4. 節の評価(部が展開する節の総合評価)

総合評価	評価理由
概ね順調	八潮市市有地活用基本方針を策定し、方針に基づき対象とする跡地に関する庁内の活用意向について確認することができた。また、新庁舎整備に係る基本計画を策定することができた。一方で、施設の大規模改修の実施と合わせた施設改善の検討について、施設管理担当課に施設改善に向けた検討を促すなど、積極的に踏み込むことができなかった等の課題が残った。

5. 今後の方針(部が展開する節の方針)

						ゴナ)					
				現状のまま推進		見直して	推進	J	に見直	して推済	<u>隹</u>
	方向位	性			-→[■重	点化(拡	充)	縮小		その他
	施策(・櫻をは・金見業・	説明) 今後にする。の を を を を を を を を を で で で で で で の の の の の の の の の の の の の	るた人取幾くこ、、組能極。営をア公み等力を	なク的でを早 のくシ不は踏期 取しましい ままい ままい まんしょ しょく かんしゅう しゅうしん かんしん おいまん しょう しょう しょう しょう かんしょう ひんしょう かんしょう ひんしょう かんしょう しんしょう かんしょう しんしょう かんしょう しんしょう かんしょう しんしょう かんしょう かんしゃ かんしゃ かんしょ かんしょう しんしょう かんしょう しんしょう かんしょう かんしゃ しんしゃ しんしゃ しんしゃ しんしゃ しんしゃ しんしゃ しんしゃ	全体量を選集を表する。	適のに導いて、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	視基入ま議性 点づをと会を 管 を で で で で で に で に で で に で に で に で に で に で に で に で に に に に に に に に に に に に に	頭設し整内す のに再て備等べ 削	施設再編に再画。本の設と、本のから、
		Alle.	施く	記設中長期保全記 。							
■重	点事		施く部で	起 設中長期保全							
■重		<u> </u>	施く部で	画設中長期保全記 。 で5事業まで) 施策の	計画に					に実	
■重	施策	==	施 	画設中長期保全記 。 で5事業まで) 施策の	計画にの	位置ぐ	けらえ	いた施 	策を着実	に実	
	施策	節	施く部ド海策	i設中長期保全i 。 で5事業まで) 施策の	計画にかり	位置ぐ	用新角	これを施った。	策を着実 事務: 備事業	事業 	
1	施策 章 06	節 □ 04	施く 部で 部 の 1	正設中長期保全計 で5事業まで) 施策の 公共施設等の計画的書	計画にからいます。	位置へ の有効活	用新庁	これを施った。	策を着集 事務 帯事業 マネジメ	事業 	施してい
1 2	施策 章 06 06	第 04 04	施く 部で を 第 01 01	記設中長期保全記 で5事業まで) 施策の 公共施設等の計画的盟 公共施設等の計画的盟	計画にウ内容を備と資産を備と資産	位置へ の有効活 の有効活 の有効活	用新庁舎	にた施。 = 舎整(ニット・ ・ 管理 3	策を着集 事務 帯事業 マネジメ	事 業 ント:	施してい

※施策(節)を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆:順調(最終目標達成に向け、順調に成果があがっている) ☆:遅れ(このままでは、最終目標の達成が難しい)

主施			+ 次 + ル ク		戦			10小=	H30年度事業費	-m ex	#\	- -	投入	資源
体 章		施策	事務事業名	要	略	約	担当部	担当課	(決算額:千円)	課題	総合評価	方向性		
1 06		01	アセットマネジメント推進事業				企画財政部	アセットマネジメント推進課	673	0	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
1 06	04	01	庁舎管理事業				企画財政部	財政課	92, 015	•	☆☆	現状のまま継続	増加	増加
1 06	04	01	公有財産管理事業				企画財政部	財政課	25, 490	0	☆☆	現状のまま継続	現状維持	増加
1 06	04		新庁舎整備事業				企画財政部	アセットマネジメント推進課	340, 384	\circ	☆☆	現状のまま継続	増加	増加
1 06			営繕・施設管理事業				企画財政部	アセットマネジメント推進課	26, 647	\circ	$^{\uparrow}$	現状のまま継続	増加	増加
1 06	04	01	新スポーツ施設整備事業				企画財政部	アセットマネジメント推進課	16	0	\Rightarrow	現状のまま継続	現状維持	現状維持
Ш														
Ш														
Ш														
Ш														
Ш														
Ш														
\sqcup		ļ												
\coprod														
\coprod														
\coprod														
Щ														
			「無野」、無野けばした					▲・十キな細質が、	485, 226					

総合計画の体系	章(施策の柱)	6	新公共経営		担当部	•	企画財政部	市民活力推進部
心口 三回 の 本 示	節	5	広域的な連携体制づくり		1년 크 미			
1. 節の概要								※●は評価主体
	またべくりの	上犯·	である市民レ行政レが情報を出有し	協働する➤				

分野別将来目標 (10年後の八潮 市では)

まちづくりの主役である市民と行政とが情報を共有し、協働することにより、まちづくりが進められています。また、市内の企業・団体と力を合わせるとともに、近隣の自治体等とも連携を図り、自主的、自律的な運営が行われています。

行政が経営資源を最大限に活かし、民間企業の経営手法等も積極的 に取り入れながら、健全な行財政運営を行っています。 基本目標

関係自治体との協力関係が強化され、広域的な行政サービスが提供されることにより、市民が利便性の高い生活を送ることができています。

		現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	成果指標										計画・目標	
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
(I)	まんまるよやくの登録者数(八潮市民)	3,045人	_	_	_	_	3,600人	_	_	_	_	4,000人
Û	まんなのな (、・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	_	3, 297人	2, 189人								
2			_	_	_	_		_	_	_	_	
٧		_										
3			_	_						_	_	
0												
(4)			_	_	-	_		-	-	_	_	
4)		Ī										
(5)			_	_		_				_	_	
(3)		_										

	 施策の内容	H30年度	事務事業数		総合評価		担当課
		事業費 (千円)	尹 孙尹未致	順調	概ね順調		
	広域的な連携の強化	6, 257	2	0	2	0	企画経営課、市民協働推進課
2	県及び他市区町村との協力関係の構築・強化	0	1	0	1	0	企画経営課
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9						·	
	計	6, 257	3	0	3	0	

総合計画	章(施策の柱)	6	新公共経営	評価主体(部名)	企画財政部
の体系	節	5	広域的な連携体制づくり	評価者名	前田 秀明
評価主体が 推進する 施策の概要	ら、近隣自治体との 調査研究を行う。	を備っ ひ広っ	や情報通信技術の進展により、行政の圏域や枠組みを 域的な連携体制をつくることによって、より効率的かっ 埼玉県東南部都市連絡調整会議を通じて、広域的な行政	つ効果的な行政サート	ビスが提供されるよう広域的な行政課題等について

(説明) ▶・埼玉県東南部都市連絡調整会議を通じて、婚活まんまるバスツ アー及び職員研修会等を実施した。 施策の 実施状況 ・東南部地域における、共通する行政課題の調査研究を行うにあ たり、IT専門部会において、「まんまるよやくシステムの運用 状況調査と情報セキュリティ向上施策検討」を行った。 ●ある程度課題がある 課題はほとんどない 大きな課題がある 課題 公共施設の利用条件などについて今後検討する必要がある。

4. 節の評価(部が展開する節の総合評価)

総合評価	評価理由
☆☆ 概ね順調	5市1町の公共施設の利用条件などについては課題があるものの、埼玉県東南部都市連絡調整会議を通じて、広域の連携事業や広域の課題に対する調査・研究は順調に実施されている。

5. 今後の方針(部が展開する節の方針)

	■現状のまま推進	見直して	推進	大幅に見直し	て推進			
方向性	-	,	:点化(拡充)	縮小				
	(説明)	_ <u> </u>	. R. 16 (114.76)	州日 7],	ての他			
施策の 展開方針	5 市 1 町の調和の いて調査研究を行							
	部で5事業まで)							
施策コー 章 節 カi	— 磁等の	内容		事務事業				
1								
2					_			
3					·			
4								
5								

※施策(節)を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆:遅れ(このままでは、最終目標の達成が難しい) ☆☆☆:順調(最終目標達成に向け、順調に成果があがっている)

	【 が													
主 体 章	東コー 節	ート 施策	事務事業名	王要	戦略	公約	担当部	担当課	H30年度事業費 (決算額:千円)	課題	総合評価	方向性		.貧源 労働量
1 06	05	01	広域行政推進事業				企画財政部	企画経営課	1, 005	0	☆☆	現状のまま継続		
06	05		広域連携事業					市民協働推進課	5, 252		☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
1 06	05	02	広域協力体制構築事業					企画経営課		0	2	現状のまま継続	現状維持	現状維持
\coprod														
$\perp \perp$														
$\perp \perp$														
\coprod														
$\perp \perp$														
$\perp \perp$														
	<u> </u>													
			7-m as 1 -m as 1 + 1 + 1 /	10.7			七九年中田上三十九				業費計	а <u>л</u> а 40π 1		مل الم مل

			707141 P	1 /2 / / / /	<u>,, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,</u>	7137	
総合計画の体系	章(施策の柱)	6	新公共経営	担当部		市民活力推進部	企画財政部
	節	5	広域的な連携体制づくり	프크마			
1. 節の概要							※●は評価主体

分野別将来目標 (10年後の八潮 市では)

まちづくりの主役である市民と行政とが情報を共有し、協働することにより、まちづくりが進められています。また、市内の企業・団体と力を合わせるとともに、近隣の自治体等とも連携を図り、自主的、自律的な運営が行われています。

行政が経営資源を最大限に活かし、民間企業の経営手法等も積極的 に取り入れながら、健全な行財政運営を行っています。 基本目標

関係自治体との協力関係が強化され、広域的な行政サービスが提供されることにより、市民が利便性の高い生活を送ることができています。

	n ee ta te	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		R5年度	R6年度	R7年度
	成果指標							計画・目標				
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
(Ī	まんまるよやくの登録者数(八潮市民)	3,045人	_	_	_	_	3,600人	_		_	_	4,000人
Œ	よんなのなく、の豆」な行数(八間川氏)	_	3, 297人	2, 189人	2, 996							
2			-	_		_		_		_	_	
2		_										
3			Ī		ĺ	_		_	ĺ	_	_	
0												
4			Ī			_		_		_	_	
4												
Œ				_		_		-		-	_	
5		_										

	 施策の内容	H30年度	事務事業数		総合評価	遅れ	担当課			
		事業費 (千円)	尹 孙尹未致	順調	調の概ね順調		坦当砵			
	広域的な連携の強化	6, 257	2	0	2	0	企画経営課、市民協働推進課			
2	県及び他市区町村との協力関係の構築・強化	0	1	0	1	0	企画経営課			
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9						·				
	計	6, 257	3	0	3	0				

総合計画	章(施策の柱)	6	新公共経営	評価主体(部名)	市民活力推進部
の体系	節	5	広域的な連携体制づくり	評価者名	鈴木 圭介
評価主体が 推進する 施策の概要	広域的な連携の強(・埼玉県東南部都F		格調整会議による公共施設の相互利用を進める。		

3. 即の方析	(部が展開する即の方析)
施策の 実施状況	(説明) まんまるよやく(埼玉県東南部地域公共施設予約案内システム) の安定的な運用に努めるとともに、現システム利用者カードの更 新制度を周知し、利用者登録の整理を行った。
課題	課題はほとんどない ● ある程度課題がある 大きな課題がある

4. 節の評価(部が展開する節の総合評価)

総合評価	評価理由
☆☆ 概ね順調	平成27年11月に新システムに移行後、特に大きな問題はなく、利便性の向上が図られた。

5. 今後の方針(部が展開する節の方針)

-tt1d				●現状のまま推進		見直	して推進		大幅に見直して推進				
	方向	性					重点化(拡	 充)		縮小をの代			
Æ	施策開プ	5針	耳 V &	説明) 奇玉県東南部都市)、今後も利用者 り検討を進めてい	の利								
里里				で5事業まで)									
施策コー 章 節 施			- ト 施策	→ 施策(/)	内容					事務事	業		
1	06	05	01	広域的な連携の	強化		広域	速携	き事ぎ かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんし	É			
2													
3													
1													

※施策(節)を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆:順調(最終目標達成に向け、順調に成果があがっている) ☆:遅れ(このままでは、最終目標の達成が難しい)

	主施策コード							8日 岡工作と払う	H30年度事業費				投入資源	
本 章	東 □ -	施策	事務事業名	土要	戦略	公約	担当部	担当課	(決算額:千円)	課題	総合評価	方向性		労働量
06			広域行政推進事業				企画財政部	企画経営課	1, 005	0	☆☆	現状のまま継続		
1 06			広域連携事業					市民協働推進課	5, 252	0	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
06	05		広域協力体制構築事業					企画経営課		0	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	ļ													
	1	ļ												
	1													
	ļ													
	1													
				<u> </u>						<u> </u>	- Mr -+ 1			
			「細質」・細質けばし	18.4			L 7 (n -t-=m or /) -	▲・十キた細質が			業費計	n	we see	